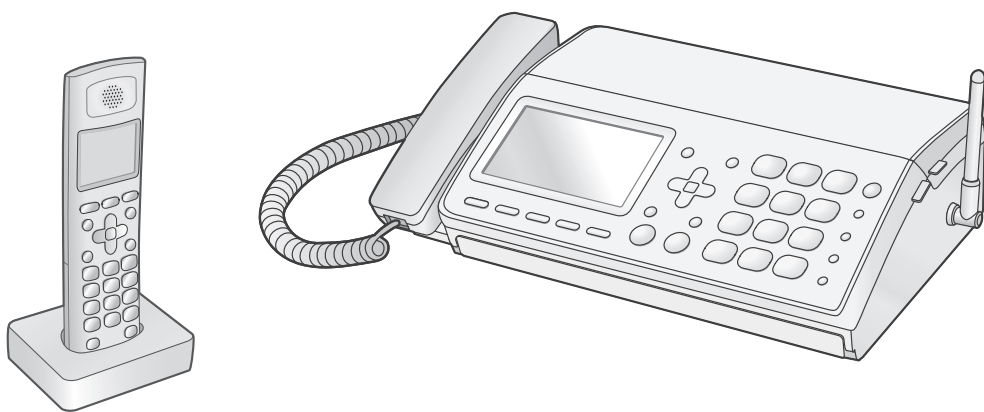
SHARP®

デジタルコードレスファクシミリ

取扱説明書

形　名 UX-D33CL（子機 1台タイプ）

UX-D33CW（子機 2台タイプ）

技術基準適合品

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**ご使用の前に「安全に正しくお使いいただくために」（☞5～7ページ）を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

別売品・消耗品

<ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください>

別売品・消耗品は当社の純正品や指定品をお使いください（詳しくは ☞102ページ）。

品名	形名	サイズ	希望小売価格（税抜価格）
ファクシミリ用普通紙	PP110MA4	A4サイズ（250枚）	630円（600円）
インクリボン（お買いあげ時にセットされているインクリボンはお試し用です。お早めに新しいインクリボンをお買い求めください）	UX-NR8G	A4幅×33m 1本	1,312円（1,250円）
	UX-NR8GW	A4幅×33m 2本1組	2,415円（2,300円）
デジタルコードレス子機用充電池（ニッケル水素充電池）	A-002		1,800円（1,715円）

こまったときは

本機が正しく動かないなどお困りのときは、85～101ページをご覧ください。

※NTTへのサービス申し込みが必要です（有料）。

ナンバー・ディスプレイサービスのお問い合わせは局番なしの**116番**へ

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番電話

ファクス

印刷・コピー

便利な機能

ナンバー・ディスプレイ

こまったときは

ご参考に

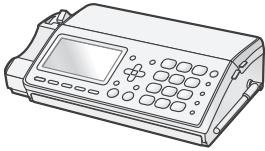
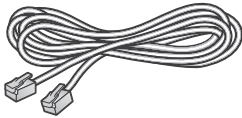
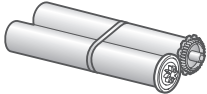
お調べになりたい内容が、もくじから探しにくいときは、さくいん（☞ 121～122ページ）をご覧になると見つかる場合があります

＜こんなことができます＞

※ナンバー・ディスプレイ（☞ 76ページ）をご利用の場合

＜こまったときは＞

お知らせ

- この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、シャープお客様ご相談窓口（☞ 120ページ）までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記録内容が変化・消失する場合があります。

付属品の確認

次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合やちがうものが入っているときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

親機　1台	受話器　1個 受話器コード　1本	子機 UX-D33CL：1台 UX-D33CW：2台	充電器（子機用） UX-D33CL：1個 UX-D33CW：2個
充電池ふた（子機用） UX-D33CL：1個 UX-D33CW：2個	充電池（子機用） UX-D33CL：1個 UX-D33CW：2個	電話機コード （約1.5m）　1本	お試し用インクリボン　1本 ●インクリボンは、あらかじめ親機にセットされています。

●付属のお試し用のインクリボンは、工場出荷時に本機が正しく動作できることを確認したものです。別売のインクリボンよりも印刷できる枚数が少なくなっていますので（A4サイズで、約20枚印刷可能）、お早めに別売インクリボンをお買い求めください（☞ 102ページ）。

●インクリボンは、必ず当社の純正品をお使いください（☞ 102ページ）。

■UX-NR8G（33m×1本入り）

■UX-NR8GW（33m×2本入り）

●記録紙は付属していませんので、お買い求めください（☞ 102ページ）。

取扱説明書（本書）※ ……………………………………………… 1冊

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■図記号について

⚠危険	人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
⚠警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

■図記号の意味

⚠ ⚠	記号は、気をつける必要があることを表しています。
⊘	記号は、してはいけないことを表しています。
❗	記号は、しなければならないことを表しています。

⚠危険

充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電池の液もれ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

⊘	●充電池をネックレス・ヘアピンなど金属のものと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。 ●充電池の＋－端子を金属などで接触させないでください。 ●充電池の端子は＋－を逆にして接続しないでください。 ●充電池を水や火の中に捨てたり、加熱したりしないでください。 ●充電池は、子機以外の機器には使用しないでください。 ●充電するときは、専用の充電器以外では使用しないでください。 ●充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。
❗	●充電池は、専用のものを使用してください。 ●充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。失明のおそれがあります。

⚠警告

- 水や薬品などの液体をこぼさないでください。ペットのいるご家庭では、ペットの尿にもご注意ください。火災・感電の原因になります。液体をこぼした場合は、差し込みプラグを抜いてお買いあげの販売店へご相談ください。
- 内部に金属物を入れないでください。火災・感電の原因になります。金属物が入った場合は、差し込みプラグを抜いてお買いあげの販売店へご相談ください。
- 浴室など、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。絶縁が悪くなり火災・感電の原因になります。
- ご自身での分解や修理・改造は絶対にしないでください。火災・感電の原因になります。修理はお買いあげの販売店へご相談ください。
- 病院内などの使用を禁止された場所ではご使用にならないでください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。
- 充電池のビニールカバーをはがしたりキズを付けたりしないでください。充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因になります。
- 充電池を水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。充電池が発熱したり、サビの原因となります。
- ぬれた手で差し込みプラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。
- 電源コード・差し込みプラグを破損するようなことはしないでください。
  次のようなことはしないでください。
  ・傷つける　・無理に曲げる　・加工する　・無理にねじる
  ・熱器具に近づける　・重いものを載せる　・無理に引っぱる　・束ねる
  傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。コードやプラグの修理は、お買いあげの販売店へご相談ください。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
- この製品を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。けがの原因になります。万一、この製品を落としたり、キャビネットを破損した場合はお買いあげの販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、差し込みプラグをコンセントから抜き、子機の充電池をはずしてお買いあげの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 充電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚に障害を起こすことがあります。
- 差し込みプラグは根元まで確実に差し込んでください。感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 差し込みプラグを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持ってください。感電の原因になります。
- この製品は国内電源仕様です。必ず家庭用電源電圧（交流 100V）に接続してください。海外や交流100V以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。
- 雷が鳴り始めたら、安全のため早めに差し込みプラグをコンセントから抜いてください。火災・感電・故障の原因になります。
- 煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したりした場合は使用を中止してください。火災・感電の原因になります。差し込みプラグを抜いてお買いあげの販売店へご相談ください。

注意

●風通しの悪いところや、じゅうたんなどの上に置かないでください。通気孔をふさぎ本体の放熱が悪くなり、じゅうたんなどの変色、火災の原因になることがあります。

●カバーを閉めるときに、指などをはさまないように注意してください。けがの原因になることがあります。

●水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。落下により破損・けがの原因になることがあります。
●充電器を布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。熱がこもり、火災の原因になることがあります。
●湿気や湯気・油煙・ホコリの多い場所では使用しないでください。火災・感電・故障の原因になることがあります。
●充電器の上に、コインなどの金属を置かないでください。やけど、けがの原因になることがあります。
●充電器から磁力線が出ていますので、磁気に弱いもの（キャッシュカードなどの各種磁気カード、通帳、自動改札定期券、カセットテープ、フロッピーディスクなど）を近づけないでください。磁気に弱いものは使えなくなることがあります。
●本機の温度の高い部分に長時間触れないようにご注意ください。低温やけどの原因になることがあります。
●暑い場所や直接日光のあたるところ、暖房機の近くには置かないでください。熱がこもり、火災の原因になることがあります。
●火気や熱器具に近づけないでください。変形や故障、火災の原因になることがあります。
●手で直接記録ヘッドに触れないでください。発熱している場合があり、やけどやけがの原因になることがあります。

●充電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
●点検・清掃（お手入れ）は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてから（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）行ってください。感電やけが（やけど）の原因になることがあります。

ご使用の前に知っていただきたいこと

■親機と子機の間に障害物のある場所で使わない

親機と子機の間に障害物（金属製のドア、鉄筋コンクリート、鉄骨、モルタル壁、金属線入りのガラス、断熱材など）があると、電波を通しにくくなるため、電波の届く距離が短くなることがあります。

■子機の使用範囲を確かめる

電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、直線見通し距離で半径約100mです（アンテナを立てた状態）。内線通話（☞35ページ）しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。
親機と子機を別の階や別棟に設置したときは、子機の電話がつながりにくくなったり、通話中の雑音や途切れの原因になることがあります。

■親機のアンテナは、立ててお使いください

電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは、必ずまっすぐに立てて、お使いください。

■アンテナにコードを巻き付けない

着信時に子機の着信音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。

■本機を設置するときは

電波干渉によって、雑音が入るなどの悪影響が出たり、他の無線機器に障害を与えたりすることがあります。**電波干渉を防ぐために、下記の機器からは、親機・子機とも約３m以上離してください。**
●電子レンジ　●無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）
●ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）
●ゲーム機のワイヤレスコントローラー
●万引き防止システム（書店やCDショップなど）
●アマチュア無線局　●工場や倉庫などの物流管理システム
●鉄道車両や緊急車両の識別システム　●マイクロ波治療器
●2.4GHzコードレス電話機
その他、Bluetooth™対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など
また、同じ室内に複数台の2.4GHzコードレス電話機を設置しないでください。電波干渉によって、子機の通話に雑音が入ったり、通話中に音声が途切れたりすることがあります。

■子機はいつも充電器に戻しておく

充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。

■子機の電波について

子機は、2.4～2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です。
移動体識別装置の帯域が回避できません。
変調方式：FH-SS方式　与干渉距離：80m
本機には、それを示すマークが貼付されています。

2.4FH8

本機の使用周波数に関わるご注意
本機の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。
●電子レンジ、産業・科学・医療用機器など
●工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
●特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
●アマチュア無線局（免許を要する無線局）
・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
・万一、本機から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。
●その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。

■"傍受"にご注意ください

本機は、子機での通話にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。
機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。

■電波雑音にご注意ください

テレビ・ラジオなどの電気機器の近くに本機を設置すると、雑音や受信障害の原因になったり、特定チャンネルでテレビ画面が乱れることがあります。また、AV・OA機器、無線LANなどの電子機器などの近くに本機を設置すると、電波雑音の影響を受けて子機の着信音が鳴らないことがあります。
これらの機器からは3m以上離すか、親機を別の電源コンセントに接続して操作してみてください。

■子機に雑音が入ることがあります

- ●磁気や蛍光灯などの電気雑音の影響を受けると、通話中に声がとぎれたり、通話できなくなることがあります。
- ●アンテナの近くに、ACアダプター・充電器・他の機器の電源コードなどを近づけると、声がとぎれたり聞き取りにくくなる場合がありますので、離してください。
- ●本機の近くに携帯電話の充電器やACアダプターを置くと、声がとぎれたり着信音が鳴らないことがありますので、離してください。
また、親機や充電器とは別の電源コンセントに接続してください。
- ●親機のアンテナは垂直に立てた状態でお使いください。アンテナの状態が悪いと、電波が飛びにくくなり、電話の声がとぎれることが多くなります。
- ●動きながら通話したり、自動車やバイクが近くを通ると、声がとぎれたり雑音が入ることがあります。設置場所を変えてみてください。
- ●補聴器をお使いの場合、種類によっては通話中に雑音が入ることがあります。

■受話口やスピーカーの穴をふさがない

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■送話口（マイク）をふさがない

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■子機の着信音は、親機と同じタイミングでは鳴りません

電話がかかってくると、子機が親機より遅れて鳴ったり、早く鳴ったりします。

■子機の取り扱いについて

ご近所で子機（コードレス電話機）が使われているときは、正しく動作しないことがあります。こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■使用中に温かくなることがあります

親機の背面や側面、充電中の子機が少し温かくなることがありますが、故障ではありません。

■ご使用にあたってのお願い

この製品のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要** となります。
詳しくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。
This machine is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

■この装置について

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。　VCCI-B

■商標について

本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

親機各部のなまえ

記録紙トレイ・
延長トレイ
（☞62ページ）
フックスイッチ
受話器
受話器コード
記録紙押さえ
（☞62ページ）
アンテナ
通気孔
原稿排出口
記録紙挿入口
（☞62ページ）
記録紙排出口
原稿挿入口
（☞52ページ）
原稿ガイド
（左右2か所）
（☞52ページ）
スピーカー
受話器接続端子
（☞15ページ）
電源コード・
差し込みプラグ
（☞16ページ）
回線接続端子（回線差込口）
（☞16ページ）
通気孔

マルチファンクションキー

● 項目の選択や決定・音量変更など
上下左右の部分を押して、項目の選択や音量の変更ができます。本文中では、マルチファンクションキーの操作を以下のように記載しています。

など：色の付いている部分を押す

は上下いずれかを押す

マルチファンクションキーの中央には、決定とメニュー表示用の「決定ボタン」（決定）があります。

ボタン	機能
受信ファクス	● 受信ファクスの一覧表示（☞63ページ）
迷惑電話	● 着信前お断り（☞78ページ） ● 戻って録音（☞72ページ） ● 今から録音（☞72ページ） ● チャイムでお断り（☞34ページ） ● メッセージでお断り（☞34ページ） ● 録音でお断り（☞34ページ） ● 電話を受けるとランプが点灯／点滅（あんしんLED ☞77ページ）

ボタン	機能
ダイヤルボタン	● 電話番号のダイヤル（☞32ページ） ● 文字入力（☞40～41ページ）

ボタン	機能
今から録音 留守	● 留守設定（☞47ページ） ● 今から録音（☞72ページ）
再生	● 録音再生（☞48ページ）
消去/キャッチ	● 各種消去 ● キャッチホン（☞75ページ）
内線/保留	● 内線通話（☞35ページ） ● 通話の保留（☞32ページ）
オンフック	● オンフックダイヤル（☞32ページ）

液晶ディスプレイ
（☞13ページ）

SHARP　UX-D33CL

受信ファクス　迷惑電話　音量　再ダイヤル　着信記録　決定　電話帳　停止　変換　ファクススタート　コピー/印刷

……ワンタッチダイヤル……　画質/文字　メニュー

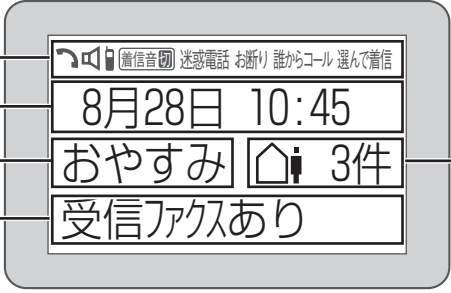
1あ　2か　3さ　4た　5な　6は　7ま　8や　9ら　＊トーン　0わ記号　#　おやすみ（3秒）　キーロック（3秒）

今から録音 留守　再生　消去/キャッチ　内線/保留　オンフック

ボタン	機能
• / •• / •••	● ワンタッチダイヤル（☞44ページ） ●ワンタッチダイヤルの登録／消去（☞44ページ）
画質/文字	● コピーやファクス送信時の画質切替（☞55ページ） ● 文字切替
メニュー	● メニュー画面の呼び出し

ボタン	機能
電話帳	● 電話帳（☞43ページ）
ファクススタート	● ファクス送受信（☞52、54ページ）
コピー/印刷	● コピー（☞63ページ） ● 印刷（☞63ページ）
停止	● 操作や送信の中止

子機各部のなまえ

電話帳
●電話帳（☞43ページ）
マルチファンクションキー
●項目の選択や決定・音量変更など
上下左右の部分を押して、項目の選択や音量の変更ができます。本文中では、マルチファンクションキーの操作を以下のように記載しています。
など：色の付いている部分を押す
は上下いずれかを押す
マルチファンクションキーの中央には、決定とメニュー表示用の「メニュー/決定ボタン」（メニュー/決定）があります。
液晶ディスプレイ
（☞14ページ）
●ワンタッチダイヤル
（☞45ページ）
文字切替
キャッチ
●入力モード切替
（☞40、42ページ）
●キャッチホン
（☞75ページ）
SHARP
電話帳
音量
文字切替
再ダイヤル
メニュー/決定
着信記録
変換
切
●通話の終了
●登録メニューの終了
●電話をかける・受ける
（☞32、33ページ）
ダイヤルボタン
●電話番号のダイヤル
（☞32ページ）
●文字入力
（☞40、42ページ）
スピーカーホン
発信
●スピーカーホン通話（☞32、33ページ）
●受話通話（☞32ページ）
内線/消去
保留
●保留（☞32ページ）
●内線通話（☞35ページ）
●文字消去（☞40ページ）
マイク（送話口）
点灯するボタン
青色
1あ ～ 9ら 0わ # ✳
子機背面
スピーカー
充電池ふた
充電器
充電部
差し込みプラグ

液晶ディスプレイ

親機や子機の液晶ディスプレイの表示について説明します。

親機

約3分間、何も操作をしないと、節電のため、ディスプレイ表示が消えます。いずれかのボタンを押すと、再び通常の表示に戻ります。メッセージがある場合は、バックライトのみが消灯します。

① 設定状態表示

- ：通話中に表示します。
- ：オンフックダイヤル中（☞32 ページ）に表示します。
- ：携帯とくとくダイヤル機能(☞65〜66ページ）を設定しているときに表示します。
- 着信音切：着信音を鳴らさない設定（☞29 ページ）のときに表示します。
- 迷惑電話：迷惑電話拒否機能（☞34ページ）の操作中に点滅します。
- お断り：各種の着信お断り機能（☞83ページ）に設定しているときに表示します。
- 誰からコール：誰からコール（☞79ページ）に設定しているときに表示します。
- 選んで着信：選んで着信番号（☞70ページ）を登録しているときにおやすみモード(☞70ページ）に設定すると表示します。

② 日付・時刻表示

日付・時刻を表示します。

③ 設定内容表示

[おやすみ]	：おやすみモード設定時
[ファクス優先]	：ファクス優先設定時
[ファクス専用]	：ファクス専用設定時
[ファクス自動]	：ファクス自動受信設定時

④ メモリー表示

（留守録音件数表示）

留守録音やメモ録音の件数を表示します。

⑤ エラー／メッセージ表示（☞99〜100ページ）

各種のメッセージを表示します。

子機

①	**ディスプレイ** 日時や電話番号、子機番号や使用者名（設定したときのみ）、通話時間などを表示します。
②	留守 留守番電話に設定しているときに表示します（☞47ページ）。
③	通話ボタンを押すと表示します。
④	充電池の残量を表示しています。 ：充分に残っています。 ：少なくなっています。 ：ほとんどありません。すぐに充電してください。 ：[電池残量がありません]と表示されて使用できません。10時間以上充電してからお使いください。 ：充電中は点滅しています（充分に残っている状態から充電した場合は、点滅しません）。

※ 図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

⑤	着信音切 着信音を [切] に設定しているときに表示します（☞29ページ）。

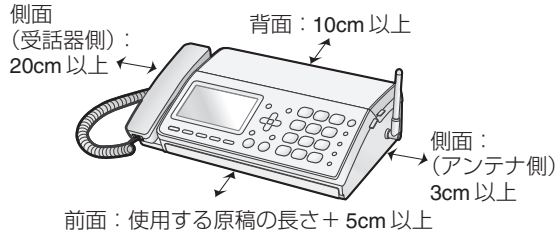
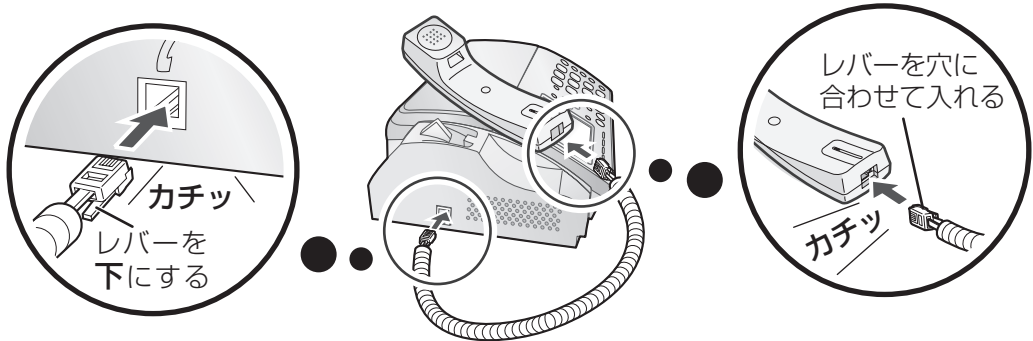
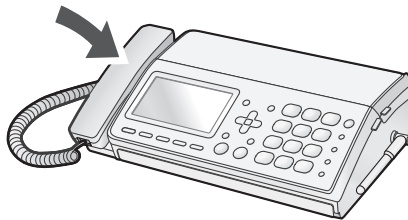
親機の準備

STEP1 親機を接続する

STEP2

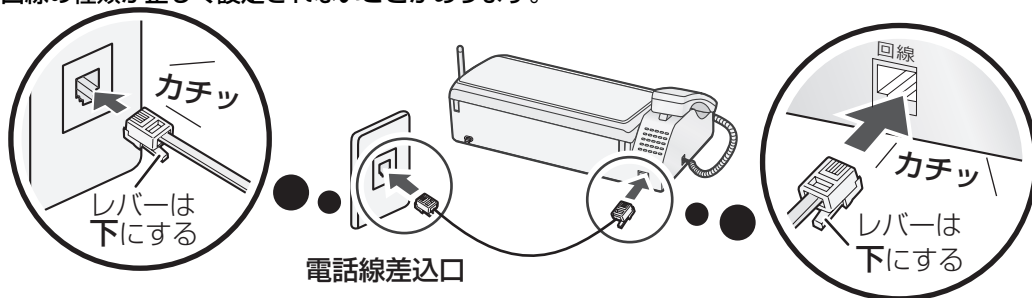
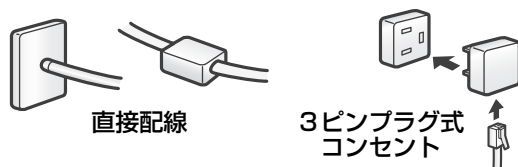
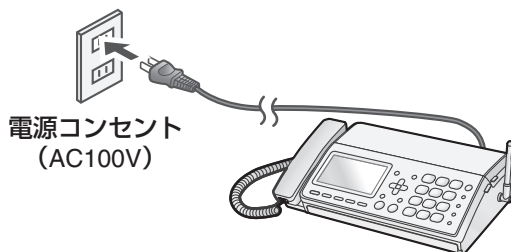
ひかり電話などの光回線やADSL、IP電話などをお使いの場合は接続方法が異なりますので、21ページをご覧ください。

■設置について

本機の操作、消耗品の交換、日常点検などの作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。

1 受話器コードの一方を受話器に、もう一方を親機に、カチッと音が鳴るまで差し込む

2 取り付け終わったら、受話器を置く

3 アンテナをまっすぐに立てる

次ページへ

4 付属の電話機コードの一方を電話線差込口に、もう一方を親機に、カチッと音が鳴るまで差し込む

必ず電話機コードを差し込みプラグより先に接続してください。先に差し込みプラグを接続すると、電話回線の種類が正しく設定されないことがあります。

- ●ホームテレホン、構内交換機（PBX）などでは工事が必要になります（☞21ページ）。
- ●電話線コンセントのタイプが直接配線（ローゼット／プレート）の場合、資格者の工事が必要です。また、３ピンプラグ式コンセントの場合、市販のアダプター、または資格者の工事が必要です。

5 すべての準備が終わったら、差し込みプラグを差し込む

続いて、日付と時刻の設定をします。
17ページをご覧ください。

お知らせ

- ●引っ越しをしたときや本機を知人から譲られたときなど、最初に接続した電話回線と異なる回線を接続するときは、回線種別を手動で設定してください（☞20ページ）。
- ●無線LANなどをお使いの場合は、電波干渉を防ぐために、機器から親機、子機とも約3m以上離して設置してください。詳しくは、「本機を設置するときは」（☞8ページ）をご覧ください。
- ●電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
- ●1つの電話回線を他の電話機やファクシミリと並列に接続しないでください。正常に動作しなくなることがあります。
- ●電話機コードは、付属のものをお使いください。付属のものより長いものをお使いになるときは、102ページの別売品をお使いください。それ以外の市販品をお求めの場合、必ず6極２芯と表示されているものをお求めください。

金属の付いた芯が
６つのうち２つ

STEP1 STEP2 日付・時刻を設定する STEP3

親機の差し込みプラグを接続すると、日付・時刻の設定画面になります。

1 [日付・時刻を設定 [決定]で設定 [停止]で中止] と表示されたら 決定 を押す

2 ダイヤルボタンで年月日を入力する

●年は西暦年、月日は2ケタで入力します。

3 ダイヤルボタンで時刻を入力する

●24時間制で2ケタで入力します。

4 入力した内容を確認して 決定 を押す

携帯とくとくダイヤルの設定画面になります（☞18ページ）。設定を中止したときも同様です。

●先に子機を充電していると、携帯とくとくダイヤルの設定のあと、登録した親機の日時が自動的に子機へ転送されます（時計バックアップ（☞106ページ）を使用する設定になっているとき）。

■日付・時刻を設定し直すときは

途中で間違って設定してしまったり、日付、時刻をあとから設定したいときは、30ページをご覧になって、あらためて設定し直してください。

続いて、「携帯とくとくダイヤル」の設定をします。
18ページをご覧ください。

お知らせ

●時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
●日付を設定すると、曜日は自動的に設定されます。年月日・時刻・曜日は送信したファクスに印刷されます。
●親機の電源を入れても、日付・時刻の設定画面が表示されないときは、「親機の日時を設定する」（☞30ページ）をご覧になって、日時を設定してください。

STEP2 STEP3

携帯とくとくダイヤルを設定する

「携帯とくとくダイヤル」とは、各電話会社の事業者識別番号（0033など）を設定しておくと、携帯電話へ電話をかけるときに番号の前に自動的にその番号を付加してダイヤルする機能です。
本機能についての詳しい説明は、65ページをご覧ください。

ひかり電話をご利用の場合は携帯とくとくダイヤルはご利用できません。
手順2で 1あ を押してください（携帯とくとくダイヤルを利用しない設定になります）。

※事業者識別番号とは、他の事業者の回線を通じて電話をかけるときに、ダイヤルしなければならない番号のことです。

3

IP電話利用の有無を選びます。

IP電話（ひかり電話などを除く）を利用している

1あ を押す

「IP 電話解除番号」※
（最大6ケタ）を
入力して 決定 を押す

IP電話（ひかり電話などを除く）を利用していない

2か を押す

ここまでの設定が終わったら

待受画面に戻り、親機が自動的に電話回線の種類を確認します。しばらくお待ちください。

ピーと鳴ったら設定完了です。
これで親機の準備は終了です。

天気予報（177）に電話がかかることを確認します。

- **通話料金がかかります。**
- 電話がかからないときは、「電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別を手動で設定する」（☞20ページ）をご覧ください。

項目の選択を間違えたときは

消去/キャッチ を押すと、１つ前の項目に戻ります。あらためて正しい項目を選択し直してください。

※ IP 電話で携帯とくとくダイヤルをご利用になるには、携帯電話に発信するときだけ、NTT などの一般回線を使う必要があります。「IP 電話解除番号」を登録すると、携帯電話への発信時のみ、自動的に一般回線で発信できます。IP 電話をご利用でないときは設定しないでください。

■携帯とくとくダイヤルの設定をあとで変えたいときは（☞65～66ページ）

■電話がかけられないときは

下記「電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別を手動で設定する」をご覧のうえ、[ダイヤル（20PPS）]または [プッシュ（トーン）] に設定を変えて試してください。それでもかからないときは、「電話がかけられない」（☞85～86ページ）をご覧ください。

■電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別を手動で設定する

電話がかからないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。また、回線の状態によっては、自動設定できないときがありますので、下記の操作で回線種別を設定してください。

① メニュー 1あ 4た と順に押す

② お使いの回線に合わせて、

[プッシュ（トーン）] を選ぶときは 1あ 、

[ダイヤル（20 PPS）] を選ぶときは 2か 、

[ダイヤル（10 PPS）] を選ぶときは 3さ を押す

③ 停止 を押す

お知らせ

●IP電話やひかり電話を使用しているときは、一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。

●IP電話や構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンをご利用のときは、回線種別が正しく設定されないことがありますので、ご契約の回線種別をお確かめのうえ、あらためて設定してください（☞上記）。

いろいろな接続

光回線やADSL回線、ISDN回線と接続する場合は、下記の内容を参考にしてください。
詳しくは、各サービス会社にお問い合わせください。

■ひかり電話などの光回線をご利用のとき

本機に接続した電話機コードとひかり電話対応機器のTELポートとを接続してください。
また、お困りのときは以下をご覧ください。

電話がかからない
回線種別が正しく設定されていますか？ ⇒ ご契約の回線種別を確認して手動で変更します（☞20ページ）
携帯電話につながらない
光電話（NTTのひかり電話など）をご契約の場合「携帯とくとくダイヤル機能」はご利用になれません ⇒ 使用しない設定にします（☞65ページ）
ファクスの送受信ができない **電話やファクスを使っていないのに［外線使用中］などの表示が出る** **ナンバー・ディスプレイが動作しない** **電話の声が聞こえにくい・雑音が入る** **受話器を取ると「キーン」という音が出る**
ご契約の内容をご確認ください。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください **それでも改善されないときは、シャープお客様ご相談窓口（☞ 120ページ）にご相談ください**

■ADSLによるIP電話をご利用のとき

本機に接続した電話機コードと IP 電話対応ADSLモデム内蔵ルータのTELポートとを接続してください。

- 基本的には、IP 電話会社から提供される「IP 電話対応モデム」や「アダプター」（会社によって名称は異なります）に設けられている「電話機用」の差込口に接続すればお使いになれます。
- 接続のしかたやファクスをつないだときの動作などについて、詳しくは、IP 電話サービスを提供している会社のパンフレットやホームページなどをご確認ください。

■ADSL回線に接続するとき

本機に接続した電話機コードとADSLモデムに接続されているスプリッタとを接続してください。

■ISDN回線に接続するとき

本機に接続した電話機コードとターミナルアダプター（TA）のアナログポートを接続してください。

- 電話線差込口からの電話機コードを、直接、親機の回線接続端子に接続しないでください。

■構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンへ接続するとき

ビジネスホンとは

電話回線を２本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

ホームテレホンとは

電話回線１本で複数の電話機を設置できて、内線通話などもできる家庭用の簡易交換機です。

- ●構内交換機 (PBX) やビジネスホン、ホームテレホンなどへ接続する場合は、工事、アダプター接続等が必要となりますので、お取り付けのビジネスホン、ホームテレホンのメーカーに接続方法をご確認お願いします。
- ●ナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。ご利用になれない場合は、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定にしてお使いください（☞76ページ）。
- ●本機以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えられないことがあります。

お知らせ

- ●端子やポートの名称は商品によって異なる場合があります。
- ●スプリッタがルータに内蔵されている場合があります。
- ●電話機や他のファクシミリとは並列接続しないでください。正常に動作しなくなることがあります。

インクリボンを確認する／交換する

ファクスの印刷やコピーに必要なインクリボンを確認／交換できます。

インクリボン（ギヤ付きタイプ）は、必ず当社の純正品をお使いください（☞102ページ）。

○ UX-NR8G（33m×1本）

○ UX-NR8GW（33m×2本）

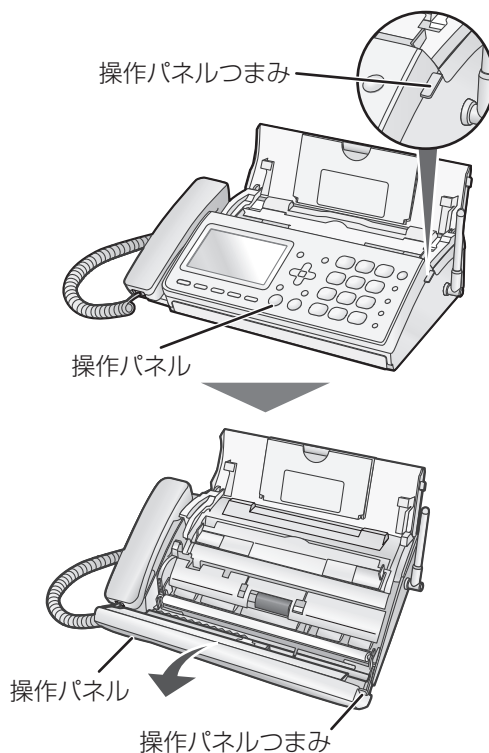
33mでA4原稿を最大で約105枚（※）印刷することができます（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください）。
※1件5枚の受信ファクスをくり返し印刷した場合

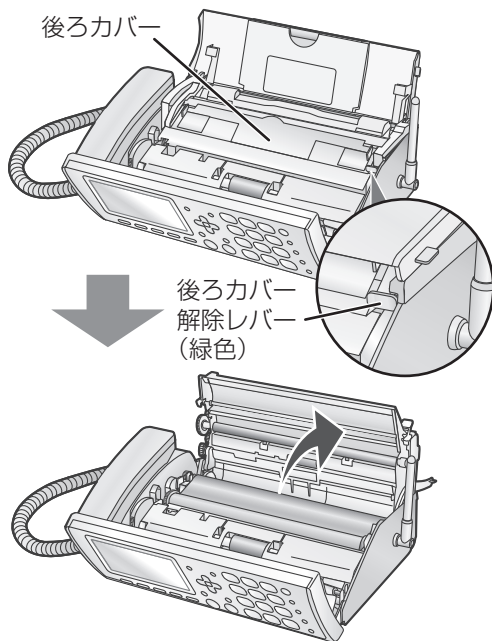
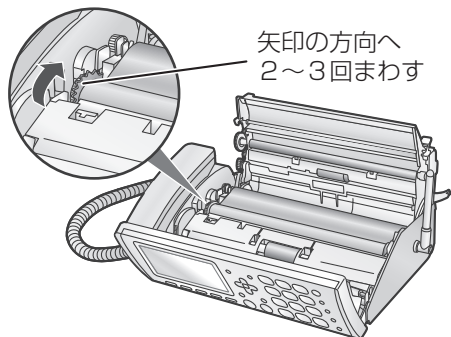
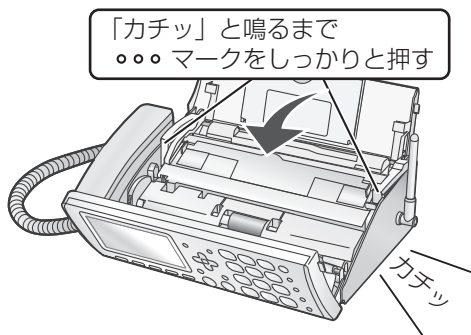
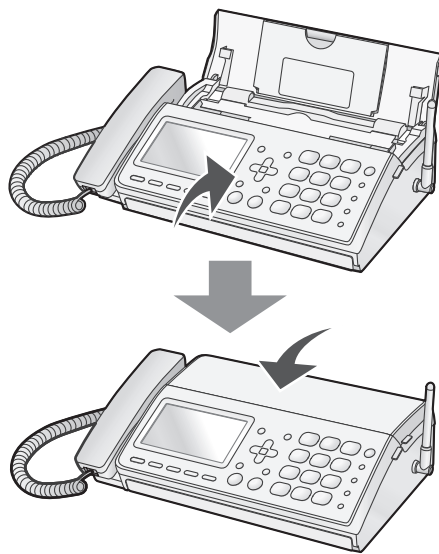
インクリボンを確認する（はじめてお使いになるとき）

インクリボンは、あらかじめ親機にセットされています。はじめてお使いになるときはインクリボンを確認し、たるみを取る操作をしてください。

セットされているインクリボンは、工場出荷時に正しく印刷できることを確認したものです。別売のインクリボンよりも印刷できる枚数が少なくなっておりますので（A4サイズで、約20枚印刷可能）、お早めに別売インクリボンをお買い求めください。

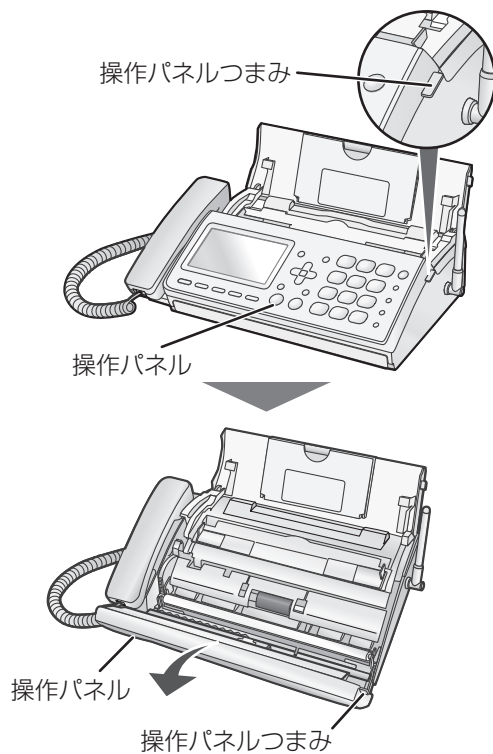
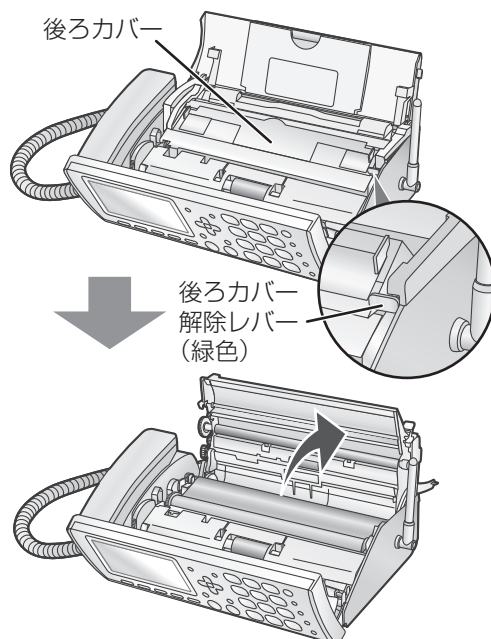
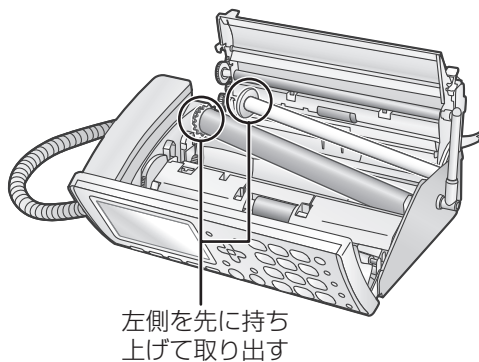
1 **記録紙トレイつまみを持って、記録紙トレイを後ろに起こす**

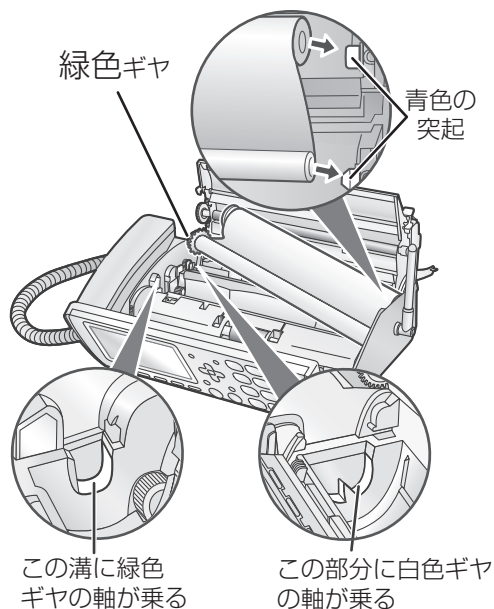
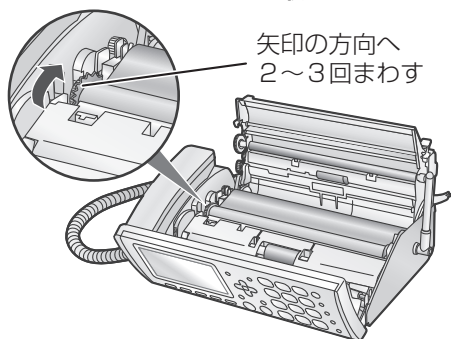
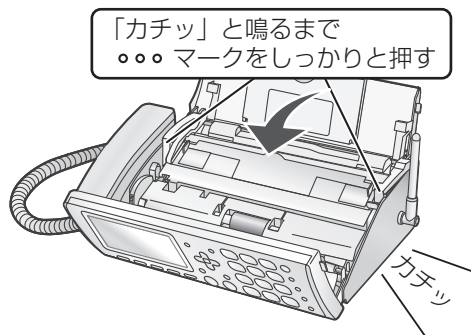
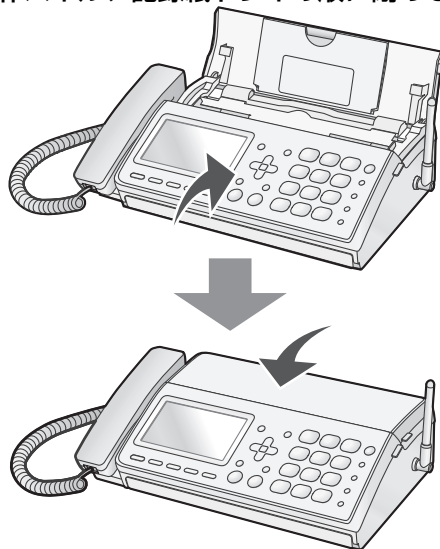
2 **操作パネルつまみを持って、操作パネルを前に起こす**

次ページへ

3 後ろカバー解除レバー（緑色）を押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす

4 インクリボンのたるみを取る

5 後ろカバーを閉める

6 操作パネル、記録紙トレイの順に閉める

使用済みのインクリボンを交換する

ディスプレイに［インクリボン切れ　型番はUX-NR8G/GW］と表示されたときは、インクリボンを使い切っています。新しいインクリボンに交換してください。
記録紙がセットされているときは、いったんすべて取り出してください。

1 記録紙トレイつまみを持って、記録紙トレイを後ろに起こす

2 操作パネルつまみを持って、操作パネルを前に起こす

3 後ろカバー解除レバー（緑色）を押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす

4 使用済みのインクリボンを取り出す

次ページへ

5 新しいインクリボンを、青色の突起に差し込んでから取り付ける

6 インクリボンのたるみを取る

7 後ろカバーを閉める

8 操作パネル、記録紙トレイの順に閉める

お知らせ

- 使用済みのインクリボンには、コピーや受信ファクスの内容が白く残っています。内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切り刻んでから、捨ててください。
- 使用済みのインクリボンは「燃えないゴミ」として捨ててください（地域によっては「燃えるゴミ」として取り扱われている場合もあります）。
  - ・インクリボンのフィルムは、ポリエチレン、カーボン、パラフィンなどでできています。
  - ・インクリボンの芯やギヤは、ポリスチレン、ポリアセタール、金属でできています。
- 使用済みのインクリボンのギヤだけを取り外して再利用することはできません。新しいインクリボン（ギヤ付きタイプ）をお使いください。

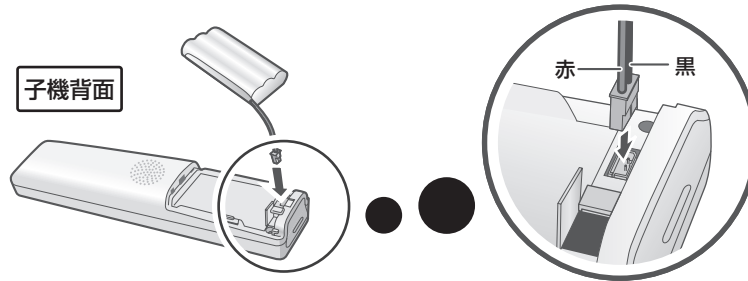
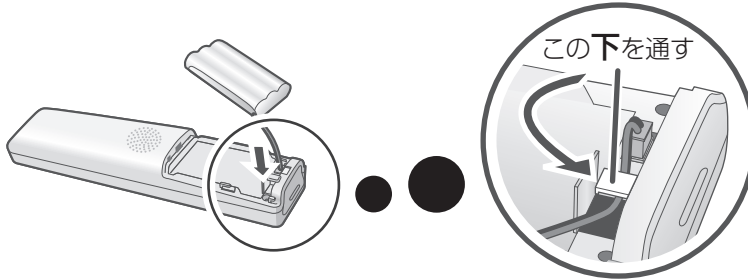
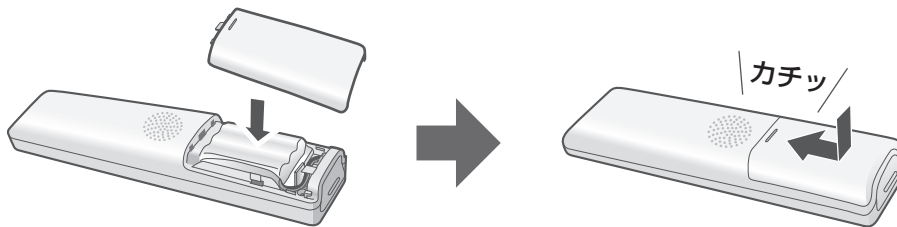
子機の準備

STEP1 充電池をセットする

STEP2

⚠危険 充電池は、子機以外の機器には使用しないでください。充電池の液もれ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

⚠警告 充電池のビニールカバーをはがしたり、キズを付けないでください。充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となります。

1 充電池のコードの先端部分を、子機に差し込む

2 コードを通す

3 充電池を入れて、ふたを取り付ける

充電池ふたを上から
かぶせます。

少し押しながら
カチッと音が鳴るまで
上にずらします。

⚠危険 充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。充電池の発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

STEP2 子機を充電する

⚠危険 充電するときは、専用の充電池以外は使用しないでください。充電池の液もれ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

1 充電器の差し込みプラグをコンセントに差し込む

2 充電器に子機を置いて、充電する

はじめて子機を使うときは、
連続して
10時間以上
充電してください。

- 親機の日時を設定していると、転送されて自動的に子機の日時も設定されます。
- 充電中は、ディスプレイの [▮▮▮] が点滅します（充分に残っている状態から充電した場合は、点滅しません）。

■通話時間について

いっぱいに充電した状態（10 時間以上）で通話できる時間は、通話状態で **最大約６時間** です。

- 子機ディスプレイにある [▮▮▮] は、充電池の残量を表示しています。

[▮▮▮]：充分に残っています。　[▮▮]：少なくなっています。　[▮]：ほとんどありません。すぐに充電してください。
[　]：[電池残量がありません]と表示されて使用できません。10時間以上、充電してからお使いください。
[▮▮▮]：充電中は点滅しています（充分に残っている状態から充電した場合は、点滅しません）。

- 通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、“ピッピッ…”と警報音が鳴り、約１分後に通話が切れます（子機のディスプレイに**[電池残量がありません]**と表示されます）。このときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話しください。

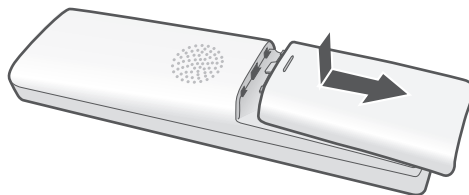
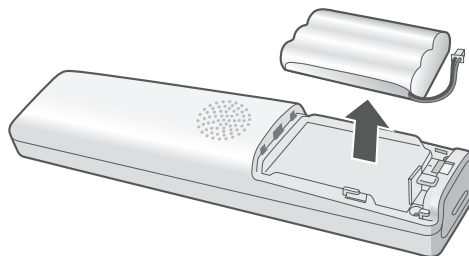
お知らせ

- 子機を2台以上お使いのときは、それぞれの子機が近づきすぎないようにしてください。電波が干渉して、着信音が鳴らなくなることがあります。
- 子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。充電のしすぎで故障することはありません。
- 充電中は充電部や子機が温かくなりますが、異常ではありません。
- 電磁誘導による充電の方式をとっています（無接点充電）。AMラジオなどが近くにあると雑音が聞こえることがありますので、向きを変えるか、離してご使用ください。また親機で通話／通信中のときも雑音やノイズが入ることがありますので、親機と充電器を50cm以上離してご使用ください。
- 電磁波や磁力を出すものの近くで充電しないでください。充電ができない場合があります。
- 無線LANなどをお使いの場合は、電波干渉を防ぐために、機器から親機、子機とも約3m以上離して設置してください。詳しくは、「本機を設置するときは」（☞8ページ）をご覧ください。

充電池を交換する

充電池は２年程度で交換してください（型番は A-002）

子機の充電池は消耗品です。使用頻度にもよりますが、2年程度で充電池の容量が減少していきます。
長時間充電してもすぐに充電池の容量がなくなるときには、新しい別売の充電池に交換してください。充電池は必ず102ページに記載されているものをお使いください。

1 充電池ふたを取り外す

2 充電池を取り外す

3 新しい充電池を入れる

●「充電池をセットする」（☞26～27ページ）を参考に、新しい充電池を入れて10時間以上充電してください。

■充電式電池のリサイクルご協力のお願い

この商品には、ニッケル水素電池を使用しています。
この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

ニッケル水素電池の
リサイクルにご協力ください。

●交換後不要になった電池、および使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。

●リサイクル協力店へのお問い合わせは、下記へお願いします。

- この商品またはニッケル水素電池をお買いあげいただいた販売店または「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取り扱い店
- （社）電池工業会小型二次電池再資源化推進センター、および充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

詳しくは、（社）電池工業会ホームページ「http://www.baj.or.jp/」をご覧ください。

●電池を分別廃棄している市町村がありますので、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄してください。

●リサイクル時のご注意

- 電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
- 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
- 電池を分解しないでください。

音の設定を変える

親機の着信音の大きさを変える／鳴らさないようにする

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音量を変更できます。

1 メニュー 2か 1あ と順に押す

2 で着信音量を5段階の音量、または[着信音量　切]（着信音を鳴らさないようにする）から選び 決定 を押す

●はじめは [3／5段階] に設定されています。

3 停止 を押す

親機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の種類を変更できます。

1 メニュー 2か 2か と順に押す

2 で着信音を選び 決定 を押す

●着信音は以下から選べます。はじめは [電話ベル音] に設定されています。
1：電話ベル音　2：鳥の声　3：電子音
4：インベンション　5：ジュ・ト・ブ
6：シンフォニー40番　7：はにゅうの宿
8：メヌエット　9：セレナーデ

3 「誰からコール」（☞79ページ）の設定時は着信音を変更できないため、確認画面が表示されます。表示されないときは手順**4**へ進んでください。

誰からコールを解除し、着信音を変更する： 決定 **を押し、手順4へ**

誰からコールを解除せず、着信音を変更しない： 停止 **を押す**

4 停止 を押す

親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる音量を変更できます。

1 通話中に を押す（５段階切替）

●はじめは2段階目の音量に設定されています。

親機のスピーカー音量を変える

録音再生時などに、スピーカーから聞こえる音量を変えることができます。

1 スピーカーから音が出ているときに で音量を選ぶ

●はじめは3段階目に設定されています。

子機の着信音の大きさを変える／鳴らさないようにする

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音量を変えることができます。

1 メニュー/決定 を押し、 で [着信音量] を選ぶ

2 メニュー/決定 を押し、 で設定したい着信音量（5段階の音量または [切]）を選ぶ

●はじめは [3／5段階] に設定されています。

3 メニュー/決定 を押す

子機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の種類を変えることができます。

1 メニュー/決定 を押し、 で [着信音色] を選ぶ

2 メニュー/決定 を押し、 で着信音を選ぶ

●着信音は以下から選べます。はじめは [プルルル　プルルル] に設定されています。
1：プルルル プルルル　2：ポロロロ ポロロロ
3：ピロン ピロン
4〜8：ショートメロディ1〜5
9：ジムノペティ　10：ジュピター

●誰からコールを設定しているときは、子機の着信音は [プルルル プルルル] になります。

3 メニュー/決定 を押す

お知らせ

●着信音を鳴らさない設定にしていても、内線の着信音は鳴ります。

子機の受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる音量を変えることができます。

1 **通話中に で5段階の音量のいずれかを選ぶ**

●はじめは [3／5段階] に設定されています。

子機の通話音質を変える

通話中に受話口から聞こえる音質を変えることができます。

1 **通話中に を押す**

●押すごとに [高い]（高音を強調する）、[低い]（低音を強調する）、[標準] が変わります（[標準] を選ぶと「ピピッ」と鳴ります）。

●通話を終了しても設定を保持します。ただし、子機の電池が切れると、設定は消去されます。

子機のスピーカー音量を変える

録音再生時などに、スピーカーから聞こえる音量を変えることができます。

1 **スピーカーから音が聞こえているときに、**

で5段階の音量のいずれかを選ぶ

●はじめは [3／5段階] に設定されています。

IP電話やADSL、ISDN（INSネット64）などをご利用のときは、電話の音量が大きくなりすぎて聞こえにくくなることがあります。
こんなときは、105ページをご覧になって、「親機送話音量」「子機送話音量」「子機受話音量」をそれぞれ [小] に設定してください。通話品質が改善されることがあります。

日時を設定する

日時に誤差が生じたときなどに、日付と時刻を設定し直すことができます。

親機の日時を設定する

1 **メニュー 1あ 1あ と順に押す**

2 **ダイヤルボタンで日付を入力する**

●年は西暦年、月日は2ケタで入力します。

3 **ダイヤルボタンで時刻を入力する**

●24時間制で2ケタで入力します。

4 **入力した日時を確認して 決定 を押す**

5 **停止 を押す**

●**時計バックアップ（☞106ページ）を設定しているときは、親機の日時を設定すると、自動的に子機に転送されます。**子機の日時設定は上書きされます。
また、「子機へ送信」（☞106ページ）で手動転送することもできます。

◆入力を間違えたときは、消去/キャッチ または で間違えた数字まで戻り、あらためて入力してください。

■子機の日時を合わせる

子機の日時を合わせるとディスプレイに日時を表示します。
時計バックアップが設定されていると、停電などで親機の日時が消えたときに、子機から日時を転送します。

① メニュー/決定 を押し、 で [システム設定] を選ぶ

② メニュー/決定 を押し、 で [日時登録] を選ぶ

③ メニュー/決定 を押し、ダイヤルボタンで日付を入力する（年は西暦で入力）

④ ダイヤルボタンで時刻を入力する（24時間制）

⑤ メニュー/決定 を押す

●入力を間違えたときは、 で間違えた数字を選び、あらためて入力します。

お知らせ

●日時の設定には、1カ月に±60秒程度の誤差があります（25℃の常温の場合）。時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。

自分の番号・名前を登録する

発信元番号を登録する（親機）

ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に印刷される番号を登録できます。

1 メニュー 1あ 2か 1あ **と順に押す**

2 **ダイヤルボタンで番号を入力する**

●最大20ケタまで入力できます。

3 **入力した番号を確認して** 決定 **を押す**

4 停止 **を押す**

◆入力を間違えたときは、消去/キャッチ で間違えた数字まで戻り、あらためて入力してください。

■発信元番号を消去する

以下の操作で登録した発信元番号を消去できます。変更したいときも、いったん消去してからあらためて登録します。

① メニュー 1あ 2か 2か 2か と順に押す

② 停止 を押す

発信元名を登録する（親機）

ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に印刷される名前を登録できます。

1 メニュー 1あ 3さ 1あ **と順に押す**

2 **ダイヤルボタンで名前を入力する（☞40～41ページ）**

●全角12文字／半角24文字まで入力できます。

3 **入力した名前を確認して** 決定 **を押す**

4 停止 **を押す**

■発信元名を消去する

以下の操作で登録した発信元名を消去できます。変更したいときも、いったん消去してからあらためて登録します。

① メニュー 1あ 3さ 2か 2か と順に押す

② 停止 を押す

使用者名を登録する（子機）

子機を使う方の名前や使う場所の名前を登録できます。登録した名前は、待受画面に表示されます。

1 メニュー/決定 **を押し、** ✥ **で［システム設定］を選ぶ**

2 メニュー/決定 **を押し、** ✥ **で［使用者表示］を選ぶ**

3 メニュー/決定 **を押し、ダイヤルボタンで名前を入力する（☞40、42ページ）**

●全角5文字／半角10文字まで入力できます。

4 メニュー/決定 **を押す**

●登録した名前を変更したいときは、はじめからやり直してください。

■使用者名を消去する

名前の入力画面で 内線/消去 保留 を押して入力した名前を消去し、メニュー/決定 を押します。

電話をかける・受ける・かけ直す

親機で電話をかける

1 **受話器を取る**

2 **ダイヤルボタンで電話番号を押す**

●間違い電話を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあとダイヤルしてください。
●先にダイヤルしてから受話器を取って電話をかけることもできます。

3 **通話が終わったら受話器を戻す**

子機で電話をかける

1 **子機を充電器から取る**

2 **ダイヤルボタンで電話番号を押す**

3 **を押す**

4 **通話が終わったら 切 を押す**

5 **充電器に戻す**

■電話がかけられないときは

85～86ページをご確認のうえ、設定をし直してください。

■通話を保留にする

保留にすると、音楽（ビューティフルドリーマー）が流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

親機の操作：

① 通話中に 内線/保留 を押す

② 受話器を戻す
再び通話するときは受話器を取る

子機の操作：

① 通話中に 内線/消去 保留 を押す
再び通話するときは 内線/消去 保留 または を押す

■子機で通話中、雑音が入るようなときは（電波サポート）

電波サポートを設定すると、改善される場合があります。下記の操作で、現在の通話にのみ電波サポートが設定されます。

① 子機で通話中に を押し、 で [電波サポート] を選ぶ

② メニュー/決定 を押す

●電波サポートを常に設定するときは
（☞ 74 ページ）

■ダイヤル回線でプッシュ回線の信号（トーン信号）を送る

親機： 電話がつながっているときに、 を押してからダイヤルボタンを押す

子機： 電話がつながっているときに、 を押してからダイヤルボタンを押す

電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線に戻ります。

■スピーカーホンで電話をかける（子機）

① ダイヤルボタンで電話番号を押す

② スピーカーホン 発信 を押す

③ 相手につながったら、マイクに向かって話す

④ 通話が終わったら 切 を押す

●マイクで話す距離のめやすは約 50cm です。

■天気予報や時報を聞く（親機：オンフックダイヤル／子機：受話通話）

オンフックダイヤルまたは受話通話で電話をかけると、スピーカーから相手側の音声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、音声を聞くだけになるため、お話しはできません。

親機の操作：

オンフック を押してからダイヤルします。

オンフックダイヤルから通常の通話に切り替えるときは、受話器を取ります。

子機の操作：

スピーカーホン 発信 を [SP受話通話中] と表示されるまで３秒以上押してからダイヤルします。
受話通話から通常の通話に切り替えるときは
スピーカーホン 発信 を押します。

■PBX（構内交換機）やホームテレホンから外線にかける

外線につなぐ番号を押したあと、親機では 、子機では を押して約３秒間の待ち時間（ポーズ時間）を加えます。続けて電話番号をダイヤルしてください。ポーズを入力すると、「－」（ハイフン）で表示されます。ポーズは電話帳に登録することもできます。

親機で電話を受ける

1 電話がかかってきたら受話器を取る

2 通話が終わったら受話器を戻す

●「着信らくらく番号登録」（☞83ページ）を設定しているときは、電話をかけてきた相手先の番号を電話帳などに登録できます。

■「あんしんLED」（☞77ページ）を設定しているときは

電話がかかってくると、迷惑電話 が点灯します。

ナンバー・ディスプレイ（☞76ページ）をご契約のときは、電話をかけてきた相手の方の電話の種類に合わせて、色分けして点灯または点滅します。

子機で電話を受ける

1 電話がかかってきたら子機を充電器から取る

2 を押す

3 通話が終わったら 切 を押す

4 充電器に戻す

◆電話に出られないときは、切 を押すと子機の着信音を止めることができます（親機の着信音は止まりません）。

■スピーカーホンで電話を受ける（子機）

① 着信音が鳴ったら、子機を充電器から取って スピーカーホン/発信 を押す

② 相手につながったら、マイクに向かって話す

③ 通話が終わったら 切 を押す

●マイクで話す距離のめやすは約 50cm です。

■ナンバー・ディスプレイの契約をすると

電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などが液晶画面に表示されます（☞76ページ）。

お知らせ

●子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などから、できるだけ離してください。子機の着信音が鳴らなくなることがあります。

親機で電話をかけ直す（再ダイヤル）

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。親機では、以前かけた番号のうち新しいものが20件まで記録されます。

1 を押し、 でかけ直したい番号を選ぶ

●親機で再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。

●受話器を取ってから を押すと、最後にかけた番号で発信します。

2 受話器を取る

3 通話が終わったら受話器を戻す

子機で電話をかけ直す（再ダイヤル）

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。子機では、以前かけた番号のうち新しいものが10件まで記録されます。

1 子機を充電器から取る

2 を押し、 でかけたい番号を選ぶ

●子機で再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。

3 を押す

4 通話が終わったら 切 を押す

5 充電器に戻す

■親機の再ダイヤルを消去する

１件ずつ消去：

① を押す

② で消去したい番号を選ぶ

③ 消去/キャッチ を2回押す

④ 停止 を押す

すべて消去：

① 消去/キャッチ 2か と順に押す

■子機の再ダイヤルを消去する

1件ずつ消去：

① を押し、 で消去したい番号を選ぶ

② メニュー/決定 を押し、 で［1件消去］を選ぶ

③ メニュー/決定 を2回押す

すべて消去：

① メニュー/決定 を押し、 で［全消去］を選ぶ

② を押し、 で［再ダイヤル］を選ぶ

③ メニュー/決定 を2回押す

お知らせ

●再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記録しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。

迷惑電話をお断りする

セールスや勧誘、無言電話などの迷惑電話を受けたとき、チャイム音を鳴らして電話を切りやすくしたり、お断りメッセージを流したり、通話を録音しているとアピールしたりすることができます。
また、迷惑電話が何度もかかってくるときは、電話に出ないでお断りすることもできます。

■チャイムでお断り

操作するとチャイム音を鳴らします。「来客ですので失礼します」などと伝えることで、電話を切りやすくなります。

■メッセージでお断り

操作するとお断りメッセージ（「この電話はお受けすることはできません」）を３回流します。メッセージのあと、自動的に電話が切れます。

■録音でお断り

操作すると、直前の15秒間の通話内容を再生し、相手に聞かせることができます。再生が終了すると、自動的に電話が切れます。

■着信前お断り

着信音が鳴っているときに 迷惑電話 を押すと、電話に出ないで着信お断りのメッセージを流したり、留守応答にすることができます。詳しくは、78ページをご覧ください。

さらに、ナンバー・ディスプレイ（☞76ページ）の契約をしているときにお断りの操作を行うと、同じ相手先からの電話を受けないように、着信お断りが設定されます。

電話番号を通知している着信：
電話が切れたあと、自動的にその番号をお断り番号（☞84ページ）に登録します。
※お断り番号がすでに30件登録されているときは、登録されません。

番号非通知の着信、公衆電話や表示圏外からの着信：
電話を切ってから約2時間、非通知・公衆電話・表示圏外のお断りを設定します。常に設定したいときは83ページをご覧ください。

親機で操作する

1 通話中に 迷惑電話 を押す

2 チャイムでお断りを使うときは 3さ 、メッセージでお断りを使うときは 4た 、録音でお断りを使うときは 5な を押す

●「録音でお断り」は、録音内容を保存しません。録音内容を保存したいときは、「戻って録音」（☞72ページ）をお使いください。

子機で操作する

1 通話中に メニュー/決定 を押し、［チャイムでお断り］［メッセージお断り］［録音でお断り］から でお断りの種類を選ぶ

2 メニュー/決定 を押す

■間違えて操作したときは

チャイムでお断りをしたとき：
親機でチャイムが鳴ってから10秒以内に 停止 を押してください。お断り設定が中止されます。子機では、設定を中止できません。

メッセージでお断り／録音でお断りをしたとき：
親機では、受話器を一度戻してから取り上げてください。子機では を押してください。

相手先の番号がお断り番号に登録されたとき：
登録されたお断り番号を消去してください(☞83ページ)。
番号がわからないときは、お断り番号リストを印刷（☞64ページ）して確認してください。

非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されたとき：
非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を「なし」に設定し直してください（☞83ページ）。

■チャイム後自動設定を設定する

チャイムでお断りをしたあとに、自動でお断り設定するかを変更できます。はじめは自動設定する設定です。

① メニュー 5な 5な と順に押す

② 設定するときは 2か 、

しないときは 1あ を押す

③ 停止 を押す

■親機で着信中の電話をお断りする（着信前お断り）

着信音が鳴っているときに、手動で電話をお断りすることができます。また、ナンバー・ディスプレイを契約（☞76ページ）していると、相手の番号を自動的にお断り番号に登録できます。詳しくは、78ページをご覧ください。

お知らせ

- 「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の場合、キャッチホンでの通話中は、お断りの機能は働きません。
- こちらから電話をかけたときは、メッセージでお断り／録音でお断りを使用することはできません。
- 録音でお断りを子機で再生中に電話を切ると、再生が中断されます。最後まで再生したいときは、再生が終わるまで電話を切らないでください。

内線通話する

親機と子機、子機と子機の間で通話できます。

親機から子機を呼び出す

1 **受話器を取る**

2 **内線/保留 を押す**

3 **通話したい子機の内線番号（1あ ～ 4た）を押す**

- 相手の方が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- 登録されているすべての子機を呼び出すときは、✱トーン を押してください。

4 **通話が終わったら受話器を戻す**

子機から親機や子機を呼び出す

1 **子機を充電器から取る**

2 **内線/消去 保留 を押す**

3 **0わ（親機）または 1あ ～ 4た（子機）を押す**

- 相手の方が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、呼び出しをやめます。
- 子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示されています。ただし、相手の子機が使用者表示（☞31ページ）をしていると、その名前が表示されます。
- 子機間の内線通話は親機を通して行われます。子機と子機が近くても、親機から離れていると通話できないことがあります。

4 **通話が終わったら 切 を押す**

5 **充電器に戻す**

■内線通話を受ける

親機で受ける：
① 呼出音が鳴ったら、受話器を取る
② 通話が終わったら、受話器を戻す

子機で受ける：
① 呼出音が鳴ったら、子機を充電器から取る
② （通話） を押す
③ 通話が終わったら （切） を押す
④ 充電器に戻す

●内線通話に出られないときは、呼出音が鳴っているときに 停止(親機)または （切）（子機）を押してください。呼出音が止まります。呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

■内線通話中に外線から電話がかかってきたら

親機のスピーカーから着信音が、子機のスピーカーから「ピピッ　ピピッ」という音が、それぞれ聞こえます。

親機で話すには
① 受話器を戻す
② 再び受話器を取る

子機で話すには
① （切） を押す
② 子機の着信音が鳴ったら （通話） を押す

親機で外線をとりつぐ／3者通話する

外線通話中に子機を呼び出し、外線をとりついだり、３人で通話したりすることができます。

1 **外線通話中に 内線/保留 を押す**

2 **通話したい子機の内線番号（1あ ～ 4た）を押す**

呼び出された側は電話を受ける操作をする

●外線通話に戻るときは、内線/保留 を2回押してください。

3 **外線をとりつぐとき：**

子機に用件を伝えて受話器を戻す

●子機が外線通話になります。

３者通話するとき：決定 を押す

●外線と内線の３者通話になります。通話が終わったら受話器を戻してください。

子機で外線をとりつぐ／3者通話する

外線通話中に親機や他の子機を呼び出し、外線をとりついだり、３人で通話したりすることができます。

1 **外線通話中に 内線/消去 保留 を押す**

2 **0わ（親機）または 1あ ～ 4た（子機）を押す**

呼び出された側は電話を受ける操作をする

●外線通話に戻るときは、内線/消去 保留 を2回押してください。

3 **外線をとりつぐとき：**

親機や他の子機に用件を伝えて （切） を押す

●とりつぎ先が外線通話になります。

３者通話するとき：メニュー/決定 を押す

●外線と内線の３者通話になります。通話が終わったら （切） を押してください。

■電話を自分ひとりでとりつぐ（ひとり転送）

かかってきた電話を、自分ひとりで親機や他の子機にとりつぐことができます。

親機から子機へ：
① 親機で通話中に 内線/保留 を押す
② 受話器を戻す
③ 子機を充電器から取って （通話） を押す

子機から親機／他の子機へ：
① 子機で通話中に 内線/消去 保留 を押す
② 子機の （切） を押す、または充電器に戻す
③ 着信音が鳴ったら、親機の受話器を取る、または他の子機を充電器から取って （通話） を押す

電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大100件（1番号ずつ）の番号を登録できます。同じ相手先で電話番号が2番号以上あるときは、それぞれ別の名前で登録してください。

親機の電話帳に登録する

1 メニュー 3さ 1あ と順に押す

2 ダイヤルボタンで名前を入力する（☞40～41ページ）

- 全角10文字／半角20文字まで入力できます。
- 姓と名の間にはスペースを入力してください。名前を音声で確認するときに、姓と名それぞれのアクセントを変更することができます（☞39ページ）。
- 名前を入力しないで登録すると、電話帳などには番号が表示されます。

3 決定 を押す

- 名前を入力しなかったときは、手順**5**へ進んでください。

4 名前の読みが正しければそのまま、間違っていれば修正して 決定 を押す

- 半角20文字まで入力できます。

5 ダイヤルボタンで番号を入力する

- 32ケタまで入力できます。
- ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、機能を正しく動作させるため、必ず市外局番から登録してください。

6 決定 を押す

7 誰あてコール（☞79～80ページ）でお知らせする名前を、0わ記号 ～ 9ら で選ぶ

- ご利用にはナンバー･ディスプレイのご契約が必要です。誰あてコールを設定しないときは 0わ記号 を押してください。

8 ほかの番号も登録するとき：手順**2**へ
登録を終わるとき：停止 を押す

◆電話帳、メニュー の順に押して、電話帳の登録画面を表示することもできます。

■親機の電話帳を修正する

① 電話帳 を押す
② (十字キー) で修正したい相手先を選ぶ
③ メニュー を押す
④ 名前・読み・番号・誰あてコールで発声する名前を順に確認し、必要な項目を修正する
⑤ 停止 を押す

- 修正しない項目は、修正せずにそのまま 決定 を押してください。

■親機の電話帳を消去する

① 電話帳 を押す
② (十字キー) で消去したい相手先を選ぶ
③ 消去/キャッチ を2回押す
④ 停止 を押す

■親機の再ダイヤルや着信記録の番号を電話帳に登録する

① 再ダイヤルから登録するときは (十字キー左)、着信記録から登録するときは (十字キー右) を押す
② (十字キー) で登録したい番号を選ぶ
③ メニュー を押す
④ 名前、読み、番号、誰あてコールで発声する名前を順に設定して登録する
⑤ 停止 を押す

子機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。子機では、１台につき最大100件（1番号ずつ）の電話番号を登録できます。
親機の電話帳と同じ電話番号を登録したいときは、親機に登録した電話帳を子機に転送できます(☞46ページ)。

 を押し、 で［電話帳］を選ぶ

 を押し、 で［電話帳登録］を選ぶ

3 を押し、ダイヤルボタンで名前を入力する（☞40、42ページ）
- ●全角10文字／半角20文字まで入力できます。
- ●名前を入力しないで登録すると、電話帳などで名前の代わりに電話番号が表示されます。

4 を押す
- ●名前を入力しなかったときは、手順**6**へ進んでください。

5 名前の読みが正しければそのまま、間違っていれば修正して を押す
- ●半角12文字まで入力できます。

6 ダイヤルボタンで番号を入力する
- ●24ケタまで入力できます。
- ●ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、機能を正しく動作させるため、必ず市外局番から登録してください。

7 を押す

■子機の電話帳を修正する
① 子機を充電器から取る
② 電話帳 を押す
③ で修正したい相手の番号を選ぶ
④ を押し、 で［電話帳変更］を選ぶ
⑤ を押す
⑥ 名前・読み・番号を順に確認し、必要な項目を修正する
⑦ を押す

●修正しない項目は、修正せずにそのまま を押してください。

■子機の電話帳を消去する
１件ずつ消去：
① 子機を充電器から取る
② 電話帳 を押す
③ で消去したい相手の番号を選ぶ
④ を押し、 で［1件消去］を選ぶ
⑤ を2回押す

すべて消去：
① 子機を充電器から取る
② を押し、 で［全消去］を選ぶ
③ を押し、 で［電話帳］を選ぶ
④ を2回押す

■子機の再ダイヤルや着信記録の番号を電話帳に登録する
① 再ダイヤルから登録するときは 、着信記録から登録するときは を押す
② で登録したい番号を選ぶ
③ を押し、 で［電話帳へ登録］を選ぶ
④ を押し、名前、読み、番号を順に設定して登録する

お知らせ
●親機の電話帳には、あらかじめ［≫時報 117］、［≫天気予報 177］の2件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは98件です。100件登録したいときは、この内容を消去してください。

電話帳の相手先を音声で読み上げる（おしゃべり電話帳（音声電話帳））

おしゃべり電話帳（音声電話帳）は、親機の電話帳の相手先を読み上げる機能です。はじめは、使用する設定になっています。

1 メニュー 3さ 3さ と順に押す

2 おしゃべり電話帳（音声電話帳）を使うときは 1あ 、使わないときは 2か を押す

3 停止 を押す

■「さん」の有無を設定する

相手先を登録したときは、名前の最後に「さん」を付けて読み上げる設定になっています。「さん」の有無は相手先ごとに設定できます。

① 電話帳 を押す

② で設定したい相手先を選ぶ

③ 再生 を押す
くり返して押すことで、「さん」の有無が切り替わります。

④ 停止 を押す

●あらかじめ登録されている [≫時報 117] と [≫天気予報 177] の２件には、「さん」を付けることはできません。

■アクセントの位置を変更する

読み上げのアクセントの位置を、「姓」と「名」で個別に変更できます。「姓」と「名」の区切りは、電話帳の読みに入力されているスペースで判断されます。

① 電話帳 を押す

② で設定したい相手先を選ぶ

③ 再生 を押す（名前を読み上げます）

④「姓」のアクセントを変更するときは ＊ 、「名」のアクセントを変更するときは ＃ を押す

⑤ 読み上げから3分以内に 1あ ～ 9ら 、0わ で調整する

1あ ～ 8や は、それぞれ左から数えて１～８番目の文字にアクセントを付けます。9ら はアクセントを自動設定し、0わ は平坦なアクセントに設定します。

⑥ 設定が終わったら 停止 を押す

お知らせ

●おしゃべり電話帳（音声電話帳）では、「読み」にアルファベット、数字、記号を使っていると、途中までしか発声できないことがあります。
●おしゃべり電話帳（音声電話帳）は、受話器を上げているときやオンフックダイヤルボタンを押したあとは働きません。
●おしゃべり電話帳（音声電話帳）では、記号は次のように発声します。

＊（スター）、 ＃（シャープ）、 .（テン）、
@（アット）、 &（アンド）

次の記号は発声しません。

－ _ スペース ， ： ／ ！ ？ （ ） [ ]

文字を入力する

文字入力のしかた

1 入力する文字の種類（入力モード）を選ぶ

親機では 画質/文字 、子機では 文字切替(キャッチ) を押す（押すごとに切り替え）

2 文字を入力する
ダイヤルボタンで入力する

（例）ひらがな入力のしかた（親機）

押す回数＼押すボタン	1あ	2か	3さ	4た	5な	6は	7ま	8や	9ら	0わ記号	＊ﾞﾟトーン
1回	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	゛（濁点）
2回	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	゜（半濁点）
3回	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	
4回	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	ー	
5回	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	(スペース)	
6回	ぁ			っ				ょ		。	
7回	ぃ									、	
8回	ぅ										
9回	ぇ										
10回	ぉ										

3 漢字に変換するときは ✥ で変換する
入力が終わったら、親機では 決定 、子機では メニュー/決定 を押す

■文字を消去する

（親機）：消去/キャッチ を押します（カーソルの1つ前を消去／カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）。すべての文字を一度に消すことはできません。

（子機）：内線/消去 保留 を押します（カーソルの1つ前の文字を消去／カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）。2秒以上、内線/消去 保留 を押し続けると、すべての文字が消去されます。

■小さな文字を入力する

小文字のある「あ行」1あ（親機）／1あ（子機）、「た行」4た（親機）／4た（子機）、「や行」8や（親機）／8や（子機）の場合、大文字のあとに続けてボタンを押すと、小文字を入力することができます（文字入力一覧表 ☞41、42ページ）。

■文字と文字の間を空ける（姓と名の間を空けるときなど）

文字を入力したあとに ✥（親機）／ ✥（子機）を押し、スペースを空けてから次の文字を入力してください。スペースは 0わ記号（親機）／0わ（子機）で入力することもできます。

■同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力する（「いえ」など）

文字を入力したあと、（親機）／（子機）を押してカーソルを移動させてから、次の文字を入力します。

文字入力一覧表（親機）

ボタン＼表示	ひらがなと漢字 [漢／かな]	カタカナ [カナ]・半[カナ]	英字 [英]・半[英] ※1	数字 [数]・ 半[数]	区点 コード [区点]
1あ	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	@. ／－＿	1	※2
2か	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2	
3さ	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef	3	
4た	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi	4	
5な	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5	
6は	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno	6	
7ま	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7	
8や	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv	8	
9ら	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9	
0わ 記号	わをんー（スペース）。、	ワヲンー（スペース） 。、※3	，：！？&／（）[] （スペース）	0	
*トーン	濁点／半濁点 ※4		無効	*	無効
#	無効			#	無効
上下	かな漢字変換／ カーソル上下移動	カーソル上下移動			
左右	カーソル左右移動				
決定	入力した文字の決定／ 決定（次へ進む）	決定（次へ進む）			
消去/ｷｬｯﾁ	1文字消去				
画質/文字	文字の種類の切り替え				

※1：半角英字のアルファベットは大文字のみです。
※2：区点コードについては107～108ページをご覧ください。
※3：「。」「、」は全角カナ入力時のみです。
※4：濁点・半濁点を付けたい文字を入力したあとに押してください。「は」行の文字では、押すごとに濁点→半濁点→点なし→濁点…と切り替わります（半角カナでは、濁点・半濁点も1文字として入力されます）。

文字入力一覧表（子機）

ボタン＼表示	ひらがなと漢字（漢）※1	カタカナ（カナ）・半（カナ）	英字（英）・半（英）※2	数字（数）・半（数）	区点コード（区点）
1あ	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	@. ／－＿	1	※3
2か	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣａｂｃ	2	
3さ	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦｄｅｆ	3	
4た	たちつてとっ	タチツテトッ	ＧＨＩｇｈｉ	4	
5な	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬｊｋｌ	5	
6は	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯｍｎｏ	6	
7ま	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳｐｑｒｓ	7	
8や	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ＴＵＶｔｕｖ	8	
9ら	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ	9	
0わ	わをんー（スペース）。、	ワヲンー（スペース）。、※4	，：！？＆（）［］（スペース）	0	
＊/トーン	濁点/半濁点 ※5		無効	＊※6	無効
＃	無効			＃	無効
メニュー/決定	入力した文字の決定／決定（次へ進む）	決定（次へ進む）			
左右キー	カーソル左右移動				
上下キー	かな漢字変換 ／カーソル上下移動	カーソル上下移動			
内線/消去 保留	１文字消去（2秒以上押し続けると、すべての文字を消去）				
文字切替 キャッチ	文字の種類の切り替え				

※1：子機が親機の電波の届く範囲にないと、子機の文字入力機能は使用できません。
※2：半角英字のアルファベットは大文字のみです。
※3：区点コードについては107～108ページをご覧ください。
※4：「。」「、」は全角カナ入力時のみです。
※5：濁点・半濁点を付けたい文字を入力したあとに押してください。「は」行の文字では、押すごとに濁点→半濁点→点なし→濁点…と切り替わります（半角カナでは、濁点・半濁点も1文字として入力されます）。
※6：全角入力時は「＊」、半角入力時は「＊」が表示されます。

電話帳で電話をかける

よく使う相手先を電話帳に登録しておくと、電話帳から相手先を選んで電話をかけることができます。

親機の電話帳でかける

1 電話帳 を押す

2 で電話をかけたい相手先を選ぶ

●ダイヤルボタンで相手先を検索できます。「お父さん」を探すときは「あ行」に対応した 1あ を押す、「学校」を探すときは「か行」に対応した 2か を押すというように、行単位でのおおまかな検索になります。
目的の相手先が選ばれなかったときは、さらに

で選んでください。

3 受話器を取る

4 通話が終わったら受話器を戻す

■親機で33ケタ以上の番号をダイヤルする

電話帳には、電話番号を32ケタまでしか登録できません。33ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます（チェーンダイヤル機能）。

① 受話器を取る
② 電話帳 を押す
③ で最初の番号を選ぶ
④ 決定 を押す
⑤ すぐに、もう一度 電話帳 を押す
⑥ で次の番号を選ぶ
⑦ 決定 を押す
⑧ 通話が終わったら受話器を戻す

■おしゃべり電話帳（音声電話帳）を設定または解除する（☞39ページ）

子機の電話帳でかける

1 子機を充電器から取る

2 電話帳 を押す

3 で電話をかけたい相手先を選ぶ

●ダイヤルボタンで相手先を検索できます。「お父さん」を探すときは「あ行」に対応した 1あ を押す、「学校」を探すときは「か行」に対応した 2か を押すというように、行単位でのおおまかな検索になります。
目的の相手先が選ばれなかったときは、さらに で選んでください。

4 を押す

5 通話が終わったら 切 を押す

6 充電器に戻す

■子機で25ケタ以上の番号をダイヤルする

電話帳には、電話番号を24ケタまでしか登録できません。25ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます（チェーンダイヤル機能）。

① 子機を充電器から取る
② 電話帳 を押す
③ で最初の番号を選ぶ
④ を押す
⑤ 電話が発信される前に 電話帳 を押す
⑥ で次の番号を選ぶ
⑦ を押す
⑧ 通話が終わったら 切 を押す
⑨ 充電器に戻す

■ 子機の電話帳で、184（非通知）や186（通知）を付けて電話をかける

184や186などの番号を電話帳に登録した番号の前に入れてダイヤルします。

① 子機を充電器から取る

② 電話帳 を押す

③ で相手先を選ぶ

④ メニュー/決定 を押し、 で［特番ダイヤル］を選ぶ

⑤ メニュー/決定 を押す

⑥ ダイヤルボタンで184（非通知）や186（通知）などの番号を押す（最大8ケタ）

⑦ を押す

⑧ 通話が終わったら 切 を押す

⑨ 充電器に戻す

お知らせ

●チェーンダイヤル機能で33ケタ以上の番号をダイヤルした場合、再ダイヤルしても同じ番号をダイヤルすることはできません。

●親機でコピー、印刷、録音データを保存しているときは、子機で電話をかけることはできません。

ワンタッチダイヤルを使う

よく電話をかける相手先を電話帳から選んで登録すると、かんたんな操作で電話をかけることができます。親機には2件、子機には3件のワンタッチダイヤルを登録できます。

親機のワンタッチダイヤルに登録する

1 電話帳 を押す

2 で登録先を選ぶ

3 • 、•• 、••• で登録したいワンタッチダイヤルを選ぶ

親機のワンタッチダイヤルで電話をかける

1 • 、•• 、••• から選んで押す

●ワンタッチダイヤルボタンを押してから受話器を置いたままにしておくと、自動的にオンフックダイヤルになります。

●登録された相手先を読み上げます。ワンタッチダイヤルに登録したもとの電話帳のアクセントを変更することで、読み上げのアクセントを変更できます（☞39ページ）。

2 受話器を取る

3 通話が終わったら受話器を戻す

■ ワンタッチダイヤルの登録を消去する

消去したいワンタッチダイヤルボタンを、2秒以上押し続けてください。

子機のワンタッチダイヤルに番号を登録する

1 を押し、 で［電話帳］を選ぶ

2 を押し、 で［ワンタッチ登録］を選ぶ

3 を押し、で［ワンタッチ 1］～［ワンタッチ 3］のいずれかから登録先を選ぶ

4 を押し、で［登録］を選ぶ

5 を押し、ワンタッチダイヤルに登録したい相手先を電話帳から で選ぶ

6 を押す

子機のワンタッチダイヤルで電話をかける

1 子機を充電器から取る

2 かけたい番号を登録したワンタッチダイヤルボタン（• •• ••• のいずれか）を押す

3 通話が終わったら 切 を押す

4 子機を充電器に戻す

■ワンタッチダイヤルの登録を消去する

以下の操作で登録を消去できます。登録を変更したいときは、いったん消去してから、あらためて登録してください。

1件ずつ消去：

① を押し、で［電話帳］を選ぶ

② を押し、で［ワンタッチ登録］を選ぶ

③ を押し、で消去したい登録（［ワンタッチ 1］～［ワンタッチ 3］のいずれか）を選ぶ

④ を押し、で［消去］を選ぶ

⑤ を２回押す

すべて消去：

① を押し、で［全消去］を選ぶ

② を押し、で［ワンタッチ］を選ぶ

③ を２回押す

お知らせ

●ワンタッチダイヤルに登録したもとの電話帳の内容を変更・消去すると、ワンタッチダイヤルの内容も変更・消去されます。

電話帳を転送する

親機と子機の間で電話帳を転送し、同じ相手先を登録することができます。転送した電話番号は消えません。

親機の電話帳を子機に転送する

1 メニュー 3さ 2か と順に押す

2 すべての相手先を転送する：
1あ を押して手順**5**へ

相手先を選んで転送する：
2か を押して手順**3**へ

3 で転送したい相手先を選ぶ

●25ケタ以上の番号で登録している相手先は、転送できません。

4 決定 を押す

5 転送したい子機の内線番号（1あ ～ 4た）を押す

●25ケタ以上の番号で登録している相手先があるときは、[転送できないデータがあります　操作を続けますか？] と表示されます。決定 を押すと、それ以外の相手先を転送します。

■子機から電話帳を転送する

1件ずつ転送：

① 電話帳 を押す

② で転送したい相手先を選ぶ

③ メニュー/決定 を押し、 で [1件転送] を選ぶ

④ メニュー/決定 を押し、 で転送先を選ぶ

⑤ メニュー/決定 を押す

すべて転送：

① メニュー/決定 を押し、 で [電話帳] を選ぶ

② メニュー/決定 を押し、 で [電話帳全転送] を選ぶ

③ メニュー/決定 を押し、 で転送先を選ぶ

④ メニュー/決定 を押す

●転送先には、子機のディスプレイに表示されている内線番号または使用者表示（☞31ページ）で設定した名前が表示されます。

●親機が使用中などのときは、「ピーピー」とエラー音が鳴って転送できません。

お知らせ

●親機から子機へ、半角13文字以上の読みで登録している相手先を転送すると、読みは12文字までしか転送できません。

●子機で転送するときは、できるだけまわりに他の子機や電気製品などがない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。また、電源コードを子機や充電器の近くに束ねて置くと、転送できないことがあります。

●転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。

●名前の先頭が“》”ではじまっている電話番号（天気予報、時報）は転送できません。

●転送中に電話がかかってくると、転送を中断し、電話の着信音が鳴ります。通話が終わったら、もう一度転送をやり直してください。

留守設定する

留守設定しておくと、外出中に相手の方の用件を録音したり、ファクスを自動受信したりできます。

- すべての録音を合わせて、最大約15分間または30件まで録音できます。用件1件あたりの録音時間は最大約30秒です（1件あたりの録音時間は変更できます。「留守録音時間」☞104ページ）。

電話がかかってくると

設定した回数の着信音が鳴る※1

応答メッセージ待ち時間※2

応答メッセージが流れる

発信音待ち時間※2

「ピー」と発信音が鳴る

用件を録音する・ファクスが送信されると自動的に受信する

※1 着信音の回数は変更できます（「留守時応答回数を設定する」☞51ページ）。
※2 応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は、ファクスを受信するために必要な無音時間です。変更することもできます（☞104ページ）。ただし、短くするとファクスを受けにくくなる場合があります。

親機で留守設定する

1 留守 を押す

- 応答メッセージが流れ、留守 が点灯して留守設定になります。
- 録音できる残り時間が約5分以下になると音声でお知らせします。不要な録音を消去（☞48～49ページ）するか、メモリー受信したファクスを印刷／消去（☞63ページ）して、メモリーの空き容量を増やしてください。

親機で留守設定を解除する

1 留守設定時に 留守 を押す

- 留守 が消灯して留守設定が解除されます。新しい録音があるとき（留守 点滅時）は、自動的に再生されます。再生中にできる操作については、49ページをご覧ください。
- 再生が終わると、録音の消去などができます。画面の表示に従って操作してください。

■ が点滅しているときは

- 留守設定中に点滅しているときは、新しい録音があります（今から録音、戻って録音、メモ録音も含む）。また、子機には [新着あり] と表示されます。
- 留守を解除したあとも点滅（間隔の短い点滅）しているときは、未再生の録音があります。約3秒以上再生すると再生済みになり、すべて再生済みになると消灯します。
- 未再生録音を聞くときや、録音を聞き直すときは、「録音を再生／消去する」（☞48～49ページ）の操作をします。

■親機のディスプレイに [受信ファクスあり [受信ファクス]を押す] と表示しているときは

すべての受信データを印刷または消去（☞63ページ）すると、表示が消えます。

■子機で留守設定する／解除する

① メニュー/決定 を押し、 で [留守番電話] を選ぶ

② メニュー/決定 を押し、 で [留守設定切替] を選ぶ

③ メニュー/決定 を押し、 で [解除] または [設定] を選ぶ

④ メニュー/決定 を押す

- 子機では、留守設定を解除しても用件の自動再生はしません。

お知らせ

- 自動着信すると、相手の方に通話料金がかかります。
- 相手の方が自動送信でファクスを送っているときは、「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります（ファクス受信可能な場合のみ）。
- 応答メッセージが流れている間、相手の方の声がスピーカーから聞こえます（「お声拝聴」☞104ページ）。応答メッセージが流れている間や録音している間に電話に出ると通話できます。

録音を再生／消去する

以下の操作で、各種の録音（留守録音、今から録音、戻って録音、メモ録音）を再生できます。

親機で録音を再生／消去する

1 再生 を押す

- 再生が始まります。留守設定しているときは留守設定以降の録音を、留守設定していないときは未再生の録音を再生します。どちらの録音もないときは、１件目から再生します。
- 約３秒以上再生した録音は再生済みになります。
- 再生中の録音を消去するときは、消去/キャッチ を２回押します。

2 再生が終わったら、操作を選ぶ

○**聞き直す：** 再生

○**再生した録音を消去する：** 消去/キャッチ **を2回押す**

○**終了する：** 停止

■親機で録音をすべて消去する

メモリーに保存されている録音をすべて消去できます。

① 消去/キャッチ 1あ 2か と順に押す

● メニュー 4た 1あ 2か と順に押して消去することもできます。

■親機のメモリーの残量を確認する（ファクス/録音メモリー残量表示）

① メニュー 7ま と順に押す

② 確認したら 停止 を押す

子機で録音内容を再生／消去する

親機のメモリーに保存されている録音を再生できます。

1 メニュー/決定 **を押し、** ✥ **で［留守番電話］を選ぶ**

2 メニュー/決定 **を押し、** ✥ **で［用件再生］を選ぶ**

3 メニュー/決定 **を押す**

- 再生が始まります。留守設定しているときは留守設定以降の録音を、留守設定していないときは未再生の録音を再生します。どちらの録音もないときは、１件目から再生します。
- 録音内容は、約3秒以上再生すると再生済みになります。
- 再生中の録音を1件消去するときは、内線/消去 保留 1あ と順に押します。

■子機で録音をすべて消去する

① メニュー/決定 を押し、✥ で［留守番電話］を選ぶ

② メニュー/決定 を押し、✥ で［録音全消去］を選ぶ

③ メニュー/決定 を２回押す

■通話中に再生する

親機で再生する：

① 通話中に 再生 を押す

再生をやめるときは 停止 を押します。

子機で再生する：

① 通話中に メニュー/決定 を押し、✥ で［録音再生］を選ぶ

② メニュー/決定 を押す

再生をやめるときは 切 を押します。

■録音再生中の通話について

親機：再生中でも通話できます。
子機：再生中は通話できません。
戻って録音（☞72〜73ページ）**再生中**：
親機・子機とも通話できません。

再生中にできる操作

再生を途中でやめる	
親機：停止 ⊖	子機：切（通話中に再生したときは ☎）
再生中の録音を聞き直す	
親機：＊	子機：5な
●再生が約3秒以内のときに操作すると、1つ前の録音に戻ります。	
次の録音にとばす	
親機：＃	子機：6は
1つ前の録音に戻す	
親機：3秒以上再生して ＊ 2回	子機：3秒以上再生して 5な 2回
●聞きたい録音まで戻すときは、ボタンをくり返し押します（1回押すごとに1つ戻ります）。	
早聞きや遅聞きをする	
親機：再生 ○ ●ボタンを押すたびに、早い→遅い→通常の再生→早い…と切り替わります。	子機：9ら ●ボタンを押すたびに、早い→通常の再生→早い…と切り替わります。

お知らせ

●録音されている用件が多いと、メモリー残量が少なくなり、録音やファクス受信ができなくなることがあります。不要な用件は消去してください。

応答メッセージを選ぶ

留守設定の応答メッセージを3種類から選ぶことができます。

固定メッセージ1
「ただ今、留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください」
固定メッセージ2
「ただ今、電話に出ることができません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください」
自作メッセージ
自分で録音したメッセージが流れます（☞50ページ）。

ただし、録音やファクス受信ができなくなったときは、以下の固定メッセージが流れます。

ファクス受信できる・録音できない：
「ただ今、留守にしております」または「ただ今、電話に出ることができません」※に続けて「ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直しください」

ファクス受信できない・録音できる
「ただ今、留守にしております」または「ただ今、電話に出ることができません」※に続けて「ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください」

ファクス受信も録音もできない
着信音が鳴り（25回）、「ただ今、留守にしております」または「ただ今、電話に出ることができません」※に続けて「恐れ入りますが後程おかけ直しください」（3回）
ただし、リモート操作の暗証番号（☞50ページ）が登録されていないと応答しません。

※固定メッセージ1または2のどちらに設定していたかで変わります。自作メッセージに設定していたときは、その前に設定していた固定メッセージに応じて変わります。

応答メッセージを選ぶ

1 メニュー 4た 3さ と順に押す

2 固定メッセージ1にするときは 1あ 、
固定メッセージ2にするときは 2か 、
自作メッセージにするときは 3さ を押す

●自作メッセージを録音していないときは、3さ 2か と順に押すと録音の操作になります（☞下記「自作メッセージを録音する」の手順**2**から）。

3 1あ を押す

●応答メッセージの内容を確認したいときは、2か を押してください（再生後は待受画面に戻ります）。

自作メッセージを録音する

以下の操作で自作メッセージを録音できます。
録音済みのメッセージがあるときは、「自作メッセージを消去する」（☞下記）の操作で消去してから操作してください。

1 メニュー 4た 3さ 3さ 2か と順に押す

2 10秒以内に受話器を取る

3 10秒以内に 決定 を押し、受話器でメッセージを録音する

●メッセージは20秒以下にしてください。長すぎるとファクスを受信できないことがあります。

4 録音が終わったら 停止 を押す

●録音したメッセージが再生されます。

5 再生が終わったら 停止 を押す

6 受話器を戻す

■自作メッセージを消去する

以下の操作で自作メッセージを消去できます。
自作メッセージを変更したいときは、いったん消去してからあらためて録音してください。

① メニュー 4た 3さ 3さ 3さ と順に押す

② 消去しないときは 1あ 、消去するときは 2か を押す

●応答メッセージに自作メッセージを設定していたときは、応答メッセージが自作メッセージの前に設定されていた固定メッセージに変わります。

外出先から録音を聞く（リモート操作）

外出先から電話をかけて、録音を聞くことができます。リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録と留守設定（☞47ページ）をしておく必要があります。
留守設定しないときは、次のいずれかの設定をしてください。

●「在宅時応答回数」を設定する（☞105ページ）（「無制限呼出」ではリモート操作できません）
●「ファクス自動受信」を設定する（☞61ページ）
●「ファクス優先」を設定する（☞104ページ）（「ファクス専用」ではリモート操作できません）

暗証番号を登録する

1 メニュー 4た 4た 1あ 1あ と順に押す

2 ダイヤルボタンで4ケタの暗証番号を入力する

3 決定 を押す

4 停止 を押す

■登録した暗証番号を消去する

① メニュー 4た 4た 1あ 2か 2か と順に押す

② 停止 を押す

■暗証番号について

登録した暗証番号は、忘れないように117ページのリモート操作手順カードに記入してください。外出するときは、カードを切り取ってお持ちください。
暗証番号を忘れてしまったときは、確認はできませんので、新しい暗証番号を登録（上書き）してください。暗証番号を上書きしても、録音内容は消えません。

■外出先からリモート操作する

① 自宅に電話をかける
② 応答メッセージが聞こえている間に[#]を押す
③ 暗証番号を入力する
④ [#]を押す
⑤ 音声メッセージのあと、下記のリモート操作番号を入力する
⑥ リモート操作が終わったら電話を切る

録音内容を聞く	[1][#]
早聞きや遅聞きをする	再生中に [1] [#] (押すたびに「速い」→「遅い」→「普通」→「速い」…)
録音内容を聞き直す	再生中に [3] [#]
1件前の録音を聞く	再生中に [3] [#] [3] [#]
次の録音内容を聞く	再生中に [4] [#]
止める	再生中に [5] [#]
再生済みの録音を消す	停止中に [0] [1] [#]
録音内容をすべて消す	停止中に [0] [2] [#] 未再生の録音も消えます。 応答メッセージは消えません。
留守を設定／解除する	停止中に [6] [#]

■録音を再生すると

留守設定しているときは留守設定以降の録音を、留守設定していないときは未再生の録音を再生します。どちらの録音もないときは、1件目から再生します。

■トールセーバーについて

トールセーバーを使うと、通話料金をかけずに未再生録音の有無が分かります。詳しくは「トールセーバーを設定する」(☞右記)をご覧ください。

お知らせ

- 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
- リモート操作中に1分以上操作をしないと電話が切れます。
- メッセージの再生中にリモート操作を行うと、音声と操作音が重なって正しく動作しないことがあります。そのときは、もう一度やり直してください。

留守番電話の応答回数を変更する

留守時応答回数を設定する

留守設定で応答メッセージが流れるまでの応答回数（呼出音の回数）を変更できます。はじめは [4回] に設定されています。
応答回数を7回以上に設定すると、相手の方がファクスを自動送信した場合などに、ファクスに切り替わらないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、応答回数を6回以下に設定してください。

1 メニュー 4た 2か 2か と順に押す

- 下記の「トールセーバー」を設定しているときは、[応答回数を変更するとトールセーバーは解除されます] と表示されます。そのまま続けるときは 決定 を押してください（トールセーバーが自動的に解除されます）。

2 ダイヤルボタンで応答回数（1～25回）を入力する

3 決定 を押す

4 停止 を押す

■トールセーバーを設定する

トールセーバーは、外出先からリモート操作(☞50ページ）をしたときに、未再生録音の有無によって応答回数を変える機能です。未再生録音があるときは呼出音2回、未再生録音がないときは呼出音5回で応答メッセージが流れます。3回目の呼出音が聞こえたときは未再生録音がありませんので、そのまま電話を切れば通話料金はかかりません。

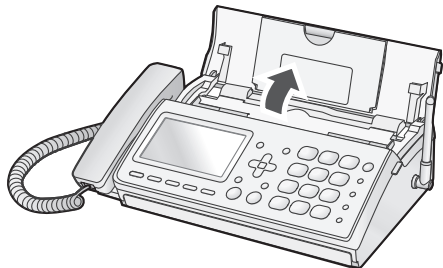
① メニュー 4た 4た 2か 2か と順に押す
② 画面の説明文を確認して、決定 を押す
③ 停止 を押す

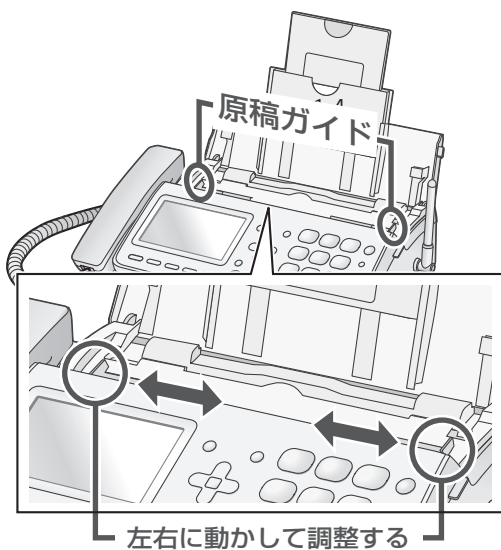
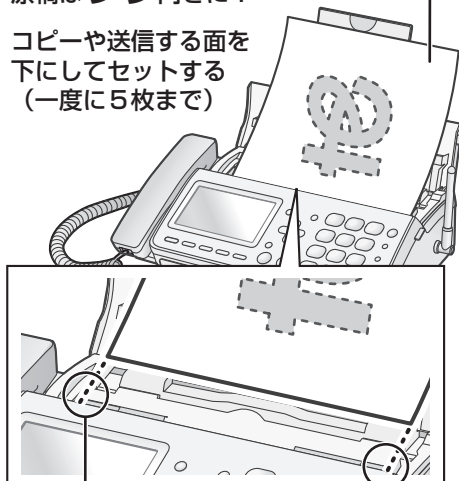
- トールセーバーを解除するときは、メニュー 4た 4た 2か 1あ と順に押してください。

ファクスを送る

親機でお話ししてからファクスを送る

親機で電話をかけて、相手の方とお話ししてからファクスを送る操作です。

1 記録紙トレイを開ける

2 延長トレイを引き出す

3 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

4 原稿をセットする

- 一度にセットできる原稿は５枚までです。６枚以上の原稿があるときは、セット枚数が５枚を超えないように、１枚ずつ追加してください。また、新しい原稿は一番上に追加してください。
- セットできる原稿の条件や読み取れる範囲については55ページをご覧ください。
- 原稿が自動的に少し引き込み始めたら、手を離してください。
- 原稿をセットしたあと、画質を選ぶことができます（☞55ページ）。画質を［精細］や［写真］にすると、通信時間が長くなります。

5 受話器を取ってダイヤルする

- 先にダイヤルしてから、受話器を取って電話をかけることもできます。

次ページへ

6

相手の方が電話に出たら…

相手の方にファクスを送信することを伝えて、ファクスを受信する操作をしてもらい……

「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたら…

留守番メッセージが聞こえたら…

「ファクスを送られる方は、送信してください」と聞こえたら…

「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたら…

相手の方が、すでにファクスの受信操作をしているか、自動でファクスを受信する設定にしています。
自動的に送信が始まります。

相手の方が電話に出ないときは…

「プルルルル　プルルル」と鳴り続けているときは、ファクスを送信することはできません。

「プー　プー…」と音が鳴っているときは、相手の方がお話し中です。

ファクス スタート を押して、ファクスを送信する

◆相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります（「おまかせ送信とは」☞54ページ）。

こんなときは

相手の方のファクスの状態によっては、「ファクスを送られる方は、送信してください」などのメッセージが聞こえないときや、こちらのファクス送信が完了していても、相手の方に送られないときがあります。

例）・相手の方のファクスが用紙切れ、インクリボン切れ、受信メモリー不足になっているとき
・相手の方のファクスが受信できない設定になっているとき（ファクスを自動で受信できない留守番電話など）
・相手の方がファクス機能のない電話機などをお使いのとき

7 受話器を戻す

●送信が始まります。

◆途中でやめるとき：送信前は受話器を戻す／ 送信中は 停止 を押す（原稿がつまった状態になります）

■子機でファクスを送る

① 親機に原稿をセットする
（☞52ページ　手順 **1**～**4**）
② 子機で電話をかける
③ 相手の方が電話に出たら、ファクスを送信することを伝え、ファクスを受信する操作をしてもらう
④「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたら、[メニュー/決定] を押し、[十字キー] で [FAX送信] を選ぶ
⑤ [メニュー/決定] を押す
⑥ 子機を充電器に戻す
上記の手順③で「ファクスを送信してください」という留守番メッセージや、相手の方が電話に出ないで「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたときも、続けて④～⑥の操作をしてください。

■原稿を取り出す

① 一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く
② [メニュー] [0 わ 記号] と順に押す
原稿が排出されます。排出されないときは、「原稿がつまったときは」（☞96～97ページ）をご覧ください。

■おまかせ送信とは

親機、子機ともに動作します。
相手の方が受信操作をすると「ピー」という音（ファクス受信音）が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。

※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。
※お使いの環境などによっては、おまかせ送信が働かないことがあります。「ピー」という音が聞こえても送信が始まらない場合、親機をお使いのときは [ファクス/スタート] を押して、子機をお使いのときは「子機でファクスを送る」（☞上記）の操作を行って送信してください。

親機でお話ししないでファクスを送る

ダイヤルで電話をかけ、お話ししないでファクスを送ることができます。
以下のようなときは、ファクスを送信できません。「親機でお話ししてからファクスを送る」（☞52～53ページ）をご確認のうえ、相手の方とお話ししてからファクスを送信してください。

● 相手の方が自動でファクス受信になる設定をしていないとき
● 相手の方がファクス受信の操作をしていないとき
● 相手の方が電話に出ないとき　　　　　など

1 **原稿をセットする**
（☞52ページ　手順 1～4）

2 **[オンフック] を押す**

3 **「ツー」という音が聞こえたら、ダイヤルボタンで電話番号を入力する**

4 **電話がつながったら [ファクス/スタート] を押す**
送信が始まります。

◆途中でやめるとき：送信前は [オンフック] を押す／ 送信中は [停止] を押す（原稿がつまった状態になります）

■原稿を取り出すときは（☞左記）

■電話帳や再ダイヤルでファクスを送る

① 原稿をセットする（☞52ページ　手順 **1**～**4**）
② 電話帳を使用するときは [電話帳]、再ダイヤルを使用するときは [十字キー] を押す
③ [十字キー] で番号を選ぶ
④ [決定] または [ファクス/スタート] を押す（ファクスを送信します）

相手の方とお話ししてから送るときは

① 上記の手順①～③の操作をする
② 受話器を取ってファクスを送信することを伝え、受信操作をしてもらう
③「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたら、[ファクス/スタート] を押す
④ 受話器を戻す

■ワンタッチダイヤルでファクスを送る

① 原稿をセットする(☞52ページ　手順 **1**～**4**)
② (•)、(••)、または (•••) を押す（ファクスを送信します）

相手の方とお話ししてから送るときは

① 原稿をセットする(☞52ページ　手順 **1**～**4**)
② 受話器を取る
③ (•)、(••)、または (•••) を押す
④ ファクスを送信することを伝え、受信操作をしてもらう
⑤「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたら、

を押す

⑥ 受話器を戻す

お知らせ

●本機には、自動的に再ダイヤルしてファクスを送り直す機能はありません。
●相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなどに、[応答がありません] と表示されてファクスが送れないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」(☞52～53ページ) の方法で送信してください。

コピー／ファクス送信の画質・濃度を選ぶ

1 原稿をセットした状態で 画質/文字 を押す

①[普通字] ⑤[普通字:濃く]
文字が大きくはっきり見えるときに選びます。

②[小さな字] ⑥[小さな字:濃く]
［普通字］の２倍の密度で読み取ります。文字が小さいときに選びます。
画像が小さくなる（縮小される）ことはありません。

③[精細] ⑦[精細:濃く]
［普通字]の４倍の密度で読み取ります。細い線を使った図面や、さらに小さな字のときに選びます。
受信側に［精細］がないときは、自動的に［小さな字］に切り替わります。

④[写真] ⑧[写真:濃く]
濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真のときに選びます。

●押すごとに①～⑧の順で設定が変わります。
●原稿の文字などが薄いときは、各画質の [濃く] を選びます。
●画質を選ばなかったときは、ファクス送信では [普通字] 、コピーでは [小さな字] になります。

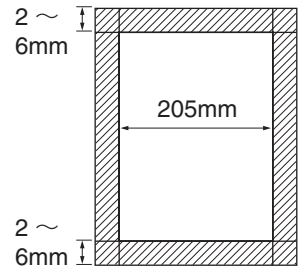
使用できる原稿

■セットできる原稿のサイズ

幅 148mm ～ 210mm／
長さ 128mm ～ 500mm／
厚さ 0.06mm ～ 0.18mm
（厚さのめやす　新聞紙：約0.05～0.06mm
上質紙：約0.10mm）

■原稿を読み取れる範囲

原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

最大読み取り幅：
205mm
最大読み取り長：
送信原稿長（128～500mm）から上下とも2～6mmを引いた長さ

■一度に２枚以上セットできない原稿

●長さ297mmを超える原稿
●厚さ0.12mmを超える原稿
●厚さや大きさの異なる原稿

■そのままではセットできない原稿

次のような原稿は複写機でコピーをとってからセットしてください。そのままセットすると、故障の原因になります。

●サイズが小さすぎるもの（写真など）
●フィルム状のもの、透明のもの
●紙の厚さが薄すぎるもの
●しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
●裏カーボン紙、感熱紙など
●コーティングされているもの
●セロハンテープや糊で貼り合わせたもの
●クリップやステープラーの針が付いたもの

お知らせ

●糊や修正液、ボールペンのインクなどをご利用の用紙はできる限りご使用にならないでください。使用する場合は、よく乾かしてください。読み取れなかったり、紙づまりの原因になることがあります。また、原稿送りローラーや読み取り部（ガラス）の汚れの原因になります。汚れたときは93～95ページをご覧のうえ、清掃してください。
●小さい原稿を送信するためのキャリアシートはご使用になれません。

ファクスの受けかたを選ぶ

お使いの状況に合わせて、いろいろなファクスの受信方法を選ぶことができます。ファクスを自動で受けるときは設定が必要です。

電話に出てからファクスを受ける（はじめの設定）

電話に出て相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えて受信します。
この設定では、いったん電話に出ないとファクスを受けられません。

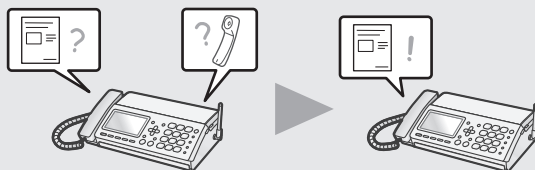
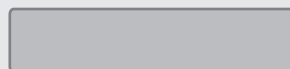
もっと詳しく ☞59ページ

着信音が鳴ったら…

ファクスを自動で受ける（設定が必要です）

自動でファクスを受ける方法は以下の3通りです。設定すると自動でファクスを受けることができますので、お使いの状況に応じて設定してください。

● 在宅時に電話に出られなくても自動でファクスを受ける（自動受信）

着信音が鳴ったあと、本機が自動的に着信を受け、電話かファクスかを判別します。ファクスの場合は自動で受信し、電話の場合は、いったん着信音が止まったあと、再び着信音を鳴らして呼び出しを続けます。

もっと詳しく／設定のしかた ☞60〜61ページ

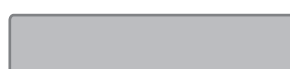
プルルル…

着信すると…

● 留守時にファクスを自動で受ける（留守設定）

留守設定にすると、自動応答したあとファクスの受信や用件の録音をします。

もっと詳しく／設定のしかた ☞47ページ

着信すると…

● ファクス専用にする（ファクス専用） ＜相手の方とお話しはできません＞

ファクス受信専用でお使いになりたい方におすすめです。
電話を受けることはできません。

設定のしかた ☞104ページ

相手の方の用件が電話なら

そのままお話しする

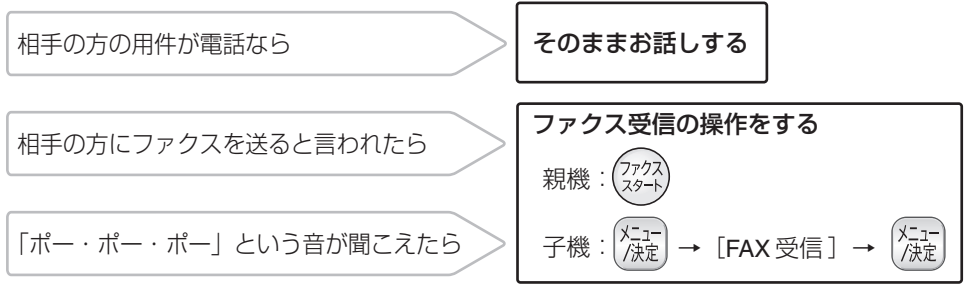
電話に出る

相手の方にファクスを送ると言われたら

「ポー・ポー・ポー」という音が聞こえたら

ファクス受信の操作をする

親機：

子機：メニュー/決定 →［FAX受信］→ メニュー/決定

着信音が3回鳴る※1
（回数は変更できません）

本機が自動で受ける
（約5秒間、着信音が止まります）※2

※1 着信音の種類によっては、回数は異なることがあります。

※2 このときから相手に通話料金がかかります。

ファクスのときは、自動受信する

電話のときは、さらに着信音が鳴る

着信音は「電話ベル音」になります。

：この間に電話に出ると、お話しできます。

着信音が4回※3鳴る
（回数は変更できます）

本機が自動応答して
メッセージが流れる

※3 着信音の種類によっては、回数は異なることがあります。

ファクスのときは、自動受信する

「ピー」と
発信音が鳴る

電話のときは、
用件を録音する

：この間に電話に出ると、お話しできます。

ファクスを受信するときの印刷のしかた

ファクスを受信したときの印刷のしかたは、次の2通りです。はじめは、**[メモリー受信]** に設定されています。
変更するときは「ファクス受信方法」(☞104ページ) で設定します。

メモリー受信 (お買いあげ時)	ファクスのメモリーに保存します。 あらかじめ記録紙がセットされているときは、ファクスを自動的に印刷し、メモリーから消去します。記録紙がセットされていないときは、そのままメモリーに保存します。 自動印刷中に記録紙やインクリボンがなくなっても、受信したファクスはメモリーに保存されています。 メモリーがいっぱいになると、ファクスを受信できません。
記録紙受信	**あらかじめに記録紙をセットしておきます。** ファクスをメモリーに保存せず、そのまま記録紙に印刷します。 メモリーの残量にかかわらず、ファクスを受信できます。 記録紙やインクリボンがなくなると、ファクスを受信できません。

メモリー受信とは
送られてきたファクスを直接記録紙に印刷せずに、いったん親機のメモリーに記録することです。

■ ファクスをメモリー受信したときは

ファクスをメモリー受信すると、受信ファクス が点滅し、ディスプレイに [受信ファクスあり [受信ファクス]を押す] と表示されます。
受信ファクスを印刷または消去(☞63ページ)すると、受信ファクス の点滅とディスプレイの表示が消えます。

■ メモリー受信枚数・受信件数について

A4サイズの当社標準原稿(英字で文字数が700字程度の原稿)を [普通字] で約52枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります(最大でも約60枚または30件までです)。
受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合もあります。

■ 親機のファクス/録音メモリーの残量を確認する

① メニュー 7ま と順に押す

② 確認したら を押す

お知らせ

● ファクスを受信するときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号を印刷するため、全体を約93%に縮小します。
縮小しないで印刷したいときは「縮小受信」(☞105ページ)をしない設定にします。

電話に出てからファクスを受ける

相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えることができます。
はじめは無制限呼出の設定（電話に出るまで着信音が鳴り続ける）になっているため、電話に出られないときはファクスを受信できません。外出時などには留守設定をおすすめします。

親機で電話に出てからファクスを受ける

原稿がセットされているときに［ファクススタート］を押すと送信になるため、ファクスを受けるときは原稿を取り出しておいてください。

1 **着信音が鳴ったら受話器を取る**

2 **受話器から「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえるか、相手側からファクスが送信されたら［ファクススタート］を押す**

●「おまかせ受信」（☞105 ページ）が設定されていると、「ポー・ポー…」という音が聞こえたあと、自動的にファクスを受信できます。おまかせ受信が働かないときは、「ポー・ポー・ポー…」という音のあとで［ファクススタート］を押してください。なお、こちらから電話をかけたときは、おまかせ受信は働きません。

3 **受信が始まるので、受話器を戻す**

●受信が終わると、自動的に電話が切れます。

■子機で電話に出てからファクスを受ける

① 着信音が鳴ったら、子機を充電器から取る

② を押す

③ **「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら…**

相手側でファクス送信の操作をしています。

 を押し、 で［FAX受信］を選んで

 を押す

相手側からファクスが送信されたら…

相手側がファクス送信の操作をしたあと、

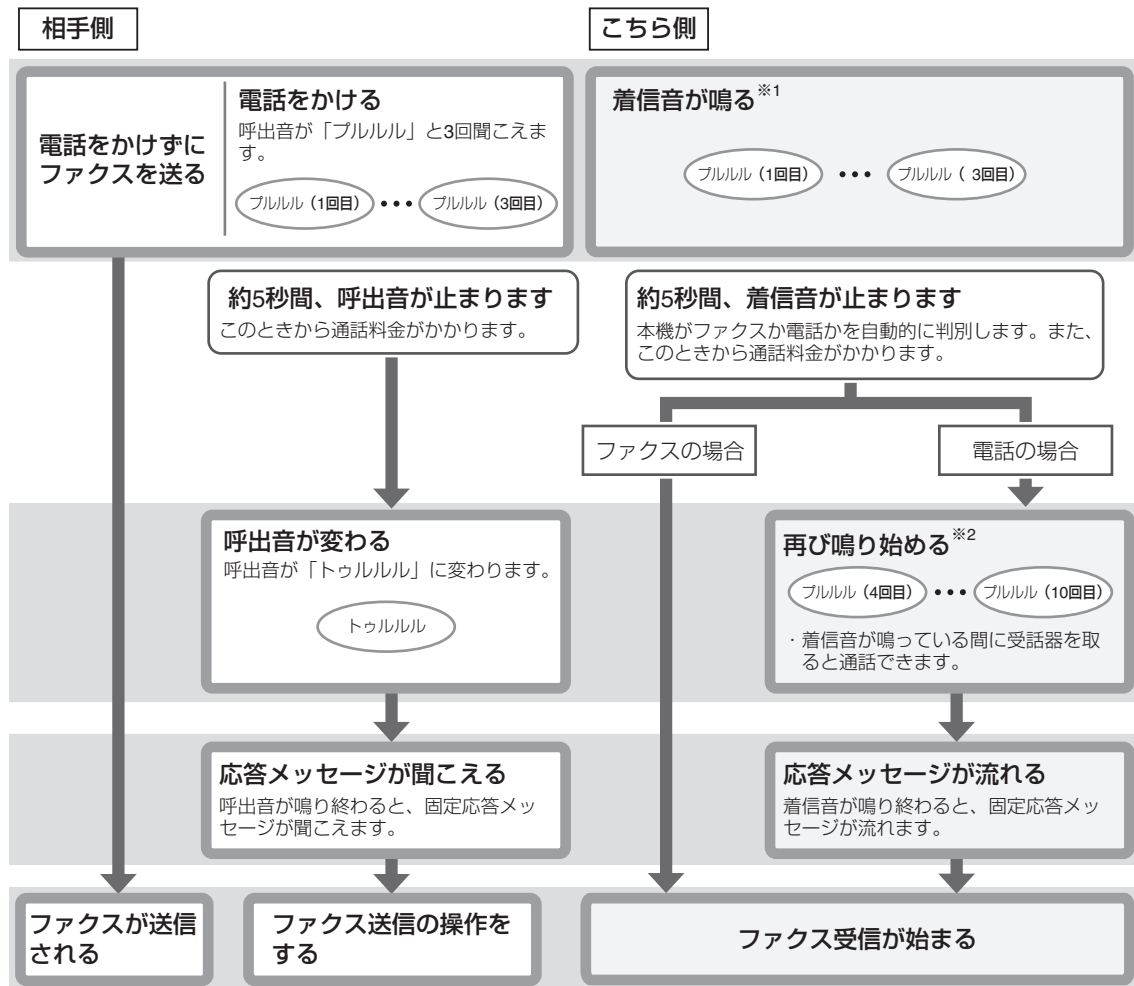
 を押し、 で［FAX受信］を選んで

 を押す

④子機を充電器に戻す

ファクス自動受信を設定する

着信音が鳴っている間に電話に出られないときは、自動的にファクスを受信するように設定できます。はじめは、ファクスを自動受信しない設定（着信音が鳴り続ける設定）なっています。

●下記の例は、[ファクスの受け方] を [自動受信する] 、呼出回数を10回に設定したときの動作です。

※1 回数は変更できません。

※2 このときの着信音は「電話ベル音」になります。応答メッセージが流れるまでの呼出回数は変更できます。

自動受信の設定をする

1 メニュー 6は と順に押す

2 画面の表示を確認して 決定 を押す

3 2か を押す

4 ダイヤルボタンで呼出回数（6～25回）を入力する

●ここで設定する呼出回数は、応答メッセージが流れるまでに鳴る着信音の回数です。

5 決定 を押す

6 停止 を押す

■自動受信の設定を解除する

① メニュー 6は と順に押す

② 画面の表示を確認して 決定 を押す

③ 1あ を押す

④ 停止 を押す

■インクリボンや受信メモリーがなくなって受信できないときは

着信音が鳴り続けます。電話が切れたあと、下記ページをご覧のうえ、受信できる状態にしてください。

- インクリボンを交換する（☞24～25ページ）
- 録音を消去する（☞48～49ページ）
- 受信ファクスを印刷／消去する（☞63ページ）

お知らせ

●相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをお使いのときや、スタートボタンを押さなかったときは自動受信できません。このときは、受話器を取ってから受信してください。

●ファクスを自動受信する設定にしていると、電話がかかってきたときに、子機に着信記録が2回残ることがあります。

記録紙のセットのしかた

A4サイズの記録紙をセットします。一度に15枚まで、記録紙をセットできます。

記録紙はA4サイズの当社推奨品（☞102ページ）をお買い求めください。

○ 普通紙（PP110MA4）

推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用すると印刷がかすれたり、濃く、または薄くなることがあります。
ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。

記録紙をセットする

1 記録紙トレイを開ける

2 延長トレイを引き出す

3 記録紙押さえの一番奥に、印刷する用紙をセットする

- ご使用にならないときは、記録紙トレイを確実に閉めてください。
- 紙づまり防止のため、記録紙はよくさばいて、先端をそろえてからセットしてください。また、強く差し込まないでください。
- 記録紙が壁などにあたり、前に傾いていると記録紙がつまることがあります。

■記録紙を追加するときは

いったん記録紙をすべて取り出してから、再度セットしてください。
印刷中は、記録紙を追加しないでください。

■記録紙がつまったときは（☞98ページ）

お知らせ

- しわや折り目が付いていたり、そっていたり、破れていたりする記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
- ファクスやコピーを使わないときは、記録紙をセットせずに記録紙トレイを閉めておくことをおすすめします。長期間、記録紙をセットしたままにすると、記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になることがあります。
- 一度使用した記録紙（裏紙）はセットしないでください。

メモリー受信したファクスを印刷する

受信ファクスを印刷する

メモリー受信したファクスを、受信ファクス一覧から選んで印刷することができます。
メモリー受信したファクスがあるときは、受信ファクス ○ のランプが点滅します。
●印刷した受信ファクスは自動的にメモリーから消えます。

1 記録紙をセットする（☞62ページ）

2 受信ファクス ○ を押す

3 ✥ で印刷したい受信ファクスを選ぶ

4 決定 を押す

●コピー/印刷 を押して、印刷することもできます。

5 印刷方法を選ぶ

○[1件分のみ印刷]：1あ を押す
選択した受信ファクスのみ印刷します。

○[全件一括印刷]：2か を押す
受信ファクスをすべて印刷します。

■印刷中にインクリボンがなくなったときは

受信した内容はメモリーに残っています。印刷中の記録紙を取り出してから、インクリボンを交換（☞24～25ページ）してください。
インクリボンの交換が終わったら、あらためて中断されたページから印刷してください。

受信ファクスを選んで消去する

メモリー受信したファクスを、受信ファクス一覧から選んで消去することができます。
●内容を見てから消去することはできません。

1 受信ファクス ○ を押し、✥ で削除したいファクスを選ぶ

2 消去/キャッチ ○ を2回押す

3 停止 ⊖ を押す

■すべての受信ファクスを消去する

① 消去/キャッチ ○ 4た 2か と順に押す

お知らせ

●印刷中は、子機で電話をかけたり受けたりすることはできません。

コピーする

コピーする

一度に5枚まで原稿をセットしてコピーすることができます。受話器を置いた状態で操作してください。

1 記録紙をセットする（☞62ページ）

2 原稿をセットする
（☞52ページ　手順 **1** ～ **4**）

3 コピー/印刷 を押す

◆画質を選ぶときは 画質/文字 を押します（選ばなかったときは、自動的に [小さな字] でコピー）。
また、コピー中に 画質/文字 を押すと次のページから画質が切り替わります（コピー途中の原稿の画質を変えることはできません）。

◆途中でやめるときは、停止 ⊖ を押します。コピーが中止され、記録紙または原稿が自動的に排出されます。

◆コピーが終了すると、［鳥の声］ でお知らせします。

■セットできる原稿のサイズ（☞55ページ）

■一度に2枚以上セットできない原稿（☞55ページ）

■関連操作

●原稿がつまったときは（☞96～97ページ）
●記録紙がつまったときは（☞98ページ）

コピーの禁止について

本機で原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。

法律で禁止されているもの

- ●紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー（複製）することは禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。（通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）
- ●外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー（複製）もできません。
 （外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律）
- ●未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー（複製）することは禁じられています。（郵便切手類模造等取締法）
- ●政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー（複製）できません。（印紙等模造取締法）

コピー（複製）する場合に注意を要するもの

- ●民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー（複製）する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。
- ●政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

著作権に注意するもの

- ●著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー（複製）を禁止されています。

お知らせ

- ●コピーしても、機械の状態や記録紙の状態により厳密な等倍サイズにはならないことがあります。
- ●コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。

登録した内容を印刷する

親機に登録されている内容のリストを印刷できます。印刷できる内容は、メニュー設定、着信記録、電話帳、お断り番号の４種類です。

登録内容を印刷する

1 記録紙をセットする（☞62ページ）

- ●メニュー設定リストは、最大で6枚印刷されます。途中で記録紙がなくなると最初からの印刷になりますので、メニュー設定リストを印刷するときは、あらかじめ6枚以上の記録紙をセットしておいてください。

2 メニュー 9ら と順に押す

3 メニュー設定を印刷するときは 1あ 、
着信記録を印刷するときは 2か 、
電話帳を印刷するときは 3さ 、
お断り番号を印刷するときは 4た を押す

4 2か を押す

- ●選択した内容が印刷されます。

◆印刷を途中でやめるときは、印刷中に 停止 を押します。

■メニュー設定リストについて

メニュー設定リストは、親機の登録／設定早見表として使えます。記載されている数字を、メニューボタンを押したあとにダイヤルボタンで入力すると、設定画面を表示することができます。

携帯電話へおトクにかける（携帯とくとくダイヤル機能）

設定すると、携帯電話へ電話をかけるときに各電話会社の「事業者識別番号」（0033など）を自動的に付加してダイヤルするので、設定した電話会社の通話料金で通話できます※。
電源を入れたあとに設定していれば（☞18〜19ページ）、そのままお使いください。設定を変えたいときは、下記の手順で設定してください。

ひかり電話（NTT東日本、NTT西日本の光回線電話など）をご利用の場合、携帯とくとくダイヤルはご利用になれませんので、本機では利用しない設定にしてお使いください。

IP電話をご利用の方へ

携帯とくとくダイヤルをご利用になりたいときは、「携帯とくとくダイヤル機能を設定する」の設定をしたあと、「IP電話解除番号を設定する」の設定をしてください。

※ 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者へ詳細をご確認ください。

携帯とくとくダイヤル機能を設定する

事業者識別番号を登録することで、自動的に「事業者識別番号」を付けて発信することができます。

1 メニュー 1あ 6は 1あ と順に押す

2 [NTTコミュニケーションズ] を選ぶときは、1あ を押して手順***5***へ
[その他事業者] を選ぶときは、2か を押して手順***3***へ
[使用しない] を選ぶときは、3さ を押して手順***5***へ

3 ダイヤルボタンで事業者識別番号（最大6ケタ）を入力する
- 「事業者識別番号」とは、他の事業者の回線を通じて電話をかけるときにダイヤルしなければならない番号のことです。

4 決定 を押す

5 停止 を押す

■一時的に携帯とくとくダイヤル機能を使用しないときは

解除番号「0000」を発信の前にダイヤルすると、事業者識別番号は発信されません。

NTT東日本、NTT西日本のサービス提供エリア外から電話をかけたときや、事業者識別番号が正しく入力されていないときは、正しく電話がかからないことがあります。

■IP電話解除番号を設定する

IP電話で携帯とくとくダイヤルをご利用になるには、携帯電話に発信するときだけ、NTTなどの一般回線を使う必要があります。以下の操作で「IP電話解除番号」を登録すると、携帯電話への発信時のみ、自動的に一般回線で発信できます。IP電話をご利用でないときは設定しないでください。

① メニュー 1あ 6は 2か 1あ と順に押す
② ダイヤルボタンでIP電話解除番号（最大6ケタ）を入力する
③ 決定 を押す
④ 停止 を押す

もくじ / ご使用の前に / 電話・電話帳 / 留守番 / ファクス / 印刷・コピー / 便利な機能 / ナンバー・ディスプレイ / こまったときは / ご参考に / さくいん

■携帯番号帯を登録する

発信先が携帯電話であることを判別するための、電話番号の頭4ケタ（携帯番号帯）を登録できます。通常は追加登録や消去をしないでください。あらかじめ、「0801」から「0809」までの9件と、「0901」から「0909」までの9件の、合計18件の番号が登録されています。登録は最大30件です。

登録する：

① メニュー 1あ 6は 3さ と順に押す

② メニュー を押す

③ ダイヤルボタンで番号（4ケタ）を入力する

④ 決定 を押す

⑤ 停止 を押す

消去する：

① メニュー 1あ 6は 3さ と順に押す

② で消去したい番号を選ぶ

③ 消去/ｷｬｯﾁ を2回押す

④ 停止 を押す

■携帯とくとくダイヤル機能の設定内容を表示する

携帯とくとくダイヤル機能の利用設定および、IP電話の利用設定を確認することができます。

① メニュー 1あ 6は 4た と順に押す

② 設定の内容を確認する

③ 確認が終わったら 停止 を押す

お知らせ

- ひかり電話では、電話会社(通信事業者)を指定して電話をかけることができません。そのため、携帯とくとくダイヤルはご利用になれませんので、設定しないでください。
- 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者にお問い合わせください。
- 通話先･通話時間や発信事業者の料金プラン等によっては、一部安くならない場合があります。
- 携帯電話事業者の留守番電話サービスなど、一部ご利用いただけない番号があります。
  こんなときは「0000」をダイヤルしてからご利用ください。
- 本サービスを利用した場合、携帯電話への通話料金は、利用した事業者から請求されます。
- 本サービスは、マイラインの対象になりません。
- 他のサービスと同時には、ご利用になれないことがあります。詳しくは、各通信事業者にお問い合わせください。

1つの電話回線で複数の番号を使う（モデムダイヤルインサービス）

モデムダイヤルインサービスやひかり電話の「追加番号」サービス（マイナンバー）を利用することで、1つの電話回線で2つ以上の電話番号を使うことができます。本機では、電話用として最大5番号、ファクス用として1番号を設定することができます。電話用とファクス用にそれぞれ番号をもったり、親機と子機の番号を別にしたりすることができます。また、番号ごとに着信音を変えることもできます。

ひかり電話をご利用の方は「追加番号」サービス（マイナンバー）をご利用ください。

● 1つの電話回線ですので、ファクス送受信と同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。

このサービスを利用するには、**NTTとのご契約が必要です**

**電話に出てお話しください。
相手と話したあとファクスに切り替えることもできます。
着信音は番号ごとに変えることができます。**

相手がファクス用番号に
ファクスを送ってくると・・・

子機の着信音は
鳴りません

**設定された呼出回数のあと､ファクス受信に切り替わります。
着信音は電話の着信音と鳴り分けすることができます(☞69ページ)。着信音が鳴っている間に受話器を取ると通話もできます。
ファクスに切り替わるまでの呼出回数は変更できます（「ファクス時応答回数を設定する」☞69ページ)。**

■ 設定される番号について

電話用番号とファクス用番号に分ける場合は、必ず最初の電話番号（契約者回線番号）を電話用番号に、ファクス用番号を追加された番号（ダイヤルイン追加番号）に設定することをおすすめします。

電話用番号	最初の番号（契約者回線番号）
ファクス用番号	追加された番号 （ダイヤルイン追加番号）

また、親機と子機で電話番号を分ける場合は、最初の電話番号を親機に、追加された番号を子機に登録することをおすすめします。

親機用番号	最初の番号（契約者回線番号）
子機用番号	追加された番号 （ダイヤルイン追加番号）
2台目以降の 子機番号	どちらでも可

お知らせ

●「ダイヤルインサービス」には対応していません。「モデムダイヤルインサービス」を契約してください。
●他の電話機などとブランチ式（並列）接続すると、正常に動作しなくなりますので、接続しないでください。
●モデムダイヤルイン機能や、ひかり電話の「追加番号」サービス（マイナンバー）を利用する場合は、お申し込みおよび月額使用料、工事費が必要となります。また、本機能を利用する場合、NTTの各種サービスがご利用になれない場合や、一部制約を受けることがあります。接続する機器によっては、本機能を利用できない場合があります（詳しくは、お近くのNTTにお問い合わせください）。
●ホームテレホンや構内交換機（PBX）をお使いの場合は、ご利用になれません。
●他のサービスとの併用については、NTT 窓口へご確認ください。
●ISDN回線のときは、TA（ターミナルアダプター）の設定が必要です。主番号に設定したアナログポートに接続してください。

モデムダイヤルインサービスを利用するには

●[モデムダイヤルインサービスのご利用の手順]
●[ひかり電話「追加番号」サービス（マイナンバー）のご利用の手順]

NTTと契約する（有料）
下記NTT窓口にお申し込みください。

サービス開始の連絡を待つ

本機の設定をする（☞下記）
必ずサービスの開始後に行ってください。

モデムダイヤルインサービス、マイナンバーサービスに関するお問い合わせ、お申し込み先

NTT窓口
TEL：局番なしの
116（通話料金無料）

受付時間
NTT 東日本：9:00 ～ 21:00
NTT 西日本：9:00 ～ 17:00
土・日・祝も受付（年末・年始は除く）

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります（2010.6）。
●ひかり電話「追加番号」サービス（マイナンバー）をご利用のときは、ひかり電話対応アダプター／ルーター側の設定も必要となります。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

■ モデムダイヤルインサービスを設定する

必ずサービスの開始後に行ってください。

① メニュー 2か 6は 3さ と順に押す

② 機能を使用するときは 1あ 、
　使用しないときは 2か を押す

③ 停止 を押す

ダイヤルイン番号を登録する

設定の前に、必ずモデムダイヤルインサービスを使用する設定にしてください（☞左記）。

1 メニュー 2か 6は 1あ **と順に押す**

2 **TEL1～5（電話番号）を選ぶときは 1あ ～ 5な のいずれかを押して手順*3*へ**
ファクス（ファクス専用番号）を選ぶときは 6は を押して手順*5*へ

3 **登録したい親機、または子機の組み合わせを ✥ で選ぶ**

01	親機	07	子機1～4
02	子機1	08	親機、子機1
03	子機2	09	親機、子機2
04	子機3	10	親機、子機3
05	子機4	11	親機、子機4
06	親機、子機1～4		

4 決定 **を押す**

5 **ダイヤルボタンでダイヤルイン番号を入力する（最大20ケタ）**
●ダイヤルイン番号は、市外局番から登録してください。

6 決定 **を押す**

7 停止 **を押す**

■ 設定内容を消去する

① メニュー 2か 6は 2か と順に押す

② 1あ ～ 6は で消去したい番号を選ぶ

③ 2か を押す

④ 停止 を押す

■設定した内容を表示する

① メニュー 2か 6は 6は と順に押す

② （十字キー）で確認する

③ 確認が終わったら 停止 を押す

■ファクス時応答回数を設定する

追加された番号にかかってきたとき、ファクスに切り替わるまでの呼出回数を設定します。
必ずモデムダイヤルインサービスを使用する設定にしてください（☞68ページ）。

① メニュー 2か 6は 4た と順に押す

② 0わ記号 、2か ～ 6は で回数を入力する

③ 決定 を押す

④ 停止 を押す

親機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

モデムダイヤルインサービスの番号登録で登録した番号に、それぞれの番号専用の着信音を設定します。
なお、「誰からコール」とは併用はできません。誰からコールを使用しない設定にしてお使いください（☞79ページ）。

1 メニュー 2か 6は 5な **と順に押す**

2 **TEL2～5を選ぶときは** 1あ ～ 4た **を、ファクスを選ぶときは** 5な **を押す**

●[TEL1] に登録した番号の着信音は、親機に設定されている音です。変更したい場合は、親機の着信音を変更してください（☞29ページ）。

3 1あ ～ 9ら **を押して選ぶ**

●設定できる着信音は、電話がかかってきたときに鳴る着信音と同じです。
●鳴り分けをやめるときは、0わ記号 を押してください。

4 停止 **を押す**

■ダイヤルイン機能を設定したときは

着信時にどの電話番号（TEL1～5）に着信しているのかが表示されます。ただし、[ファクス] にかかってきたときや、「デカ文字着信」（☞106ページ）を使用する設定にしているときは表示されません。

子機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

ダイヤルイン鳴り分けは親機、子機それぞれ別に設定できます。子機では、[TEL2～5] の番号専用の着信音を設定することができます。
なお、「誰からコール」とは併用できません。誰からコールを使用しない設定にしてお使いください。（☞79ページ）

1 メニュー/決定 **を押し、** **で [着信鳴り分け] を選ぶ**

2 メニュー/決定 **を押し、** **で [ダイヤルイン] を選ぶ**

3 メニュー/決定 **を押し、**（十字キー）**で [TEL2鳴り分け] ～ [TEL5鳴り分け] から着信音を設定したい登録先を選ぶ**

●[TEL1] に登録した番号の着信音は、子機に設定されている音です。変更したい場合は、子機の着信音を変更してください（☞29ページ）。

4 メニュー/決定 **を押し、**（十字キー）**で着信音を選ぶ**

●設定できる着信音は、電話がかかってきたときに鳴る着信音と同じです。
●鳴り分けを解除するときは、（十字キー）で [解除] を選んでください（「ピピッ」と鳴ります）。

5 メニュー/決定 **を押す**

お知らせ

●ダイヤルイン番号に電話がかかってくると、その番号を設定した親機または子機以外では電話に出ることはできません（電話をとりつぐと通話できます）。
●ダイヤルインサービスを利用しているときにファクス専用の番号を設定したいときは、受信モードの「ファクス専用」ではなく、ダイヤルインの「ファクス」を設定することをおすすめします。
●ナンバー・ディスプレイの着信鳴り分け（☞82ページ）を設定したときは、そちらが優先されます。ただし、ファクス専用番号の着信音はダイヤルイン鳴り分けが優先されます。
●子機のダイヤルイン番号へ着信したときに内線通話をしていると、内線通話中の親機と子機の着信音が鳴ります。内線通話を終了すると、着信した子機の着信音が鳴ります。
●TEL1～5に着信させる子機を設定するときは、付属の子機または増設登録している子機を設定してください。増設登録していない子機を設定しても、着信音は鳴りません。
●親機でコピーや印刷をしているときは、子機のダイヤルイン番号に着信しても親機の着信音が鳴ります。コピーや印刷が終了すると、子機からも着信音が鳴ります。

着信音や動作音を鳴らさないようにする（おやすみモード）

おやすみ中などに、着信音や動作音を鳴らさないように設定できます（おやすみモード）。特定の時間帯におやすみモードになるようにタイマー設定することもできます。設定中はディスプレイに [おやすみ] と表示されます。
また、おやすみモード中は、着信させる番号を設定できる「選んで着信」が使えます。お子様のお留守番中はご家族の携帯電話からのみ着信させるといった使い方ができます。**選んで着信のご利用にはナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。**

おやすみモードに設定すると：
●着信音が鳴りません（内線は除く）。
●「選んで着信」に登録した番号以外からの着信に留守応答します。
●キータッチ音、ファクス・コピーの終了音が鳴りません。
●メモリー受信の場合、「選んで着信」に登録した番号以外から受信したファクスは印刷されません。記録紙受信では、おやすみモードのときも受信したファクスを自動で印刷します。

手動でおやすみモードを設定／解除する

1 **設定するときは、待受画面で ＊ を「ピー」と鳴るまで3秒以上押し続ける**

解除するときは、設定中に ＊ を「ピー」と鳴るまで3秒以上押し続ける

●メッセージが表示され、おやすみモードが設定／解除されます。
●解除してもタイマー設定は消えません。

特定の時間に自動でおやすみモードに設定する

毎日、特定の時間だけおやすみモードが働くように設定できます。日付や曜日の指定はできません。

1 **メニュー 2 3 1 3 と順に押す**

2 **ダイヤルボタンで開始時間を入力する（24時間制）**

3 **ダイヤルボタンで終了時間を入力する（24時間制）**

●開始時間と終了時間を同じ時間に設定すると、常におやすみモードになります。

4 **決定 を押す**

■おやすみモードの設定内容を確認する

① メニュー 2 3 3 と順に押す

② 確認が終わったら 停止 を押す

■おやすみモード中にファクスを受信したときは

ファクスの受信モードをメモリー受信に設定しているときは、おやすみモードを解除したときに、印刷が開始されます。記録紙がない場合はエラー音が鳴ります。

■おやすみモード中にメッセージを録音したときは

留守 が点滅します。メッセージを再生するときは 再生 を押してください。

着信させる番号を登録する（選んで着信）

ナンバー･ディスプレイのご契約が必要です。
番号を登録しておくと、おやすみモード中でも登録した番号からの電話／ファクスに着信音を鳴らすことができます。登録できる番号は、最大30件です。

1 **メニュー 2 3 2 と順に押す**

2 **メニュー を押す**

3 **電話帳から登録するときは、電話帳 を押して ✣ で選ぶ**

番号を入力して登録するときは、ダイヤルボタンで番号を入力する

●電話帳に21ケタ以上で登録されている番号は登録できません。
●番号は市外局番から登録してください。

4 **決定 を押す**

5 **停止 を押す**

■登録した番号を消去する

1件ずつ消去：

① メニュー 2 3 2 と順に押す

② ✣ で消去したい番号を選ぶ

③ 消去/キャッチ を2回押す

④ 停止 を押す

すべて消去：

① 消去/キャッチ 6 2 と順に押す

お知らせ

- 日付・時刻を設定していないとおやすみモードは使用できません。
- お断りが設定されているときは、お断り設定が優先されます。
- 選んで着信番号に登録していない番号からの着信でも、着信中に電話に出ると通話できます。

子機を増やす

- 増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて最大4台までです。
- 増設できる子機については 109 ページをご覧ください。JD-KS28は、機能的には付属の子機と同等です。109ページに記載されていない子機は増設できませんのでご注意ください（2010年6月現在）。

子機を増設する

別売の増設子機は、下記の操作で増設してください（下記の操作はKS-28での操作です）。

- 増設子機を親機のそばに用意してから操作してください。
- 操作の前に、増設子機を十分に充電してください。

1 子機背面の充電池ふたと充電池を取り外す

2 再び充電池を入れて、充電池ふたを取り付ける

3 増設の確認メッセージが表示されたら、

を押す

- 続けて親機を操作します。操作は2分以内に完了してください。

＜次の操作は親機で行います＞

4 [子機を増設します] と表示されるまで 内線/保留 を押し続ける（約３秒）

- メッセージが表示されたらボタンを離してください。「ピー」と鳴ったら増設は完了です。
- 「ピピピピ」と鳴ったときは、増設できていません。もう一度はじめから操作してください。

■子機を減設する（増設を取り消す）

＜親機で操作します＞

以下の操作で、すべての子機の増設登録が取り消されます。個別に減設したいときは、増設子機に付属の「子機増設登録操作説明書」をご覧ください。

① [子機を増設します] と表示されるまで 内線/消去 保留 を押し続ける（約3秒）

② 表示されたら、3秒以内に、[「内線」で子機を消去] と表示されるまで 0わ を押し続ける（約5秒）

③ 表示されたら、内線/消去 保留 を押す

「ピー」と鳴って増設登録が取り消されます。

不在時の着信をお知らせする（着信通知）

留守中などに着信した電話の記録を確認できます。

親機で不在時の着信を確認する

1 ディスプレイに[着信がありました [着信記録] を押す] と表示されていたら ▶ を押す

- 着信記録が表示されます。[着信がありました [着信記録]を押す] の表示は消えます。
- 停止 を押すと、[着信がありました [着信記録] を押す] の表示を消すことができます。

2 ▲▼ で着信記録を確認する

3 確認が終わったら 停止 を押す

■着信通知を表示しないようにする

① メニュー を押し、#を４回続けて押す

② 4た 5な 2か と順に押す

③ 停止 を押す

■アイコンについて

表示されるアイコンは3種類です。

不在 ：出られなかった電話やファクス

ファクス専用 ：ファクス専用（☞104ページ）に設定しているときの電話やファクス

（お断りアイコン） ：お断り設定（☞83 ページ）している相手の方からの電話やファクス

伝言を録音する（メモ録音）

ご家族への伝言などを、メモ代わりに録音することができます。

1 受話器を取る

2 留守 を押す

●録音が開始されます。

3 録音が終わったら 停止 を押す

4 受話器を戻す

●メモ録音すると、留守 が点滅します。

●日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

■メモ録音を再生する（☞48～49ページ）

■メモ録音中に電話がかかってくると

録音は自動的に止まります。一度受話器を戻してから受話器を取って通話します。

お知らせ

●メモ録音をしているときは、子機で電話をかけたり、内線通話をしたりすることはできません。

●すべての録音を合わせて、最大約15分または最大30件まで録音できます。1件あたりの録音時間に制限はありませんが、1件の録音時間が長いと、録音できる件数が減ることがあります。

通話内容を録音する（今から録音）

通話の内容を録音できます。通話内容のメモの代わりに使ったり、迷惑電話の内容を録音して相手に聞かせたりすることができます。

親機で「今から録音」する

1 通話中に 留守 を押す

●録音が開始されます。

2 録音が終わったら 停止 を押す

（録音時間を過ぎると、自動的に終了します）

●日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

3 通話中に再生するときは 再生 を押す

●「今から録音」で録音した内容が再生されます（ほかに未再生録音があるときは、そちらが先に再生されます）。再生をやめるときは 停止 を押します。

子機で「今から録音」する

1 通話中に メニュー/決定 を押す

●キータッチ音を鳴らす設定にしていても、録音の操作音は鳴らないため、相手には録音を始めたことが分かりません。

2 （十字キー）で［今から録音］を選ぶ

3 メニュー/決定 を押す

●録音が始まります。

4 録音が終わったら メニュー/決定 を押す

●日時と件数が自動的に録音されます。

5 通話中に再生するときは、メニュー/決定 を押し、（十字キー）で［録音再生］を選ぶ

6 メニュー/決定 を押す

●「今から録音」で録音した内容が再生されます（ほかに未再生録音があるときは、そちらが先に再生されます）。再生をやめるときは （切） を押します。

お知らせ

●内線通話は録音できません。

●通話中に「戻って録音」をしたとき、同じ通話で「今から録音」はできません。

●すべての録音を合わせて、最大約15分または最大30件まで録音できます。1件あたりの録音時間に制限はありませんが、1件の録音時間が長いと、録音できる件数が減ることがあります。

通話内容をさかのぼって録音する（戻って録音）

通話内容を最大約15分前までさかのぼって録音できます。しつこいセールスなどの迷惑電話に対して、録音した内容をそのまま相手に聞かせて撃退する、といった使いかたもできます。

親機で「戻って録音」をする

1 通話中に 迷惑電話 1あ と順に押す

●通話内容がさかのぼって録音されます。

●キータッチ音を鳴らす設定にしていても、録音の操作音は鳴らないため、相手には録音を始めたことがわかりません。

2 通話中に再生するときは 再生 を押す

●「戻って録音」で録音した内容が再生されます。再生をやめるときは 停止 を押します。

子機で「戻って録音」をする

1 **通話中に メニュー/決定 を押す**

●キータッチ音を鳴らす設定にしていても、録音の操作音は鳴らないため、相手には録音を始めたことが分かりません。

2 **で［戻って録音］を選ぶ**

3 **メニュー/決定 を押す**

●通話していた内容が保存されます。

4 **通話中に再生するときは メニュー/決定 を押し、で［録音再生］を選ぶ**

5 **メニュー/決定 を押す**

●「戻って録音」した内容が再生されます。

●再生をやめるときは を押します。

■通話終了後に「戻って録音」を再生する

留守録音などと合わせて再生できます（☞48～49ページ）。

■「戻って録音」の仕組み

通話が始まると、本機はその内容を一時的に録音します。「戻って録音」は、この一時的に録音されている内容を読み出し、録音データとして保存する機能です。

「戻って録音」をしなければ、一時的に録音された内容は通話終了時に消去されます。

■通話内容を相手に聞かせて、自動的にお断りする

「録音でお断り」をお使いください（☞34ページ）。ただし、録音時間は15秒前からになります。また、通話内容は録音されません。

■「戻って録音」の録音時間を変更する

① メニュー を押し、#🔒 を４回続けて押す

② 1あ 5な と順に押す

③ 1分にするときは 1あ 、3分にするときは 2か 、15分にするときは 3さ を押す

④ 停止 を押す

お知らせ

●通話中に「今から録音」をしたとき、同じ通話で「戻って録音」はできません。

●内線通話（☞35ページ）やオンフック（☞32ページ）を使用しているときは、通話内容を録音することができません。

●「戻って録音」をすると、一度でメモリーがいっぱいになることがあります。

親機をもっと便利に使う

キーロック

親機のボタンを効かないようにして、電話を受ける以外の操作をできないようにすることができます。お手入れ中の誤操作などを防止できます。

① 設定するときは、待受画面で #🔒 を「ピー」と鳴るまで３秒以上押し続ける

解除するときは、設定中に #🔒 を「ピー」と鳴るまで３秒以上押し続ける

● キーロックは親機と子機で個別に設定します。親機のキーロックを設定しても、子機の操作はロックできません。

ダイヤルライト

親機のダイヤルライトを点灯させる設定ができます。はじめは点灯させる設定になっています。

① メニュー を押し、#🔒 を４回続けて押す

② 7ま を押す

③ 点灯させるときは 1あ 、点灯させないときは 2か を押す

④ 停止 を押す

デカ文字着信

電話を受けるときに、ディスプレイの文字を大きくすることができます。発信時に表示する番号や名前も大きく表示されます。

はじめは使用する設定になっています。

① メニュー を押し、#🔒 を４回続けて押す

② 4た 6は と順に押す

③ 使用するときは 1あ 、使用しないときは 2か を押す

④ 停止 を押す

液晶濃度調整

液晶ディスプレイの表示濃度を7段階で調整できます。はじめは4段階目に設定されています。

① メニュー 1あ 5な と順に押す

② で濃度を調整する

③ 決定 を押す

④ 停止 を押す

子機をもっと便利に使う

子機を使いやすく設定できる機能項目です。システム設定メニュー（待受画面で メニュー/決定 → で［システム設定］→ メニュー/決定 ）から設定できます。

キータッチ音出力

子機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチ音）の有無を設定できます。

設定項目：［解除］または［設定］
はじめの設定：［設定］

クイック通話

子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けられる機能の設定ができます。

設定項目：［解除］または［設定］
はじめの設定：［解除］

液晶濃度調整

液晶画面の表示の濃度を16段階で調整できます。

設定項目：16段階の濃度（ **で調整）**
はじめの設定：9段階目

ダイヤルライト点灯

子機を充電器から取ったときなどの、ダイヤルライト点灯の有無を設定できます。

設定項目：［解除］または［設定］
はじめの設定：［設定］

電波サポート

子機の電波状況が悪くて雑音が入るときに設定すると改善される場合があります。ただし、連続通話時間が変わります（［自動］：最大約４～６時間、［解除］：最大約６時間、［設定］：最大約４時間）。

設定項目：［自動］［解除］［設定］
工場出荷時の設定：［自動］（電波状況が悪いとき、自動的に電波サポートを行います）

以下の「キーロック」は待受画面で操作してください。

キーロック

子機のボタンを効かないようにして、電話を受ける以外の操作をできないようにすることができます。お手入れ中の誤操作などを防止できます。

① 設定するときは、待受画面で # を３秒以上押し続ける

解除するときは、設定中に # を３秒以上押し続ける

● キーロックは子機と親機で個別に設定します。子機のキーロックを設定しても、親機の操作はロックできません。

キャッチホン／キャッチホン・ディスプレイ

キャッチホン（通話中着信サービス）は、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話に出ることができる NTT のサービスです。
キャッチホン・ディスプレイは、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができるNTTのサービスです。
ご利用には**NTTとの契約（有料）**が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

キャッチホンを利用する

1 **通話中に着信音が聞こえたら、親機では 消去/キャッチ 、子機では 文字切替（キャッチ） を押す**

2 **もとの通話に戻るときは、もう一度 消去/キャッチ または 文字切替（キャッチ） を押す**

■キャッチホンを利用すると電話が切れる／切り替わらないときは

キャッチホンの切替時間を変えることができます（「キャッチホン切替時間」☞106ページ）。

■キャッチホン･ディスプレイの設定をする

ご利用にはNTTとの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。
「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用のときは、必ず使用する設定にしてください。設定を変更しないと電話を受けられないことがあります（はじめは、使用しない設定になっています）。
また、ナンバー・ディスプレイを使用する設定にしてください（☞76ページ）。

① メニュー を押し、 # を４回続けて押す

② 4た 2か 1あ と順に押す

③ 使用するときは 1あ 、使用しないときは 2か を押す

④ 停止 を押す

お知らせ

- キャッチホンを受けるときは、キャッチボタンを押してください。フックスイッチを押すと、キャッチボタンや保留ボタンが使えなくなることがあります。
- ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
- 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れません。
- 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると、電話が切れてもとの通話には戻れません。
- キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- 「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の場合、キャッチホンでの通話中は、迷惑電話拒否機能（☞34ページ）は働きません。
- キャッチホン・ディスプレイの表示の内容はナンバー・ディスプレイと同じですので、ナンバー・ディスプレイの表示例（☞76ページ）をご覧ください。

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号を表示するサービスです。ご利用には、NTTとのご契約が必要です（有料）。
ナンバー・ディスプレイサービスを使うことで、本機の「誰からコール」や「着信鳴り分け」などの機能を使用できます。

■表示のしかた

電話帳に登録していない相手先から	番号を表示。
電話帳に登録している相手先から（親機と子機で個別に登録が必要）	登録した名前を表示（親機は番号も表示）。
番号非通知の相手先から	[非通知] と表示。
公衆電話から	[公衆電話] と表示。
表示圏外※から	[表示圏外] と表示。
情報が受信できないとき	[外線着信] と表示。

※番号通知ができない地域や回線（国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP電話など）

ナンバー・ディスプレイを利用する

<NTTをご利用の場合>

NTTと契約する（有料）
下記NTT窓口にお申し込みください。

本機の設定は必要ありません
はじめは使用する設定になっています。

NTTの工事終了後にサービスが利用できます
工事日数については、下記NTT窓口にお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイサービス、キャッチホン・ディスプレイサービスに関するお問い合わせ、お申し込み先

NTT窓口
TEL：局番なしの
116（通話料金無料）
受付時間
NTT東日本：9:00～21:00
NTT西日本：9:00～17:00
土・日・祝も受付（年末・年始は除く）

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります（2010年6月現在）。

<NTT以外の電話会社をご利用の場合>

NTTのナンバー・ディスプレイ相当サービスの有無を各ご契約の電話会社にお問い合わせのうえ、お申し込みください。

■ナンバー・ディスプレイの設定をする

はじめは、ナンバー・ディスプレイを使用する設定になっています。
ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイをご利用のときは使用する設定にします。構内交換機（PBX）に接続している場合など、内線電話としてお使いのときは使用しない設定にします。

① メニュー を押し、# を４回続けて押す
② 4た 1あ と順に押す
③ 使用するときは 1あ 、使用しないときは 2か を押す
④ 停止 を押す

■市外局番について

「090」「080」からの電話は、携帯電話からです。
「070」からの電話は、PHSからです。
「050」からの電話は、IP電話からです。

お知らせ

●構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定にしてください。
●ISDN回線でお使いになるときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプター（TA）をお使いください。
●ナンバー・ディスプレイは、NTT の他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTへお問い合わせください。
●ISDN 回線のターミナルアダプターのアナログポート・構内交換機（PBX）や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。このときは使用しない設定にしてください。

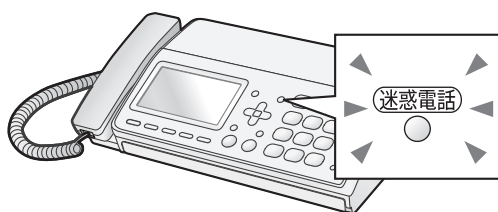
ナンバー・ディスプレイを活用する

本機では、ナンバー･ディスプレイサービスを使って、以下の機能を使用できます。

名前の表示	電話帳に登録した名前を表示できます。
着信記録	相手の番号が記録されます(☞81ページ)。
着信鳴り分け	着信の種類によって着信音を変えられます（☞82ページ)。
あんしんLED	着信の種類によって、点灯／点滅する迷惑電話ボタンのランプの色を変えられます（☞右記)。
迷惑電話お断り	特定の番号からの電話や、非通知の電話などを受けないように設定できます（☞83ページ)。
着信前お断り	着信相手を画面で確認して、電話に出ないで留守番メッセージを流したり、お断りすることができます(☞78ページ)。
選んで着信	登録した番号からの電話だけ受けるように設定できます（☞70ページ)。
誰からコール	相手先の情報を音声でお知らせできます（☞79ページ)。
その他のサービス	キャッチホン･ディスプレイ(☞75ページ）やネーム･ディスプレイ(☞84ページ) のサービスを受けることができます。 別途契約が必要です（有料)。

着信時に点灯／点滅するランプについて（あんしんLED）

電話がかかってきたとき、相手の電話の種類に合わせて 迷惑電話 のランプが色分けされて点灯／点滅します。
ディスプレイを見なくても、電話の種類が分かるので便利です。

（例）着信時

色分けされるランプは、以下の通りです。

相手の方の電話の種類	ランプ
非通知／公衆電話／表示圏外からの電話	**赤色に点滅**
親機の電話帳に登録されていない電話番号	**黄色に点滅**
親機の電話帳に登録されている電話番号	**緑色に点灯**
ナンバー･ディスプレイを使用しない場合のすべての着信	**緑色に点灯**

迷惑電話ボタンのランプの点灯／点滅を設定する

はじめは 迷惑電話 ボタンのランプを点灯／点滅する設定になっています。

1 メニュー 5な 6は **と順に押す**

2 **使用するときは** 1あ **、使用しないときは** 2か **を押す**

3 停止 **を押す**

お知らせ

- キャッチホンや内線通話からの着信では、あんしんLEDは点灯／点滅しません。
- あんしん LED を使用する設定にしていると、受信ファクスがある場合でも、着信中は受信ファクスボタンが点滅しません。

もくじ ご使用の前に 電話・電話帳 留守番 ファクス 印刷･コピー 便利な機能 ナンバー･ディスプレイ こまったときは ご参考に さくいん

電話に出る前にお断り（着信前お断り）

電話がかかってきたときに、ディスプレイに表示される電話の種類を確認して、電話に出ないでお断りすることができます。
着信前お断りは、親機でのみ行うことができます。

着信前にお断りする

1 **電話がかかってきたら、迷惑電話 を押す**

1:ﾒｯｾｰｼﾞ でお断り
2:留守応答

2 **メッセージでお断りするときは、1あ を押して手順3へ**

留守番電話に切り換えるときは、2か を押す

留守番電話に切り換わります。
発信されるメッセージは、留守番電話で設定しているものと同じです（☞49～50ページ）。

●留守番電話に切り換えても、相手の番号は自動的にお断り番号（☞83ページ）に登録されません。
●電話に出るときは、そのまま受話器を取ります。
●停止 を押すと、着信画面に戻ります。

3 **以下の画面が表示されたら 2か を押す**

お断りメッセージ（「この電話はお受けすることはできません」）を3回流します。メッセージのあとは、自動的に電話を切ります。

1:しない
2:する

●お断りメッセージを流すと、電話が切れたあと、相手の番号を自動的にお断り番号（☞83ページ）に登録します。非通知・公衆電話・表示圏外からの電話のときは、電話を切ってから約2時間、その電話に対応したお断りを設定します。ただし、ナンバー・ディスプレイを使用しないときは、自動でお断り登録されません。
●電話に出るときは、そのまま受話器を取ります。
●1あ を押すと、着信画面に戻ります。

■間違えて操作したときは

メッセージ再生中：
受話器を取り上げてください。電話に出ることができます。また、子機で を押して電話に出ることもできます。

相手先の番号がお断り番号に登録されたとき：
登録されたお断り番号を消去してください（☞83ページ）。
番号がわからないときは、お断り番号リストを印刷（☞64ページ）して確認してください。

非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されたとき：
非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を「なし」に設定し直してください（☞83ページ）。

お知らせ

●キャッチホンでかかってきた通話では、着信前お断りは使用できません。
●留守番電話やファクスの自動受信を設定しているときに着信前お断り画面を表示すると、設定した着信音回数を超えても自動で着信または受信されません。着信画面に戻すと、自動で着信または受信が始まります。

着信を音声でお知らせする（誰からコール）

誰からコール／誰あてコール／どこからコールについて

電話がかかってきたとき、「誰からの電話か」「誰あての電話か」「どこからかかってきているのか」などの情報を、親機と子機の音声でお知らせします（親機の電話帳に登録された情報を使用します）。

はじめは、これらの音声お知らせを使用する設定になっています。使用しない設定にするときは、「誰からコールの設定をする」（☞右記）、「どこからコールの設定をする」（☞80ページ）、をご覧ください。

誰からコール／誰あてコールの発声：
「お姉さんあてに○○さんからです」など

●「お姉さん」の部分には、電話帳登録時の誰あてコール設定で選択した名前が入ります。「○○さん」は電話帳に登録した相手先の名前です。
●電話帳に登録された読みに発声できない文字があるときは、「お姉さんあてにお電話です」のように発声します。

どこからコールの発声：
「（都道府県名）からです」「携帯電話からです」「PHSからです」のいずれか

●電話帳に登録されている相手先の場合は、誰からコール／誰あてコールが優先されます。

その他の発声：
番号非通知の相手先から：「非通知です」
公衆電話から：「公衆です」
表示圏外から：「圏外です」

誰からコールの設定をする

はじめは誰からコールを使用する設定になっています。

1 メニュー 2か 4た 1あ と順に押す

2 使用するときは 1あ を押して手順3へ
使用しないときは 2か を押して手順4へ

●誰からコールを解除すると、誰あてコール、どこからコールも解除されます。どこからコールのみ解除したいときは、80ページをご覧ください。

3 着信鳴り分けを設定しているときは、誰からコールと併用できないため、確認画面が表示されます。画面が表示されないときは手順 4 へ進んでください。
着信鳴り分けを解除するときは 決定 を押す

●着信鳴り分けをそのまま使用するときは 停止 を押します。

4 停止 を押す

■誰あてコールでお知らせする名前を登録する

誰あてコールでお知らせする名前を9つまで登録できます。はじめは1～6が登録されています。7～9に追加で登録できます。

はじめに登録されている名前：
1オトウサン　2オカアサン　3オニイサン
4オネエサン　5オジイサン　6オバアサン
7～9未登録

① メニュー 2か 4た 2か と順に押す
② ✥ で登録先を選ぶ
登録済みの項目を選ぶと名前を修正できます。
③ 決定 を押す
④ ダイヤルボタンで名前を入力する（最大半角20文字）
⑤ 決定 を押す
⑥ 停止 を押す

●登録済みの名前を修正すると、その名前で誰あてコールを登録しているすべての電話帳の発声が変更されます。

■誰あてコールでお知らせする名前のアクセントを変更する

① メニュー 2か 4た 2か と順に押す

② (十字キー) でアクセントを変えたい名前を選ぶ

③ 再生 を押す

④ 名前の読み上げから3分以内に 1あ ～ 9ら 、0わ記号 で調整する

1あ ～ 8や は、それぞれ左から数えて１～８番目の文字にアクセントを付けます。9ら はアクセントを自動設定し、0わ記号 は平坦なアクセントに設定します。

⑤ 停止 を押す

■誰あてコールの設定をする

誰あてコールを使用するときは、誰からコールを使用する設定にしたうえで、電話帳の登録または修正時に、誰あての着信かを選んでください（☞37ページ）。

誰あてコールを使用しないときは、誰あての着信かを選ぶときに［特定しない］に設定してください。設定済みの誰あてコールを、一括ですべて発声しないようにすることはできません。

■どこからコールの設定をする

どこからコールを使用する／使用しないの設定ができます。はじめは使用する設定になっています。

また、どこからコールを使用するときは、誰からコールを使用する設定にしておいてください（☞79ページ）。

① メニュー を押し、#🔒 を４回続けて押す

② 4た 4た 1あ と順に押す

③ 使用するときは 1あ 、使用しないときは 2か を押す

④ 停止 を押す

■どこからコールで発声する地名や発声のしかたを市外局番ごとに変更する（地域番号帯登録）

どこからコールで発声する地名を、市外局番ごとに変更することができます。市外局番と地名が合っていないときなどに変更してください。また、発声しない設定にしたり、「携帯電話」や「PHS」と発声させることもできます。登録できる番号は、最大30件です。

① メニュー を押し、#🔒 を４回続けて押す

② 4た 4た 2か と順に押す

③ メニュー を押す

④ 発声のしかたを変更したい市外局番をダイヤルボタンで入力する

⑤ 決定 を押す

⑥ (十字キー) で発声のしかたを下から選ぶ

［00：発声しない］［1～47：47都道府県名］
［48：携帯電話］［49：PHS］

⑦ 決定 を押す

⑧ 停止 を押す

●地域番号帯を消去したいときは、手順②のあと (十字キー) で消去したい番号帯を選び、消去/キャッチ を２回押します。修正したいときは、いったん消去してからあらためて登録します。

お知らせ

●誰からコールと誰あてコールでは、電話帳の「読み」にアルファベット、数字、記号を使っていると、途中までしか発声しないことがあります。
●誰からコール、誰あてコール、どこからコールを使用しているときは、着信音の種類を変更していても、固有の着信音で鳴ります。
●誰からコール、誰あてコール、どこからコールは、着信鳴り分けおよびダイヤルイン鳴り分けとは併用できません。
●内線通話中やコピー中の着信、キャッチホンの着信では、誰からコール、誰あてコール、どこからコールは働きません。
●コピー中は誰からコール、誰あてコール、どこからコールは働きません（通常の着信音が鳴ります）。コピーが終了すると、誰からコールが働きます。
●ファクス優先の設定中は、誰からコール、誰あてコール、どこからコールは働きません。
●どこからコールで地域番号帯を登録すると、指定した市外局番から始まる電話番号からの電話は都道府県名を発声しない設定にすることもできますので、自宅の市外局番等を登録しておけば、近所の方からの電話は都道府県名を発声しなくなります。

着信記録（着信履歴）を使う

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です
着信記録を使うと、電話をかけてきた相手先の番号や電話帳に登録した名前を確認できます。また、着信記録を使って電話をかけたり、ファクスを送ることができます。

親機で着信記録を使って電話をかける

保存できる着信記録は、最大20件までです。

1 を押す

2 で電話をかけたい番号を選ぶ

●番号は20ケタまで記録されています。

3 受話器を取る

4 通話が終わったら受話器を戻す

■親機で着信記録を使ってファクスを送る

① 原稿をセットする（☞52ページ 手順1～4）
② を押し、で番号を選ぶ
③ ファクススタート を押す（ファクスを送信します）

相手の方とお話ししてから送るときは
① 上記の手順①～② の操作をする
② 受話器を取ってファクスを送信することを伝え、受信操作をしてもらう
③「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたら、ファクススタート を押す
④ 受話器を戻す

●「通信エラーがありました」と聞こえたら（☞99 ページ）
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります（おまかせ送信）。

■親機の着信記録を消去する

1件ずつ消去：
① を押す
② で消去したい番号を選ぶ
③ 消去/キャッチ を2回押す
④ 停止 を押す

すべて消去：
① 消去/キャッチ 3さ 2か と順に押す

■親機の着信記録を電話帳に登録する

（☞37ページ）

子機で着信記録を使って電話をかける

保存できる着信記録は、最大20件までです。

1 子機を充電器から取る

2 を押し、で番号を選ぶ

●番号は20ケタまで記録されています。

3 を押す

4 通話が終わったら 切 を押す

5 充電器に戻す

■子機で着信記録に184(非通知)や186（通知）を付けて電話をかける

184や186などの番号を、着信記録の前に入れてダイヤルします。

① を押し、で番号を選ぶ
② メニュー/決定 を押し、で [特番ダイヤル] を選ぶ
③ メニュー/決定 を押し、184や186などの番号を入力（最大8ケタ）して を押す
④ 通話が終わったら 切 を押す
⑤ 充電器に戻す

■子機で着信記録を使ってファクスを送る

① 親機に原稿をセットする（☞52ページ 手順1～4）
② を押し、で番号を選ぶ
③ を押す
④ 相手の方が電話に出たら、ファクスを送信することを伝え、ファクスを受信する操作をしてもらう
⑤「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたら、メニュー/決定 を押し、で [FAX送信] を選択する
⑥ メニュー/決定 を押す
⑦ 子機を充電器に戻す

●上記の手順④で「ファクスを送信してください」という留守番メッセージや、相手の方が電話に出ないで「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたときも、続けて手順⑤～⑦の操作をしてください。
送信を中止するときは、親機の 停止 を押します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります（おまかせ送信）。

■ 子機の着信記録を消去する

1件ずつ消去：

① （十字キー）を押し、（十字キー）で消去したい番号を選ぶ

② メニュー/決定 を押し、（十字キー）で［1件消去］を選ぶ

③ メニュー/決定 を2回押す

すべて消去：

① メニュー/決定 を押し、で［全消去］を選ぶ

② メニュー/決定 を押し、（十字キー）で［着信記録］を選ぶ

③ メニュー/決定 を2回押す

■ 子機の着信記録を電話帳に登録する
（☞38ページ）

お知らせ

- 着信記録は親機と子機、別々に記録しています。
- 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
- 親機では、お断りに設定している相手からの電話でも、着信記録が表示されます。子機では表示されません。
- 親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。
- ダイヤルインサービスで子機専用の番号を設定した場合、着信音が鳴るのは子機のみですが、着信記録は親機にも残ります。

着信鳴り分けを使う

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話がかかってきたとき、着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。鳴り分けができる着信は、「電話帳に登録されている相手先からの電話」、「非通知の電話」、「公衆電話からの電話」、「表示圏外からの電話」の４種類です。

はじめは、親機・子機とも設定されていません。

親機の鳴り分けを設定する

1 メニュー 2か 5な と順に押す

2 電話帳の鳴り分けは 1あ 、
非通知の鳴り分けは 2か 、
公衆電話の鳴り分けは 3さ、
表示圏外の鳴り分けは 4た を押す

3 1あ ～ 9ら で着信音を選ぶ

- 設定できる着信音の種類は、通常の着信音と同じです（☞29ページ）。
- 着信鳴り分けを解除するときは 0わ記号 を押してください。

4 誰からコールを設定しているときは、着信鳴り分けと併用できないため、確認画面が表示されます。画面が表示されないときは手順 ***5*** へ進んでください。

誰からコールを解除するときは 決定 を押す

- 誰からコールをそのまま使用するときは 停止 を押します。

5 停止 を押す

子機の鳴り分けを設定する

親機で「誰からコール」（☞79ページ）を設定しているときは、着信鳴り分けは働きません。使用するときは、親機の操作で誰からコールを使用しないように設定してください。

1 メニュー/決定 を押し、（十字キー）で［着信鳴り分け］を選ぶ

2 メニュー/決定 を押し、（十字キー）で［電話帳 ワンタッチ］［非通知］［公衆電話］［表示圏外］のいずれかを選ぶ

- ［ダイヤルイン］については、69ページをご覧ください。

3 メニュー/決定 を押し、（十字キー）で着信音を選ぶ

- 設定できる着信音の種類は、通常の着信音と同じです（☞29ページ）。
- 着信鳴り分けを解除するときは［解除］を選んでください（「ピピッ」と鳴ります）。

4 メニュー/決定 を押す

お知らせ

- かかってくる相手の方ごとに着信音を変えることはできません。
- ダイヤルイン鳴り分け（☞69ページ）と同時に設定した場合、電話帳鳴り分け、非通知鳴り分け、公衆電話鳴り分け、表示圏外鳴り分けが優先されます。ただし、ファクス専用番号の着信音はダイヤルイン鳴り分けが優先されます。

特定の種類・特定の番号の着信をお断りする

非通知／公衆電話／表示圏外お断り

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

非通知の電話、公衆電話からの電話、表示圏外からの電話に対して、着信音を鳴らさずにお断りのメッセージを流すことができます。
はじめは設定されていません。

1 メニュー 5な と順に押す

2 非通知のお断りは 1あ 、
公衆電話のお断りは 2か、
表示圏外のお断りは 3さ を押す

3 2か を押す

- お断りを解除するときは 1あ を押してください。
- 非通知お断りに設定すると、非通知の電話に「この電話は、お受けすることはできません。恐れ入りますが、電話番号の前に186を付けてダイヤルするなど、電話番号を通知しておかけ直しください」と3回流して電話を切ります。
- 公衆電話お断り、表示圏外お断りに設定すると、公衆電話または表示圏外からの電話に「この電話は、お受けすることはできません」と3回流して電話を切ります。

4 停止 を押す

お断りしたい番号を登録する

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話を受けたくない相手先の電話番号を、「お断り番号」として30件まで登録することができます。
登録した相手先から電話がかかってくると、着信音を鳴らさずに、相手先へお断りのメッセージを流すことができます。

1 メニュー 5な 4た と順に押す

2 メニュー を押す

3 ダイヤルボタンで電話番号を入力する（最大20ケタ）

4 決定 を押す

- お断り番号を登録すると、登録した相手の方からの電話に「この電話は、お受けすることはできません」と3回流して電話を切ります。

5 停止 を押す

■登録したお断り番号を消去する

1件ずつ消去：

① メニュー 5な 4た と順に押す

② (十字キー) で消去したい番号を選ぶ

③ 消去/キャッチ を2回押す

④ 停止 を押す

すべて消去：

① 消去/キャッチ 5な 2か と順に押す

お知らせ

- お断り番号に登録されている相手からの電話は、緊急の用件でも着信音が鳴りませんので、ご注意ください（親機のディスプレイは点灯します）。

通話後に電話番号を登録する（着信らくらく番号登録）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話帳に登録していない方からの着信があったときに、通話後にその電話番号をかんたんな操作で電話帳に新規登録したり、お断り番号として登録することができます。

通話後に電話帳に登録する

1 電話を切ったあと、以下の画面が表示されたら 電話帳 を押す

今の電話番号を
電話帳[電話帳]
お断り[迷惑電話]

- この画面が表示されてから、約1分間、何も操作をしないと待受画面に戻ります。

2 名前を入力して電話帳に登録する

- 番号には通話した相手先の番号が入力されています。

通話後にお断り番号に登録する

1 **電話を切ったあと、以下の画面が表示されたら 迷惑電話 を押す**

今の電話番号を
電話帳[電話帳]
お断り[迷惑電話]

●この画面が表示されてから、約1分間、何も操作をしないと待受画面に戻ります。

2 **番号を確認して 決定 を押す**

3 **決定 を押す**

●相手先の番号がお断り番号に登録されます。

■着信らくらく番号登録を解除する

① メニュー を押し、# を4回続けて押す

② 4た 3さ 2か と順に押す

③ 停止 を押す
着信らくらく番号登録を使用しない設定になり、電話のあとに登録画面が表示されなくなります。

ネーム・ディスプレイを利用する

ネーム・ディスプレイとは、電話をかけてきた方の名前や会社名をディスプレイに表示させるサービスです（かけてきた方が番号通知・発信者名通知を選択している場合のみ）。
電話帳に登録していなくても、かけてきた相手の方の名前（または会社名）と番号を表示します。

このサービスを利用するには、ネーム・ディスプレイの利用契約（有料）の他にナンバー・ディスプレイの利用契約（有料）が必要です。詳しくは局番なしの116にお問い合わせください。
サービスを契約したあとは、ナンバー・ディスプレイを使用する設定になっていることを確認してください（☞76ページ）。

ひかり電話などをご利用のときは、このサービスはご使用になれません。

■本機の電話帳に登録している電話番号からかかってきたときは

かかってきた電話番号が、親機または子機の電話帳に登録している番号と一致したときは、それぞれで登録している名前を表示します（かけてきた方が発信者名を通知していなくても、番号を通知していれば表示します）。
電話帳に登録していない方のときは、親機では受信した発信者名（と番号）を表示し、子機では発信者名と番号を表示します。

お知らせ

●ネーム・ディスプレイでは、相手の方の名前または会社名を全角10ケタまで記録・表示します。
●携帯電話・PHS・国際電話・公衆電話からの着信時、発信者名は表示されません。
●本機で表示できる漢字（JIS 第1水準およびJIS 第2水準）以外の漢字コードを受信した場合は、ディスプレイ上に「※」を表示します。
●キャッチホン・ディスプレイ（☞75ページ）を利用されているときは、通話中にかかってきた相手の方の名前を表示します。

電話がかけられない

どこにも電話がかけられない／電話がかけられなくなった

取り付けの手順に従って、差し込みプラグ、電話機コードが正しくつながっているかを確かめます（☞ 15〜16ページ）。

本機を設置時に、ご契約の回線種別に自動で設定されますが、まれに正しく設定されないことがあります。
また、一般回線からIP電話や光電話に契約を変更したときは、回線種別の変更が必要になる場合があります。
ご契約の回線種別を確認して手動で変更します（☞ 20ページ）。

電話をかけて、つながったらこのままお使いください。
特定の番号や携帯電話にかけられないときは、「特定の番号にかけられない」（☞ 右記）や「携帯電話にかけられない」（☞ 86ページ）をご覧ください。

それでもつながらない

引っ越しの直後など回線の工事が完了していないことがあります。
ご契約と工事の日程を確認してください。

特定の番号にかけられない

例：フリーダイヤル（0120〜）
ナビダイヤル　（0570〜）　など

IP電話（ADSLなど）または光電話（NTTのひかり電話など）のどちらかを契約されていますか？

光電話（NTTのひかり電話など）を契約している

光電話（NTTのひかり電話など）を契約している場合は、一部のサービスの番号にかけることができません。
詳しくは、ご契約の光電話会社にご確認ください。

IP電話（ADSLなど）を契約している

NTTなどの一般加入回線も同時に契約されていますか？

契約していない

NTTなどの一般加入回線を同時に契約していない場合は、フリーダイヤルやナビダイヤルなどにかけることができません。
詳しくは、ご契約のIP電話会社にご確認ください、

契約している

本機を設置時に、ご契約の回線種別に自動で設定されますが、まれに正しく設定されないことがあります。
ご契約の回線種別を確認して手動で変更します（☞ 20ページ）。

それでもつながらない

一般加入回線を選択するための「IP電話解除番号」をダイヤルしないとつながりません。
「IP電話解除番号」（☞ 65ページ）をダイヤルしてからフリーダイヤルなどの番号をダイヤルしてください。

ご契約の電話会社またはサービス会社とは？

通話料金や電話サービスの請求書を送ってくる会社です。

受話器を取ってからダイヤルや番号の選択に時間がかかると、電話をかけられなくなることがあります。操作に時間がかかるときは、先にダイヤルや番号選択をしてから受話器を取ってください。

●それでもつながらない場合
電話会社によっては、かけられない電話番号や受けられない電話サービスがあります。ご契約の電話会社や電話サービス会社にご確認ください。

■回線種別とは…

回線の種類のことです。ダイヤル回線とプッシュ回線があります。本機の設定がご契約の回線と合っていない場合、電話がかけられないことがあります。

■回線種別の自動設定について

本機では、お買いあげ後にはじめて電源を入れたときと、登録初期化の操作をしたあとに、回線種別が自動的に設定されます。ただし、ご使用の状況によっては正しく設定されないことがあります。
電話がかけられない場合は、ご契約内容を確認し、設定が合っていなければ手動で変更してください（☞ 20ページ）。

■IP電話とは

IP電話では、インターネットの技術によって通信します。IPとは、internet protocol（インターネットプロトコル）の略です。従来とは異なる仕組みで通信するため、回線種別設定に関係なくつながります。

ファクスを送れない

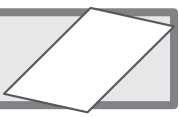
ファクスを送れない

まず、ここを確認してください

■**原稿は正しくセットされていますか？**
☞ 52ページ

■**原稿送りローラーは正しく取り付けられていますか？**
正しく取り付けます（☞ 94ページ）。

■**相手の方が非通知着信を拒否に設定していませんか？**
番号の前に「186」を付けてダイヤルしてください。

それでもファクスを送れないときは

■**相手の方のファクスが記録紙切れなどで受信できる状態になっていないかもしれません。**
相手の方に確認してください。

受話器を取ってからファクスを送るときは、ダイヤルや番号の選択に時間がかかると、ファクスを送れなくなることがあります。操作に時間がかかるときは、先にダイヤルや番号選択をしてから受話器を取ってください。

ファクスを受けられない／着信音が鳴らない

■ファクス優先またはファクス専用に設定していませんか？
ファクス優先またはファクス専用を解除します（☞ 104ページ）。

■おやすみモードに設定していませんか？
おやすみモードを解除します（☞ 70ページ）。

■各種お断りを設定していませんか？
お断りを解除します（☞ 83ページ）。

■モデムダイヤルインサービスを契約しているときは、特定の親機または子機のみ着信する設定にすると、他の親機または子機では着信音が鳴りません。
ダイヤルイン鳴り分けを解除します（☞ 69ページ）。

相手の声が聞こえにくい

■受話音量が大きすぎると雑音が入る場合があります。

■受話音量を調整します。
☞ 29、30、105ページ

それでも雑音が入る場合は

■電話機コードと電源コードを束ねていませんか？
できるだけ離して接続します。

■キャッチホン・ディスプレイをご利用でないのに、使用する設定になっていませんか？
使用しない設定にします（☞ 75ページ）。

■親機のアンテナをまっすぐに立てます。

■親機との距離や設置場所などお使いの環境をお確かめください。
「ご使用の前に知っていただきたいこと」をご覧ください（☞ 8ページ）。

■親機のアンテナをまっすぐに立てます。

■子機で通話するとき、はじめに音量が不安定になることがありますが、そのままお使いになると、すぐに安定します。

それでも雑音が入る場合は

■電波干渉を起こしている可能性がありますので、回避チャンネルを変更してみてください。
☞ 106ページ

■電波干渉を受けているときは、雑音が入ったり通話が切れてしまうことがありますが、いったん電話を切り、もう一度通話してみて、異常がなければ故障ではありません。
また、親機との距離や設置場所などを変えて、もう一度お確かめください。

こちら側の声が相手に聞こえにくい

■送話口（マイク）を手でふさいでいませんか？

■回線の状態などによって、聞こえにくくなることがあります。
送話音量を大きくしてください（☞ 105ページ）。

コピーや印刷ができない

正しく給紙しない

■ **記録紙は当社の推奨品をお使いですか？**
当社の推奨品をお使いください（☞102ページ）。
■ **インクリボンは当社の純正品をお使いですか？**
当社の純正品をお使いください（☞102ページ）。
■ **記録紙は正しくセットしていますか？**
正しく給紙しているか確認します。
■ **記録紙押さえの間にまっすぐセットしていますか？**
まっすぐセットします。
■ **よくさばいてからセットしていますか？**
よくさばいて紙の先端をそろえてから、そっと置くようにセットします。記録紙トレイを開いたときや、記録紙を追加するときも、いったん記録紙を取り出してからセットします。
■ **記録紙を入れすぎていませんか？**
一度にセットできるのは15枚までです。
■ **後ろカバーが開いていませんか？**
しっかりと閉めてから記録紙をセットします（☞23ページ）。

上記の項目を確認後、それでも正しく給紙しないときは記録紙給紙ローラーを清掃してください（☞95ページ）。

コピーできない

■ **原稿ガイドは原稿の幅に合わせて調節していますか？**
原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。
■ **原稿は正しい位置にセットしていますか？**
正しい位置にセットします（☞52ページ）。
■ **原稿挿入口に紙片などの異物がつまっていませんか？**
紙片などの異物を取り除きます。
■ **原稿送りローラーは正しく取り付けていますか？**
正しく取り付けます（☞94ページ）。

印刷した画像が汚い

■ **記録紙は当社の推奨品をお使いですか？**
当社の推奨品をお使いください（☞102ページ）。
■ **インクリボンは当社の純正品をお使いですか？**
当社の純正品をお使いください（☞102ページ）。
■ **記録ヘッドや記録紙給紙ローラーは汚れていませんか？**
汚れをふき取ります（☞95ページ）。
■ **キャッチホンを利用していませんか？**
受信中に電話がかかると画像が乱れることがあります。
■ **原稿が汚れていませんか？**
■ **記録ヘッドや読み取り部（ガラス）が汚れていませんか？**
汚れをふき取ります（☞93～95ページ）。
■ **気温が低いときや本機の電源を入れた直後は、印刷がかすれたり、薄くなることがあります。**

記録紙に印刷されない

■ **ファクス受信時は、相手側で原稿の向きが裏表逆になっていることがあります。**
相手の方に確認します。
■ **コピー時は、原稿が裏向きにセットされていることがあります。**
正しくセットします。

子機が使えない

動作しない

■ **充電池の残量が少なくなっていませんか？**
充電器に子機を戻して充電します（☞27ページ）。使いはじめや充電池を交換したときは、10時間以上の充電が必要です。
また、いっぱいに充電してもすぐに通話できなくなるときは充電池の寿命です。充電池を交換してください（☞27ページ）。
■ **充電池のコネクターが外れていませんか？**
コネクターを正しく接続します（☞26ページ）。
■ **充電器の差し込みプラグがコンセントから外れていませんか？**
正しく接続します（☞27ページ）。
■ **親機の差し込みプラグや電話機コードは正しく接続されていますか？**
正しく接続します（☞16ページ）。
■ **親機や他の子機を使用していませんか？**
使用が終わってから電話をかけます。
■ **近くで無線 LAN 機器やルーターなどを使用していませんか？**
親機、子機をそれらの機器からできるだけ離して設置してください。
■ **停電になっていませんか？**
停電のときは電話をかけることはできません。
■ **子機のディスプレイに［通話圏外］と表示されていませんか?**
子機を親機に近づけて （ボタン） を押してください。
充電池のコネクターを抜き差ししてください。
■ **親機との距離や設置場所などお使いの環境をお確かめください**
「ご使用の前に知っていただきたいこと」（☞8ページ）をご覧ください。
■ **子機の充電池を取り付け直してください**

留守モードが正しく働かない

留守設定できない

■ **メモリーがいっぱいになっていませんか？**
受信データを消去または印刷（☞63ページ）します。
不要な録音を消去します（☞48～49ページ）。

録音やファクス受信ができない

■ **着信するまでの回数が長いとファクス受信できないことがあります。**
留守時応答回数を現在の回数より少なくします（☞51ページ）。
■ **相手の声が小さいときや、用件が短いときは、途中で途切れたり録音されないことがあります。**

録音した応答メッセージが流れない

■ **応答メッセージは正しく録音されていますか？**
応答メッセージを正しく録音します（☞50ページ）。メモリーがなくなると自動的に固定メッセージに切り替わります。

■ **おやすみモードに設定していませんか？**
おやすみモードに設定していないか確認します（☞70ページ）。

■ **お声拝聴機能を使用しない設定にしていませんか？**
使用する設定にします（☞104ページ）。

リモート操作ができない

■ **留守設定にしていますか？**
留守設定にしていないと外出先からリモート操作できません（在宅時応答回数、ファクス自動受信、ファクス優先のいずれかを設定しているときは、留守設定していなくてもリモート操作できます）。

■ **暗証番号を登録していますか？**
暗証番号を登録していないと外出先からリモート操作できません。

留守設定を解除してもボタンが点滅している

■ **未再生の録音がありませんか？**
未再生の録音をすべて再生すると消灯します（☞48～49ページ）。

ナンバー･ディスプレイが使えない

相手の方の番号を表示しない

■ **ナンバー･ディスプレイを契約していますか？**
契約していないときは、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。局番なしの116番へお問い合わせください。

■ **NTTとの契約が済んで、工事は完了していますか？**
完了していないときは、局番なしの116番へお問い合わせください。

■ **構内交換機やホームテレホンに接続していますか？**
構内交換機やホームテレホンに接続していると表示できません。

■ **ナンバー･ディスプレイを使用しない設定になっていませんか？**
ナンバー･ディスプレイを使用する設定にしてください（☞76ページ）。

■ **ひかり電話などの光回線や IP 電話を利用していませんか？**
利用しているときは、各契約会社へお問い合わせください。

■ **ISDNのターミナルアダプター(TA)はナンバー･ディスプレイに対応していますか？**
ターミナルアダプター（TA）がナンバー･ディスプレイ対応でないと表示できません。
対応しているときは、ターミナルアダプター（TA）側でナンバー･ディスプレイを使用する設定にしてください。

相手の方の名前を表示しない／着信音が変わらない

■ **相手の方の電話番号を市外局番から登録しましたか？**
相手の方の電話番号は市外局番から登録しないと鳴り分け機能や名前を表示できません。市外局番から入力してください。

■ **「誰からコール」が設定されていませんか？**
「誰からコール」と鳴り分け機能は同時に利用できません。鳴り分け機能をご利用になるときは、「誰からコール」を使用しない設定にしてください（☞79ページ）。

こちら側の電話番号が相手側の電話機に表示されない

■ **電話番号を「通常非通知」で契約していませんか？**
「通常非通知」の契約で番号を通知したいときは、最初に「186」を付けてダイヤルしてください。

■ **相手側はナンバー･ディスプレイを契約していますか？**
相手側がナンバー・ディスプレイを契約していないと表示されません。契約しているときは、電話会社へお問い合わせください。

ADSLやひかり電話をご契約の方へ

ひかり電話などの光回線を利用しているとき

■ **ナンバー・ディスプレイやダイヤルインサービス（マイナンバー／追加番号）が動作しない**
ご契約の内容を確認してください。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。

IP電話／ADSLを利用しているとき

■ **ファクスの送受信ができない**
■ **電話やファクスを使っていないのに［外線使用中］などの表示が出る**
■ **ナンバー・ディスプレイが動作しない**
■ **電話の声が聞こえにくい・雑音が入る**
■ **受話器を取ると「キーン」という音が出る**
スプリッタを含むADSL機器を取り外して、改善されるか確認してください。また、回線からスプリッタまでの配線を短くして、改善されるか確認してください。改善されるときは、ADSL業者にご相談ください。改善されないときは、シャープお客様ご相談窓口（☞120ページ）にご相談ください。

ISDNを利用しているとき

■ **受話器を取ると「キーン」という音が出る**
■ **音がワンワン響く・大きすぎる**
ターミナルアダプターの送話･受話音量を調節してください。改善しないときは、ターミナルアダプターのメーカーへお問い合わせください。

■ **ナンバー・ディスプレイが動作しない**
ターミナルアダプターの設定が必要です。ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

その他　こまったときは

■ **正しく操作しても動かない／動作がおかしい**
電話機コードや差し込みプラグを正しく接続します（☞16ページ）。
電源を入れ直したり、「強制リセット」（☞101ページ）すると正常に動作することがあります。
それでも改善されないときは、シャープお客様ご相談窓口（☞120ページ）にご相談ください。

■ **登録していた日時が自動的に変更される**
親機の日時登録を変更すると、自動的に子機の日時登録が上書きされます。
親機の日時登録を転送したくないときは、時計バックアップ（☞ 106ページ）を使用しない設定にしてください。

■ **おしゃべり電話帳（音声電話帳）、誰からコール、誰あてコール、どこからコールの音声が聞き取りにくい**
親機のスピーカー音量を調整してください（☞29ページ）。
アクセントを変更してください（☞39、80ページ）。
音声合成システムで作った音なので、人の声に比べると聞き取りにくいことがあります。

■ **通話中などに、突然ファクスに切り替わる**
声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。何度も続けて起こるときは、おまかせ受信をしない設定にします（☞105ページ）。

■ **インクリボンがなくなった**
必ず当社の純正品をお使いください。
○ UX-NR8G（33m × 1本）
○ UX-NR8GW（33m × 2本）
ギヤなしタイプはお使いになれません。

■ **各種サービスを受けられない**
ひかり電話などの光回線やIP電話では、受けられないサービスがあります。各契約会社にお問い合わせください。

■ **ディスプレイに商品案内が表示され音楽が流れる**
店頭などで商品案内に使用される「デモモード」が起動しています。デモ起動をしない設定にします（☞106ページ）。

■ **ディスプレイに何も表示されない**
省電力モードになっていませんか？約3分間、何も操作をしないと、節電のためにディスプレイの表示が消えます。いずれかのボタンを押すと、再びディスプレイが表示されます。

停電になったときは

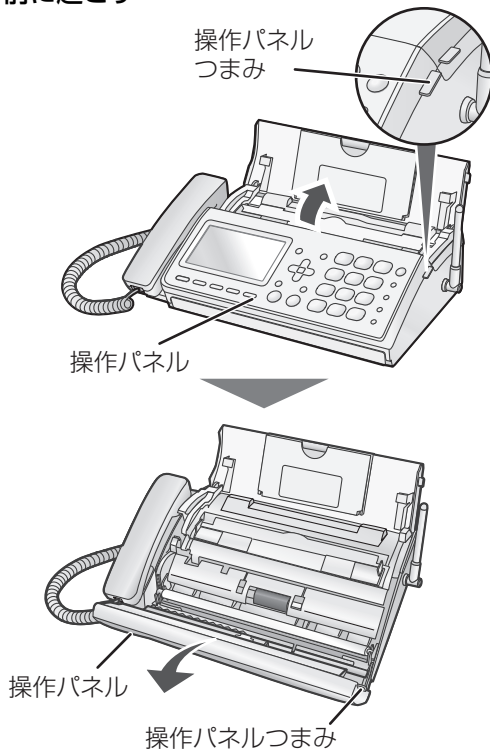
電話機	●親機で電話を受けたり、かけたりすることはできません。 ●子機を使用することはできません。 ●各種サービスは働きません。 ●ナンバー・ディスプレイの着信記録は消えません。 ●通話中に停電したときは、通話が切れてしまいます。
留守番	●留守番電話動作中に停電したときは、電話が切れて録音もされません。 ●外出先からリモート操作中に停電したときは、電話が切れて動作も止まります。 ●停電になっても、録音内容は消えません。
ファクス	●停電中は、ファクスを送ることも受けることもできません。 ●送信や受信をしているときに停電になると、通信が切れてしまいます。 送信のときは、復旧したあと原稿を取り出して再送信してください。 受信のときは、相手の方にもう一度再送信を依頼してください。 ●メモリー受信したデータは、停電になっても消えません。 ●紙がつまった場合は、96〜98ページをご覧になって、用紙を取り除いてから再度操作してください。
コピー	●停電中は、コピーはできません。復旧後あらためてコピーしてください。
登録した内容	●電話帳などに登録されている内容は消えません。 ●日付・時刻の設定は消えてしまいます。 子機の日付・時刻が設定されていて、親機の電波が届く範囲にある場合に、親機の時計バックアップを [使用する] に設定しているときは、子機から親機へ自動的に日付・時刻が転送されます（☞106ページ）。 転送されなかったときは、あらためて手動で設定し直してください（☞30ページ）。

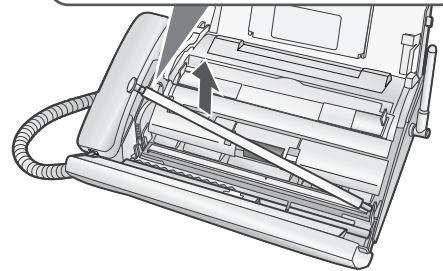
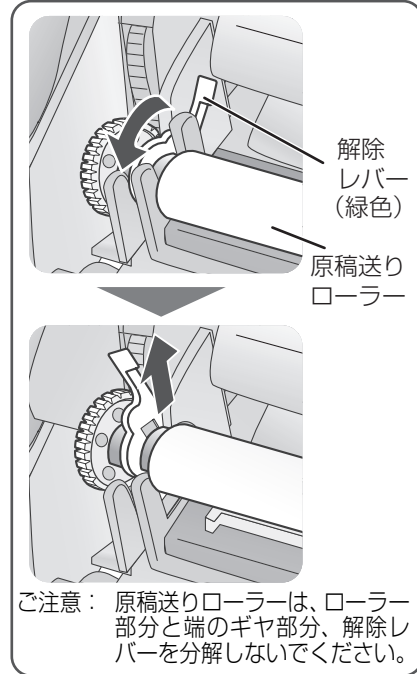
記録紙に白や黒の線が入るときは

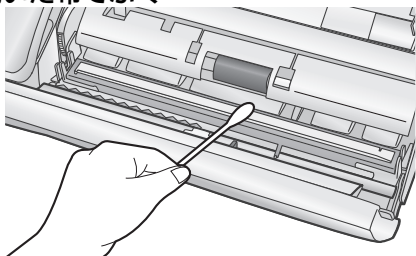
コピーやファクス送信したときに、記録紙に白や黒の線が入るときは、原稿読み取り部のガラスが汚れていることがあります。こんなときは、読み取り部を清掃してください。
また、読み取り部を清掃しても線が消えないときは、記録ヘッド手前のリボンガイド部を清掃してください（☞95ページ）。

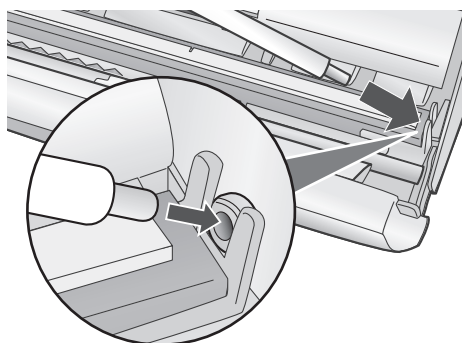
読み取り部を清掃する

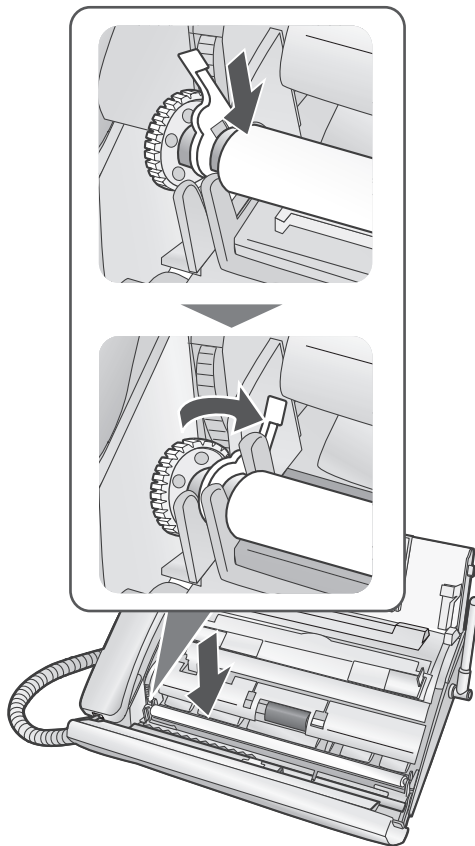
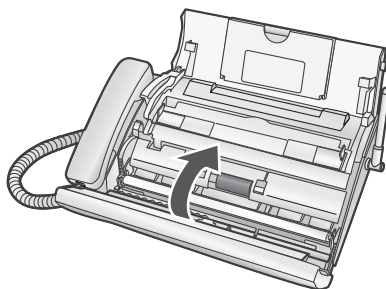
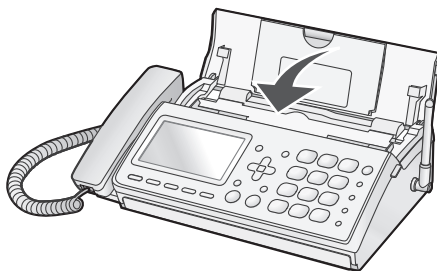
1 記録紙トレイつまみを持って、記録紙トレイを後ろに起こす

2 操作パネルつまみを持って、操作パネルを前に起こす

3 原稿送りローラーの左側の解除レバーを前に倒し、原稿送りローラーを引き上げる

ご注意：　原稿送りローラーは、ローラー部分と端のギヤ部分、解除レバーを分解しないでください。

次ページへ

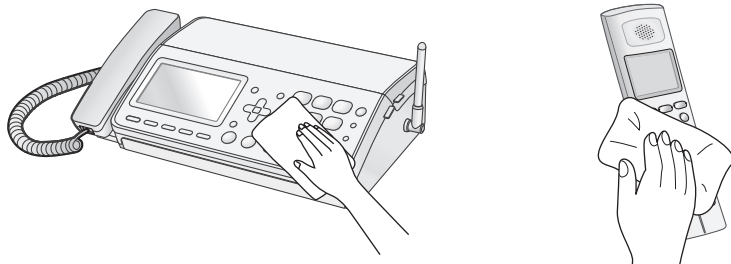
4 原稿送りローラー下部のガラス面を綿棒や乾いた布でふく

●ガラス面の汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。そのあと、もう一度乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。

5 原稿送りローラーの右端を穴に差し込む

原稿送りローラーは必ず正しく取り付けてください。取り付けが不完全なまま操作パネルを閉めると、親機が破損する原因になることがあります。
また、取り付けが不完全だったり、はずしたままお使いになると、コピーやファクス送信ができません。

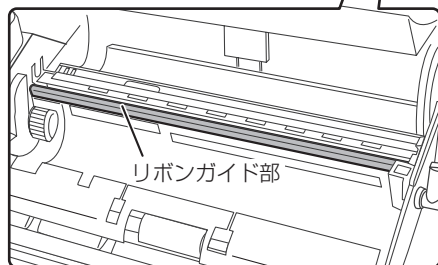
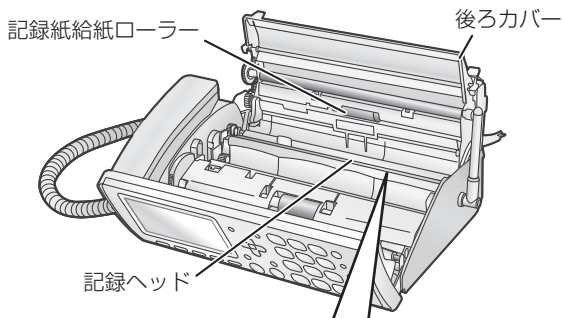
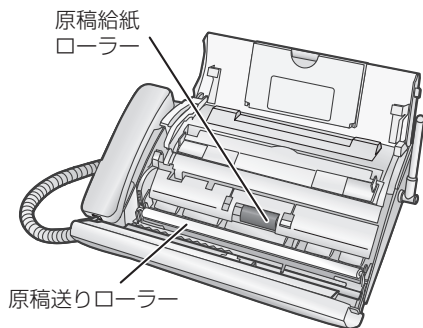
6 原稿送りローラーの左端を戻し、解除レバーを後ろに戻す

7 操作パネルを閉める

8 記録紙トレイを閉める

お手入れのしかた

誤って操作しないように、清掃の前にキーロックを設定してください（親機 ☞73ページ／子機 ☞74ページ）

親機や子機を清掃する

お手入れには、乾いた柔らかい布（眼鏡ふきなど）をお使いください。
汚れがひどいときは、水にひたしてよくしぼった布で清掃してください。そのあと、水分が残らないように、乾いた布でからぶきしてください。

記録ヘッドやローラー、リボンガイド部を清掃する

原稿や記録紙に汚れが付くときは、親機内部の記録ヘッドやローラー、リボンガイド部を乾いた柔らかい布で清掃してください。ローラーの部分はまわしながらふいてください。

後ろカバーの開けかた ☞22 ページ手順 ***1*** ～ ***3***

お手入れは、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）行ってください。感電やけが（やけど）の原因になることがあります。

■汚れが落ちないときは

- ●コピーして、まだ汚れているときは、もう一度清掃し直してください。
- ●コピーが正常で、受信ファクスの汚れが消えないときは、相手側の読み取りが悪い場合があります。

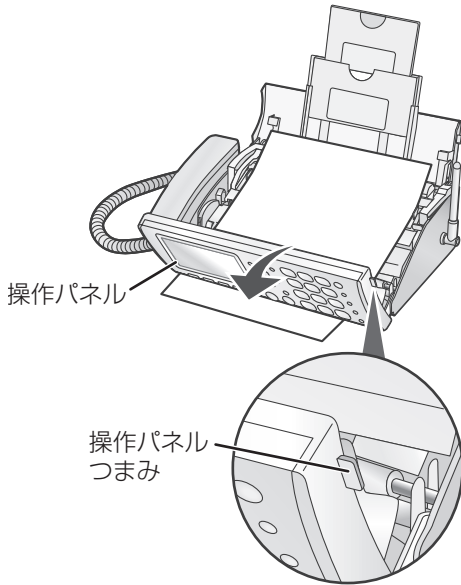
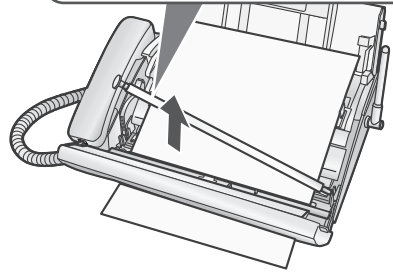
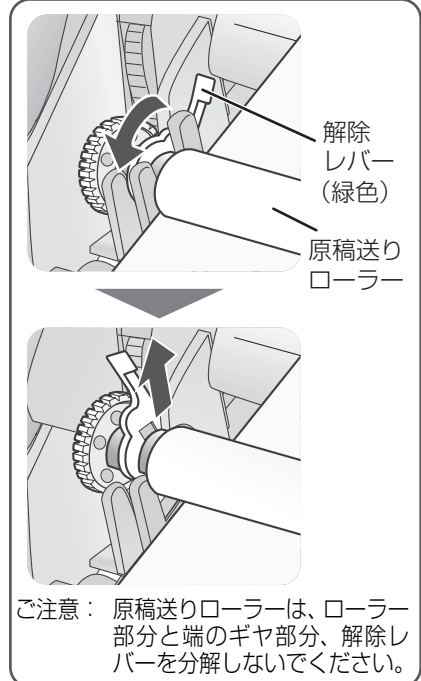
お知らせ

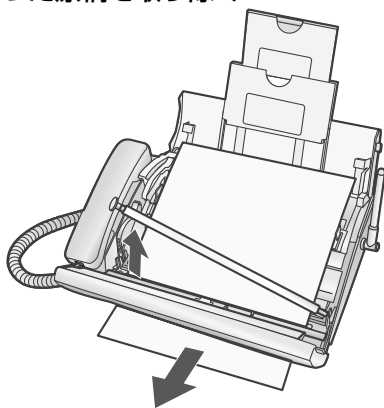
- ●アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因になります。
- ●紙粉の付着が多く、記録紙が正しく給紙しないときや、汚れのひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。ただし記録ヘッドは水ぶきしないでください。

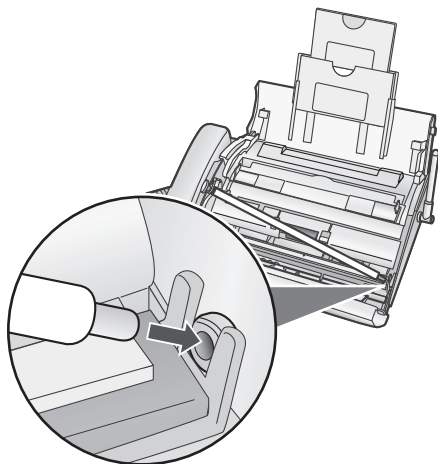
原稿や記録紙がつまったときは

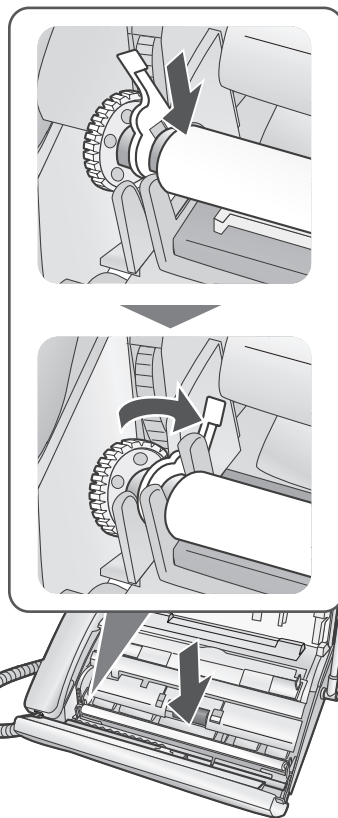
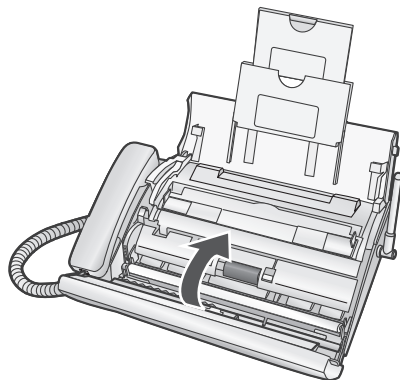
原稿がつまったときは

原稿がつまったときは、まず メニュー 0わ記号 と順に押して原稿を排出してください。排出されないときは、次の手順で取り除いてください。記録紙をセットしているときは、記録紙を取り出してから操作します。

1 **操作パネルつまみを持って、操作パネルを起こす**

2 **原稿送りローラーの左側の解除レバーを前に倒し、原稿送りローラーを引き上げる**

次ページへ

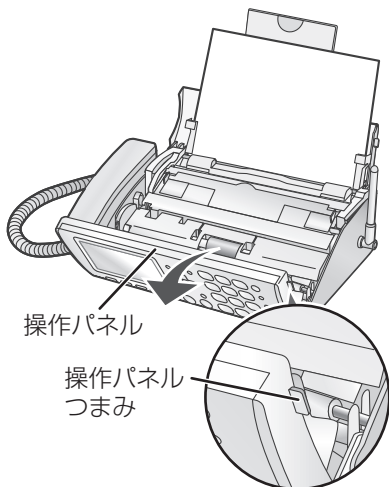
3 つまった原稿を取り除く

●つまった原稿は途中で破れないように注意して取り除いてください。無理に引っ張ると、破れることがあります。また、故障の原因になります。
●万一破れてしまったときは、本体の中に破れた紙が残らないように注意深く取り除いてください。

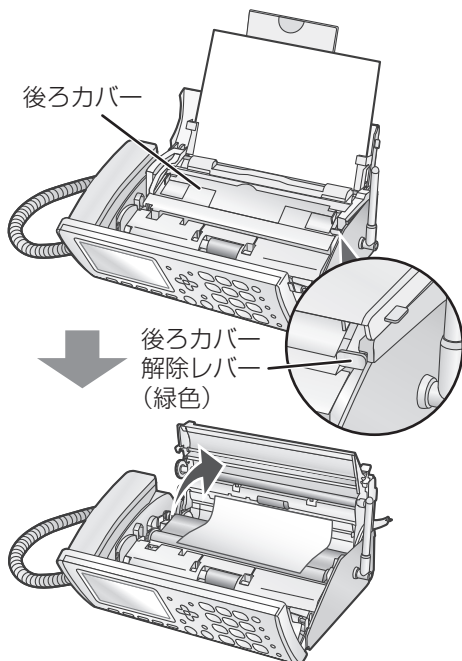
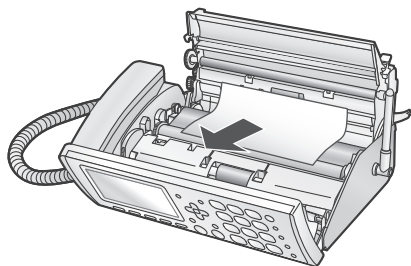
4 原稿送りローラーの右端を穴に差し込む

原稿送りローラーは必ず正しく取り付けてください。取り付けが不完全なまま操作パネルを閉めると、親機が破損する原因になることがあります。また、取り付けが不完全だったり、はずしたままお使いになると、コピーやファクス送信ができません。

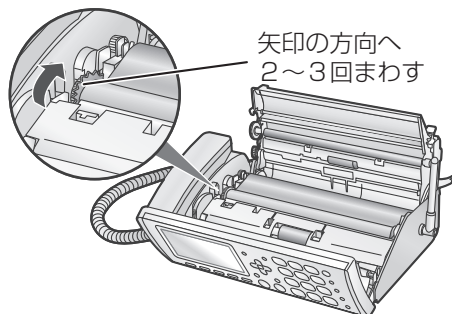
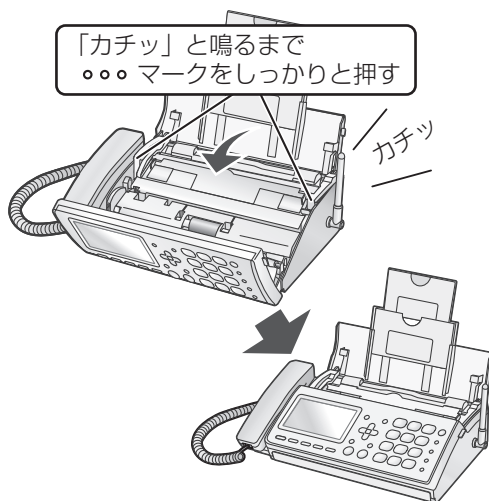
5 原稿送りローラーの左端を戻し、解除レバーを後ろに戻す

6 操作パネルを閉める

●原稿や記録紙をセットしてください
(☞52、62ページ)。

記録紙がつまったときは

記録紙がつまったときは次の手順で取り除いてください。
印刷の途中でインクリボンがなくなったときは、記録紙が途中で止まる（つまる）ことがあります。
そのときは記録紙を取り出したあと、インクリボンを交換してください（☞24～25ページ）。

1 操作パネルつまみを持って、操作パネルを起こす

●記録紙がセットされているときは、残りの記録紙をいったん取り出してから操作します。

2 後ろカバー解除レバーを押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす

3 つまった記録紙を取り除く

●操作パネルや後ろカバーを閉じたまま、つまった記録紙を引き抜かないでください。故障の原因になることがあります。
●記録紙が破れたときは、紙片が親機の中に残らないよう、完全に取り除いてください。

4 インクリボンのたるみを取る

5 後ろカバー、操作パネルの順に閉める

●記録紙を再セットしてください（☞62ページ）。

エラー表示／エラー音について

・お知らせやエラーメッセージが1行を超えるときは、1行ずつ交互に表示されます。

お知らせ／エラー表示（親機を使っているとき）

	表示／エラー音	対応
あ行	**インクリボン切れの為 ファクス中断しました**	●インクリボンを交換します（☞24～25ページ）。 ●緑色のギヤをまわして、インクリボンのたるみをとります（☞22～23ページ）。
	インクリボン切れ 型番はUX-NR8G/GW	
	後カバー開いています 閉めてください	●後ろカバーを閉め直します（☞23ページ）。
	応答がありません	●「親機でお話ししてからファクスを送る」の方法で送信してください（☞52～53ページ）。
か行	**外線自動応答中**	●留守モードなどで応答メッセージが流れて自動応答しています。
	外線使用中 また、「ツーツー」と聞こえる	●子機を使用中です。子機の使用が終わるまでお待ちください。
	記録紙切れの為 ファクス中断しました	●記録紙がないときはセットします。セットしているときは、正しくセットされているかを確認してください（☞62ページ）。
	記録紙づまりの為 ファクス中断しました	●つまった記録紙を取り除きます（☞98ページ）。 ●記録紙が正しくセットされているかを確認してください（☞62ページ）。
	記録紙づまり 取り除いて下さい	
	原稿づまり 取り除いて下さい	●[メニュー] [0] と順に押すと、原稿が自動的に排出されます。 ●それでも原稿がつまっているときは、操作パネルを開けて原稿を取り出します（☞96～97ページ）。
	子機確認ください	●子機が使用できない状態（電池切れ／電波が届かないなど）になっていないか確認してください。
	子機使用中 また、「ツーツー」と聞こえる	●子機を使用中です。子機の使用が終わるまでお待ちください。
	子機を増設します	●親機が子機増設登録モードになっています。 別売の増設子機を登録する場合は、増設子機に付属している「子機増設登録操作説明書」をご覧ください。 ●子機増設登録操作中は、外線着信を含む他の操作を行うことはできません。子機を増設しないときはそのまま、この表示が消えるまでお待ちください（約30秒で子機増設モードは解除されます）。
さ行	**受信ファクスあり [受信ファクス]を押す**	●メモリー受信したデータを印刷してください（☞63ページ）。
た行	**通信エラー（1 ～ 15）** また、「通信エラーがありました」と聞こえる	●相手の方に確認のうえ、もう一度送信するか、相手の方に送信してもらいます（1～15の番号は、当社のサービスマンが通信状況などを確認するためのものです。頻繁に起こるときは、当社のご相談窓口までご連絡ください）。
は行	**ファクス受信メモリー一杯 不要なファクスを消去**	●メモリー受信した内容を消去または印刷します（☞63ページ）。 ●不要な録音を消去します（☞48～49ページ）。
	プリンタが高温です	●長時間連続して印刷やコピーをしていると、記録部の過熱保護機能が働いて動作しなくなることがあります。しばらくお待ちください。
	プリンタが高温の為 ファクス中断しました	

	表示／エラー音	対応
ま行	未再生録音あり [留守]を押す	●未再生の留守録音があります。再生してください（☞48～49ページ）。
ら行	録音あり [再生]を押す	●未再生の留守録音やその他の録音があります。再生または消去してください（☞48～49ページ）。
	録音メモリー一杯 不要な録音を消去	

お知らせ／エラー表示（子機を使用しているとき）

表示／エラー音	対応
親機検索中	●親機の差し込みプラグを接続してください（☞16ページ）。 ●他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすいところでは使用しないでください（☞8ページ）。 ●親機からの電波が届く範囲でご使用ください。 ●子機の充電池を取り付け直してください。
外線使用中	●親機が使用中です。親機の使用が終わるまでお待ちください。
子機で通話中に「ピーピー」と２回鳴ってすぐに切れる	●雑音の少ないところでご使用ください。 ●無線LANなどの近くでお使いのときは、それらの機器よりできるだけ離してお使いください。また「回避チャンネル設定」を変更してお使いください（☞106ページ）。
新着あり	●未再生の録音があります。親機または子機を操作して、再生してください。
自動応答中	●留守モードなどで、応答メッセージが流れて自動応答しています。
受信FAXあり	●メモリー受信したデータを印刷してください（☞63ページ）。
通話圏外	●親機の差し込みプラグを接続してください（☞16ページ）。 ●他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすいところでは使用しないでください（☞8ページ）。 ●親機からの電波が届く範囲でご使用ください。 ● を押すと表示が消えて使えるようになることがあります。
「ピーピー」	●親機や増設子機が使用中です。 ●親機の差し込みプラグを接続してください（☞16ページ）。 ●他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすいところでは使用しないでください（☞8ページ）。 ●親機からの電波が届く範囲でご使用ください。
「ピピピピ」	●名前の文字数や日時登録の設定などが登録範囲を超えています。
「ピピッ……ピピッ……」	●充電器に子機を戻して充電してください。約1分後に電話は切れますので、通話を止めて充電器に戻してください。 ●長時間充電しても、すぐに容量がなくなるときは、新しい充電池と交換してください（☞102ページ）。

故障かな？と思ったときは（修理依頼される前に）

・ディスプレイ表示が化けている（意味不明の文字列や画像が表示されている）。
・ボタンが全く効かない。
・電話帳リストなどを印刷するとデータが乱れている。
・コピーや印刷ができない状態が続く。
・その他、正しく動作しない。

上記のような症状の多くは、一般に、マイコン（IC）を使用している機器が、大きな外来ノイズにより誤動作することで発生します。修理やアフターサービスをお申し付けになる前に、下記の操作をお試しください。
また、登録・設定した内容により、お客様の意図しない機能が働いている場合、工場出荷時の状態に戻すことで、症状が改善することがあります（電話帳以外初期化、電話帳消去、登録初期化 ☞103ページ）。

子機が使えないとき

■子機の充電池のコネクターを抜き差しする

子機の充電池のコネクターを抜いて、もう一度接続してみてください。

●子機の日付・時刻の設定は消えます。
親機が電波の届く範囲にあり、日付・時刻が設定されていれば、自動的に日付・時刻が転送されます（時計バックアップ（☞106 ページ）を使用する設定のとき）。
転送されなかったときは、あらためて手動で設定してください。

その他の場合

■親機を再起動する

ボタンが効かないといった状態になったときは、親機を再起動してください。

① 停止 を約15秒以上押し続ける
② ディスプレイに [しばらくお待ちください] と表示されたら 停止 から指を離す

●自動的に再起動が行われます。
●再起動しても、登録した内容は消えません。
●停止 を約15秒以上押し続けても再起動しない場合は、本機の電源を入れ直してください（☞下記）。

再起動しても症状が改善されないときは、下記をご覧ください。

■電源を入れ直してみる

親機を再起動しても改善されないときは、差し込みプラグを電源コンセントから抜いてもう一度差し込んでみてください。

●親機の日付・時刻の設定は消えます。
子機の日付・時刻が設定されていて、親機の電波が届く範囲にある場合は、子機から親機へ自動的に日付・時刻が転送されます（時計バックアップ（☞106 ページ）を使用する設定のとき）。
転送されなかったときは、あらためて手動で設定し直してください。

左記の操作をしても症状が改善されないときは、次の操作（強制リセット）を行ってみてください。
【ただし、強制リセットを行った場合、電話帳に登録した内容など、すべてのデータが消えて工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。】

■親機を強制リセットする

① 差し込みプラグを電源コンセントから抜く
② ファクス スタート と 停止 を同時に押したまま、差し込みプラグを電源コンセントに差し込む
③ ディスプレイに ［メモリークリア中］ と表示されたら、ファクス スタート と 停止 から指を離す

●強制リセットをすると、ご購入時にあらかじめ登録されていた電話帳2件分が復活します。
●電源を入れ直したり、強制リセットしたときは日付・時刻の設定をやり直してください（☞17 ページ）。
●強制リセットをすると、日付・時刻の設定のあと、自動的に回線種別を設定します。
電話などをかけられるときは、回線種別の設定(約20秒)が終わってからにしてください。

強制リセットを行っても症状の改善がみられない場合、または症状が再三発生する場合は、シャープお客様ご相談窓口（☞ 120ページ）へお申し付けください。

別売品／消耗品

別売品／消耗品として、次のものを用意しています。
このデジタルコードレスファクシミリを長い間安心してお使いいただくためにも、当社の純正品や推奨品をお使いください。純正品以外のインクリボン、推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用されると印刷がかすれたり、薄くなることがあります。なお、価格などは予告なく変更することがありますので、ご了承ください。別売品／消耗品のご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。

品名	形名	サイズ	数量	希望小売価格
ファクシミリ用普通紙	PP110MA4	A4サイズ	250枚	630円（税抜価格600円）

品名	形名	サイズ	数量	希望小売価格
インクリボン（ギヤ付きタイプ）	UX-NR8G	A4幅×33m	1本	1,312円（税抜価格1,250円）
	UX-NR8GW	A4幅×33m	2本1組	2,415円（税抜価格2,300円）

ギヤなしタイプのインクリボンは、使用することができません。

品名	形名	部品コード	流通コード	希望小売価格
子機用充電池※（ニッケル水素電池）	A-002	UBATMA002AFZZ	142 932 0070	1,800 円（税抜価格1,715円）

※シャープエンジニアリング（株）扱い

品名	形名	希望小売価格
増設子機（☞71ページ）	JD-KS15	16,800円（税抜価格16,000円）
	JD-KS17	16,800円（税抜価格16,000円）
	JD-KS18	16,800円（税抜価格16,000円）
	JD-KS25	19,950円（税抜価格19,000円）
	JD-KS28※	19,950円（税抜価格19,000円）

※機能的には付属の子機と同等ですが、デザインは異なります。また、色調はホワイトのみです。ブラック系の増設子機はありません。
●増設可能な子機については、109ページをご覧ください。

種類	部品コード	流通コード	希望小売価格
延長コード（モジュラープラグ付き）			
5m（2芯）（白）	QCNWG0121AFSA	142 512 0331	535円（税抜価格510円）
10m（2芯）（白）	QCNWG0122AFSA	142 512 0332	819円（税抜価格780円）

お知らせ

●希望小売価格は2010年6月現在のものです。
●小さい原稿を送信するときに使用するキャリアシートはご使用になれません。

登録や設定・電話帳の内容を初期化する

登録・設定した内容を工場出荷時に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。

登録データ初期化をすると登録・設定した内容の他に、留守録などの録音、メモリー受信データがすべて工場出荷時の内容に戻ります（消去されます）。

本機を廃棄、譲渡などするときは

お客様の個人情報流出による被害を防ぐために、親機の「電話帳以外初期化」と「電話帳消去」、子機の「登録初期化」の操作を行って、本機に記録したデータを消去することをおすすめします。
親機のデータは、「強制リセット」（☞101ページ）で一括して消去することもできます。

■親機の登録や設定の内容を工場出荷時に戻す（電話帳以外クリア）

① メニュー を押し、# を４回続けて押す

② 8 2 と順に押す

③ 停止 を押す

●電話帳の内容、誰あてコール設定、日付・時刻の設定を除いて、工場出荷時の設定に戻ります。

■親機の電話帳に登録した内容をすべて消去する（電話帳消去）

① 消去/キャッチ 7 2 と順に押す

■子機の登録や設定の内容をすべて工場出荷時に戻す（登録初期化）

① メニュー/決定 を押し、 で［システム設定］を選ぶ

② メニュー/決定 を押し、 で［登録初期化］を選ぶ

③ メニュー/決定 を押し、 で［全ての登録］を選ぶ

④ メニュー/決定 を２回押す

●子機の登録内容がすべて工場出荷時の設定に戻ります。

■子機の登録や設定の内容を工場出荷時に戻す（電話帳以外）

① メニュー/決定 を押し、 で［システム設定］を選ぶ

② メニュー/決定 を押し、 で［登録初期化］を選ぶ

③ メニュー/決定 を押し、 で［電話帳以外］を選ぶ

④ メニュー/決定 を２回押す

■子機の電話帳に登録した内容をすべて消去する（☞38ページ）

お知らせ

●親機登録データ初期化をしたあと自動的に回線種別の設定を行います。電話などをかけられるときは、回線種別の設定（約20秒）が終わってからかけてください。

特別設定について

使用状況に応じて、以下の項目を親機で設定できます。

特別設定メニューは、メニュー を押したあと、＃ を４回続けて押して呼び出します。

設定項目	設定の内容
[留守番電話設定] → **[メッセージ待ち時間]**	留守番電話などの応答メッセージが流れるまでの時間を設定できます。 [1 秒] [2 秒] [4 秒] [8 秒] のいずれかを選びます（はじめは [4 秒] ）。
[留守番電話設定] → **[発信音待ち時間]**	応答メッセージが終わってから、「ピー」という録音開始音が流れるまでの時間を設定できます。[1 秒] [2 秒] [4 秒] [8 秒] のいずれかを選びます（はじめは [4 秒] ）。
[留守番電話設定] → **[お声拝聴]**	留守番電話設定中の応答メッセージと、相手の方の録音中の声をスピーカーから出力する機能の設定ができます。[あり] または [なし] を選びます（はじめは [あり] ）。
[留守番電話設定] → **[留守録音時間]**	留守録の録音時間を設定できます。[30 秒] [1 分] [2 分] のいずれかを選びます（はじめは [30 秒] ）。
[留守番電話設定] → **[戻って録音時間]**	73ページをご覧ください。
[ファクス関連の設定]→ **[ファクス受信方法]**	ファクスの受信方法を、[メモリー受信] [記録紙受信] のいずれかに設定できます（はじめは [メモリー受信] ）。 **[メモリー受信]：** 受信した内容を親機のメモリーに記録してから、自動的に印刷します。記録紙やインクリボンがなくなったとき、受信データは親機のメモリーに保存されています。 **[記録紙受信]：** 受信した内容を、直接記録紙に印刷します。記録紙やインクリボンがなくなったときは受信できません。受信メモリーが残り少なくなっているときなど、メモリー受信できないときに設定します。ただし2枚に分かれて印刷されることがあります。
[ファクス関連の設定] → [受信モード] → **[ファクス優先]**	**ファクス優先とは、いったん着信したあと、電話かファクスかを本機が自動的に判断する機能です。ファクスなら着信音を鳴らさずに受信し、電話なら着信音を鳴らします。ファクス優先に設定するときは、4〜25回の着信音回数を設定します。** ●ファクス優先は、留守番電話を設定しているときは動作しません。留守番電話を解除すると、再びファクス優先が働きます。 ●ファクス優先に設定すると、ディスプレイに [ファクス優先] と表示されます（留守設定時や、おやすみモード設定時は表示されません）。 ●ファクス優先に設定していると、親機の着信音は [電話ベル音] になります。また、誰からコール、誰あてコール、どこからコールは働きません。 設定時に [設定しない] を選んで 決定 を押すと解除できます。
[ファクス関連の設定] → [受信モード] → **[ファクス専用]**	**ファクス専用とは、すべての着信で、着信音を鳴らさずにファクス受信に切り替わる機能です。自動着信したときから、相手の方に通話料金がかかります。ファクス専用に設定すると、電話を受けることはできませんのでご注意ください（電話をかけることはできます）。** ●ファクス専用は、留守番電話を設定しているときは動作しません。留守番電話を解除すると、再びファクス専用が働きます。 ●ファクス専用に設定すると、ディスプレイに [ファクス専用] と表示されます（留守設定時や、おやすみモード設定時は表示されません）。 ●ファクス専用に設定していても、ファクスが受信できない状態のときには着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間に受話器を取れば、電話でお話しできます。 ●ファクス専用に設定していると、相手の方の受話口に「ピー…ヒョロロ」という音が鳴ります。 設定時に [設定しない] を選んで 決定 を押すと解除できます。

特別設定メニューは、メニュー を押したあと、# を４回続けて押して呼び出します。

設定項目	設定の内容
[ファクス関連の設定] → **[在宅時応答回数]**	電話に出られなかったとき、留守設定をしなくても相手先に応答メッセージを流すように設定できます。[回数選択] または [無制限呼出] の設定があり、応答メッセージを流すように設定するときは、[回数選択] を選んで着信音の回数（1～25回）を設定します（設定した回数の着信音が鳴り終わると相手先にメッセージを流します）。自動着信すると、相手の方に通話料金がかかります。 [無制限呼出]（はじめの設定）にすると、応答メッセージは流れず、相手が電話を切るまで着信音が鳴り続けます。 **応答メッセージの内容：** 「ただ今近くにおりません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが後程おかけ直しください」 ●着信音の回数を７回以上に設定すると、相手の方が自動送信した場合などに、ファクスに切り替わらないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、自動的にファクスを受けたいときは、着信音の回数を６回以下に設定してください。
[ファクス関連の設定] → **[おまかせ受信]**	相手先からファクスが自動送信されているとき（「ポー・ポー・ポー…」と聞こえるとき）、受話器や子機を取ると自動的にファクス受信に切り替える機能の設定ができます。[あり] または [なし] を選びます（はじめは [あり] ）。
[ファクス関連の設定] → **[縮小受信]**	ファクスを印字したときに、受信日付や相手の方のファクス番号を記入するため、自動的に約93%に縮小して印刷する機能の設定ができます。[あり] または [なし] を選びます（はじめは [あり] ）。 [なし] に設定すると、相手の方がA4サイズで送信していても、受信日付などの記入でA4サイズを超えるため、こちらでは２枚に分かれて印刷されることがあります。また、白紙が1枚出てくることがあります。
[ファクス関連の設定] → **[発信音検出]**	電話帳やワンタッチダイヤル、再ダイヤルを使ってファクスを自動送信するときに、本機が自動的に「ツー」という発信音を検出し、正しく送信できるようにします。自動送信がうまくできないときは、この設定を [なし] にするか、受話器を取って送信してください。[あり] または [なし] を選びます（はじめは [あり] ）。
[音関連の設定] → **[親機送話音量]**	親機での通話時に相手先へ送出される音量を切り替えられます。[小] [標準] [大] のいずれかを選びます（はじめは [標準]）。
[音関連の設定] → **[子機送話音量]**	子機での通話時に相手先へ送出される音量を切り替えられます。[小] [標準] [大] のいずれかを選びます（はじめは [標準]）。
[音関連の設定] → **[子機受話音量]**	子機での通話時に相手先から聞こえる音量を切り替えられます。[小] [標準] [大] のいずれかを選びます（はじめは [標準]）。 ●通話中に子機の操作で受話音量を切り替えることもできます（☞30ページ）。
[音関連の設定] → **[子機受話音質]**	すべての子機の受話音質を一度に調整できます。[低い] [標準] [高い] のいずれかを選びます（はじめは [標準]）。 ●使用中の子機のみ変更したいときは、「子機の通話音質を変える」（☞30ページ）をご覧ください。
[音関連の設定] → **[スピーカー音量]**	録音再生時など、スピーカーから聞こえる音量を切り替えられます。5段階の音量のいずれかを選びます（はじめは [3／5 段階]）。 ●スピーカーから音が出ているときに音量を切り替えることもできます（☞29ページ）。
[音関連の設定] → **[キータッチ音]**	親機のボタンを押したときに鳴る音（キータッチ音）の有無を設定できます。[あり] または [なし] を選びます（はじめは [あり]）。

特別設定メニューは、メニュー を押したあと、# を４回続けて押して呼び出します。

設定項目	設定の内容
[電話関連の設定] → **[ナンバー・ディスプレイ]**	76ページをご覧ください。
[電話関連の設定] → [キャッチホン] → **[キャッチホンディスプレイ]**	75ページをご覧ください。
[電話関連の設定] → [キャッチホン] → **[キャッチホン切替時間]**	キャッチホン利用時に回線を開放する時間を設定できます。[0.4秒] [0.6秒] [0.8秒] のいずれかを選びます（はじめは [0.8秒] ）。 交換機の種類などによっては、キャッチホン利用時に電話が切れてしまうことがあります。こんなときは、短い時間に設定します。
[電話関連の設定] → **[ラクラク番号登録]**	84ページをご覧ください。
[電話関連の設定] → [どこから設定] → **[どこからコール]**	80ページをご覧ください。
[電話関連の設定] → [どこから設定] → **[地域番号帯登録]**	80ページをご覧ください。
[電話関連の設定] → **[着信通知]**	71ページをご覧ください。
[電話関連の設定] → **[デカ文字着信]**	73ページをご覧ください。
[回避チャンネル設定]	回避する電波のチャンネルを設定できます。他の電化製品（無線LANなど）の電波干渉などによって通話に雑音が入るとき、設定を変更すると改善されることがあります。他の電化製品（無線LANなど）が使用しているチャンネルを選んでください。[チャンネル1] [チャンネル6] [チャンネル11] のいずれかを選びます（はじめは [チャンネル6]）。 無線LANを使用している場合、無線LANが使用しているチャンネルを回避することで、通話品質が改善されることがあります。
[時計機能] → **[時計バックアップ]**	親機または子機いずれかの日時設定が消えたときに、もう一方から自動的に日時設定を転送する機能を設定できます。日時が登録されていないときや、親機の電波範囲内に子機がないときは転送できません。[使用する] または [使用しない] を選びます（はじめは [使用する]）。
[時計機能] → **[子機へ送信]**	親機に登録されている日時を子機に転送します。あらかじめ親機の日時を登録しておいてください。子機が2つ以上あるときは、子機番号の1から順番に転送します。 ●時計転送に対応していない子機を増設した場合は、日付や時刻は転送されません。
[時計機能] → **[子機から受信]**	子機１に登録されている日時を親機に転送します。あらかじめ子機１の日時を登録しておいてください。ただし、子機１が使用範囲外にあるなどで転送できないときは、子機２から転送します。すべての子機が転送できない状態にあるときは、転送せずに終了します。
[ダイヤルライト]	73ページをご覧ください。
[電話帳以外クリア]	103ページをご覧ください。
[デモ起動]	商品紹介用のデモの表示条件を設定できます。[しない] [する（回線連動）] [する（常に実行）] のいずれかを選びます。

区点コード一覧表

4桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

区点1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
025										
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
030										
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
049										
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
059										
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
079										
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
――あ――										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
――い――										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
――う――										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
――え――										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
――お――										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
――か――										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
――き――										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
――く――										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
――け――										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
――こ――										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
――さ――										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
――し――										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
――す――										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
――せ――										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
――そ――										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
――た――										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
――ち――										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
――つ――										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
――て――										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
――と――										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
――な――										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
――に――										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
――ぬ～の――										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
――は――										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
――ひ――										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
――ふ――										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
――へ――										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
――ほ――										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
――ま――										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
――み――										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
――む――										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
――め――										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
――も――										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
――や――										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
――ゆ――										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
――よ――										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
――ら――										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
――り――										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
――る～れ――										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
――ろ――										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
――わ――										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈

区点1~3桁目	区点4桁目 0123456789	区点1~3桁目	区点4桁目 0123456789	区点1~3桁目	区点4桁目 0123456789	区点1~3桁目	区点4桁目 0123456789
502	甸匍匐匏匕匚匣匯匱匳	602	楷楜楸楫楔楾楮椹楴椽	702	羇羌羔羞羝羚羣羯羲羹	802	雋雉雍襍雜霍雕雹霄霆
503	匸區卆卅丗卉卍凖卞卩	603	楙椰楡楞楝榁楪榲榮槐	703	羮羶羸譱翅翆翊翕翔翡	803	霈霓霎霑霏霖霙霤霪霰
504	卮夘卻卷厂厖厠厦厥厮	604	榿槁槓榾槎寨槊槝榻槃	704	翦翩翳翹飜耆耄耋耒耘	804	霹霽霾靄靆靈靂靉靜靠
505	厰厶參簒雙叟曼燮叮叨	605	榧樮榑榠榜榕榴槞槨樂	705	耙耜耡耨耿耻聊聆聒聘	805	靤靦靨勒靫靱靹鞅靼鞁
506	叭叺吁吽呀听吭吼吮吶	606	樛槿權槹槲槧樅榱樞槭	706	聚聟聢聨聳聲聰聶聹聽	806	靺鞆鞋鞏鞐鞜鞨鞦鞣鞳
507	吩吝呎咏呵咎呟呱呷呰	607	樔槫樊樒櫁樣樓橄樌橲	707	聿肄肆肅肛肓肚肭冐肬	807	鞴韃韆韈韋韜韭齏韲竟
508	咒呻咀呶咄咐咆哇咢咸	608	樶橸橇橢橙橦橈樸樢檐	708	胛胥胙胝胄胚胖脉胯胱	808	韶韵頏頌頸頤頡頷頽顆
509	咥咬哄哈咨	609	檍檠檄檢檣	709	脛脩脣脯腋	809	顏顋顫顯顰
510	咫哂咤咾咼哘哥哦唏	610	檗蘗檻櫃櫂檸檳檬櫞	710	隋腆脾腓腑胼腱腮腥	810	顱顴顳颪颯颱颶飄飃
511	唔哽哮哭哺哢唹啀啣啌	611	櫑櫟檪櫚櫪櫻欅蘖櫺欒	711	腦腴膃膈膊膀膂膠膕膤	811	飆飩飫餃餉餒餔餘餡餝
512	售啜啅啖啗唸唳啝喙喀	612	欖鬱欟欸欷盜欹飮歇歃	712	膣腟膓膩膰膵膾膸膽臀	812	餞餤餠餬餮餽餾饂饉饅
513	咯喊喟啻啾喘喞單啼喃	613	歉歐歙歔歛歟歡歸歹歿	713	臂膺臉臍臑臙臘臈臚臟	813	饐饋饑饒饌饕馗馘馥馭
514	喩喇喨嗚嗅嗟嗄嗜嗤嗔	614	殀殄殃殍殘殕殞殤殪殫	714	臠臧臺臻臾舁舂舅與舊	814	馮馼駟駛駝駘駑駭駮駱
515	嘔嗷嘖嗾嗽嘛嗹噎噐營	615	殯殲殱殳殷殼毆毋毓毟	715	舍舐舖舩舫舸舳艀艙艘	815	駲駻駸騁騏騅駢騙騫騷
516	嘴嘶嘲嘸噫噤嘯噬噪嚆	616	毬毫毳毯麾氈氓气氛氤	716	艝艚艟艤艢艨艪艫舮艱	816	驅驂驀驃騾驕驍驛驗驟
517	嚀嚊嚠嚔嚏嚥嚮嚶嚴囂	617	氣汞汕汢汪沂沍沚沁沛	717	艷艸艾芍芒芫芟芻芬苡	817	驢驥驤驩驫驪骭骰骼髀
518	嚼囁囃囀囈囎囑囓囗囮	618	汾汨汳沒沐泄泱泓沽泗	718	苣苟苒苴苳苺莓范苻苹	818	髏髑髓體髞髟髢髣髦髯
519	囹圀囿圄圉	619	泅泝沮沱沾	719	苞茆苜茉苙	819	髫髮髴髱髷
520	圈國圍圓團圖嗇圜圦	620	沺泛泯泙泪洟衍洶洫	720	茵茴茖茲茱荀茹荐荅	820	髻鬆鬘鬚鬟鬢鬣鬥鬧
521	圷圸坎圻址坏坩埀垈坡	621	洽洸洙洵洳洒洌浣涓浤	721	茯茫茗茘莅莚莪莟莢莖	821	鬨鬩鬪鬮鬯鬲魄魃魏魍
522	坿垉垓垠垳垤垪垰埃埆	622	浚浹浙涎涕濤涅淹渕渊	722	茣莎莇莊荼莵荳荵莠莉	822	魎魑魘魴鮓鮃鮑鮖鮗鮟
523	埔埒埓堊埖埣堋堙堝塲	623	涵淇淦涸淆淬淞淌淨淒	723	莨菴萓菫菎菽萃菘萋菁	823	鮠鮨鮴鯀鯊鮹鯆鯏鯑鯒
524	堡塢塋塰毀塒堽塹墅墹	624	淅淺淙淤淕淪淮渭湮渮	724	菷萇菠菲萍萢萠莽萸蔆	824	鯣鯢鯤鯔鯡鰺鯲鯱鯰鰕
525	墟墫墺壞墻墸墮壅壓壑	625	渙湲湟渾渣湫渫湶湍渟	725	菻葭萪萼蕚蒄葷葫蒭葮	825	鰔鰉鰓鰌鰆鰈鰒鰊鰄鰮
526	壗壙壘壥壜壤壟壯壺壹	626	湃渺湎渤滿渝游溂溪溘	726	蒂葩葆萬葯葹萵蓊葢蒹	826	鰛鰥鰤鰡鰰鱇鰲鱆鰾鱚
527	壻壼壽夂夊夐夛梦夥夬	627	滉溷滓溽溯滄溲滔滕溏	727	蒿蒟蓙蓍蒻蓚蓐蓁蓆蓖	827	鱠鱧鱶鱸鳧鳬鳰鴉鴈鳫
528	夭夲夸夾竒奕奐奎奚奘	628	溥滂溟潁漑灌滬滸滾漿	728	蒡蔡蓿蓴蔗蔘蔬蔟蔕蔔	828	鴃鴆鴪鴦鶯鴣鴟鵄鴕鴒
529	奢奠奧奬奩	629	滲漱滯漲滌	729	蓼蕀蕣蕘蕈	829	鵁鴿鴾鵆鵈
530	奸妁妝佞侫妣妲姆姨	630	漾漓滷澆潺潸澁澀潯	730	蕁蘂蕋蕕薀薤薈薑薊	830	鵝鵞鵤鵑鵐鵙鵲鶉鶇
531	姜妍姙姚娥娟娑娜娉娚	631	潛濳潭澂潼潘澎澑濂潦	731	薨蕭薔薛藪薇薜蕷蕾薐	831	鶫鵯鵺鶚鶤鶩鶲鷄鷁鶻
532	婀婬婉娵娶婢婪媚媼媾	632	澳澣澡澤澹濆澪濟濕濬	732	藉薺藏薹藐藕藝藥藜藹	832	鶸鶺鷆鷏鷂鷙鷓鷸鷦鷭
533	嫋嫂媽嫣嫗嫦嫩嫖嫺嫻	633	濔濘濱濮濛瀉瀋濺瀑瀁	733	蘊蘓蘋藾藺蘆蘢蘚蘰蘿	833	鷯鷽鸚鸛鸞鹵鹹鹽麁麈
534	嬌嬋嬖嬲嫐嬪嬶嬾孃孅	634	瀏濾瀛瀚潴瀝瀘瀟瀰瀾	734	虍乕虔號虧虱蚓蚣蚩蚪	834	麋麌麒麕麑麝麥麩麸麪
535	孀孑孕孚孛孥孩孰孳孵	635	瀲灑灣炙炒炯烱炬炸炳	735	蚋蚌蚶蚯蛄蛆蚰蛉蠣蚫	835	麭靡黌黎黏黐黔黜點黝
536	學斈孺宀它宦宸寃寇寉	636	炮烟烋烝烙焉烽焜焙煥	736	蛔蛞蛩蛬蛟蛛蛯蜒蜆蜈	836	黠黥黨黯黴黶黷黹黻黼
537	寔寐寤實寢寞寥寫寰寶	637	煕熈煦煢煌煖煬熏燻熄	737	蜀蜃蛻蜑蜉蜍蛹蜊蜴蜿	837	黽鼇鼈皷鼕鼡鼬鼾齊齒
538	寳尅將專對尓尠尢尨尸	638	熕熨熬燗熹熾燒燉燔燎	738	蜷蜻蜥蜩蜚蝠蝟蝸蝌蝎	838	齔齣齟齠齡齦齧齬齪齷
539	尹屁屆屎屓	639	燠燬燧燵燼	739	蝴蝗蝨蝮蝙	839	齲齶龕龜龠
540	屐屏孱屬屮乢屶屹岌	640	燹燿爍爐爛爨爭爬爰	740	蝓蝣蝪蠅螢螟螂螯蟋	840	堯槇遙瑤凜熙
541	岑岔妛岫岻岶岼岷峅岾	641	爲爻爼爿牀牆牋牘牴牾	741	螽蟀蟐雖螫蟄螳蟇蟆螻		
542	峇峙峩峽峺峭嶌峪崋崕	642	犂犁犇犒犖犢犧犹犲狃	742	蟯蟲蟠蠏蠍蟾蟶蟷蠎蟒		
543	崗嵜崟崛崑崔崢崚崙崘	643	狆狄狎狒狢狠狡狹狷倏	743	蠑蠖蠕蠢蠡蠱蠶蠹蠧蠻		
544	嵌嵒嵎嵋嵬嵳嵶嶇嶄嶂	644	猗猊猜猖猝猴猯猩猥猾	744	衄衂衒衙衞衢衫袁衾袞		
545	嶢嶝嶬嶮嶽嶐嶷嶼巉巍	645	獎獏默獗獪獨獰獸獵獻	745	衵衽袵衲袂袗袒袮袙袢		
546	巓巒巖巛巫已巵帋帚帙	646	獺珈玳珎玻珀珥珮珞璢	746	袍袤袰袿袱裃裄裔裘裙		
547	帑帛帶帷幄幃幀幎幗幔	647	琅瑯琥珸琲琺瑕琿瑟瑙	747	裝裹褂裼裴裨裲褄褌褊		
548	幟幢幤幇幵并幺麼广庠	648	瑁瑜瑩瑰瑣瑪瑶瑾璋璞	748	褓襃褞褥褪褫襁襄褻褶		
549	廁廂廈廐廏	649	璧瓊瓏瓔珱	749	褸襌褝襠襞		
550	廖廣廝廚廛廢廡廨廩	650	瓠瓣瓧瓩瓮瓲瓰瓱瓸	750	襦襤襭襪襯襴襷襾覃		
551	廬廱廳廰廴廸廾弃弉彝	651	瓷甄甃甅甌甎甍甕甓甞	751	覈覊覓覘覡覩覦覬覯覲		
552	彜弋弑弖弩弭弸彁彈彌	652	甦甬甼畄畍畊畉畛畆畚	752	覺覽覿觀觚觜觝觧觴觸		
553	彎弯彑彖彗彙彡彭彳彷	653	畩畤畧畫畭畸當疆疇畴	753	訃訖訐訌訛訝訥訶詁詛		
554	徃徂彿徊很徑徇從徙徘	654	疊疉疂疔疚疝疥疣痂疳	754	詒詆詈詼詭詬詢誅誂誄		
555	徠徨徭徼忖忻忤忸忱忝	655	痃疵疽疸疼疱痍痊痒痙	755	誨誡誑誥誦誚誣諄諍諂		
556	悳忿怡恠怙怐怩怎怱怛	656	痣痞痾痿痼瘁痰痺痲痳	756	諚諫諳諧諤諱謔諠諢諷		
557	怕怫怦怏怺恚恁恪恷恟	657	瘋瘍瘉瘟瘧瘠瘡瘢瘤瘴	757	諞諛謌謇謚諡謖謐謗謠		
558	恊恆恍恣恃恤恂恬恫恙	658	瘰瘻癇癈癆癜癘癡癢癨	758	謳鞫謦謫謾謨譁譌譏譎		
559	悁悍惧悃悚	659	癩癪癧癬癰	759	證譖譛譚譫		
560	悄悛悖悗悒悧悋惡悸	660	癲癶癸發皀皃皈皋皎	760	譟譬譯譴譽讀讌讎讒		
561	惠惓悴忰悽惆悵惘慍愕	661	皖皓皙皚皰皴皸皹皺盂	761	讓讖讙讚谺豁谿豈豌豎		
562	愆惶惷愀惴惺愃愡惻惱	662	盍盖盒盞盡盥盧盪蘯盻	762	豐豕豢豬豸豺貂貉貅貊		
563	愍愎慇愾愨愧慊愿愼愬	663	眈眇眄眩眤眞眥眦眛眷	763	貍貎貔豼貘戝貭貪貽貲		
564	愴愽慂慄慳慷慘慙慚慫	664	眸睇睚睨睫睛睥睿睾睹	764	貳貮貶賈賁賤賣賚賽賺		
565	慴慯慥慱慟慝慓慵憙憖	665	瞎瞋瞑瞠瞞瞰瞶瞹瞿瞼	765	賻贄贅贊贇贏贍贐齎贓		
566	憇憬憔憚憊憑憫憮懌懊	666	瞽瞻矇矍矗矚矜矣矮矼	766	賍贔贖赧赭赱赳趁趙跂		
567	應懷懈懃懆憺懋罹懍懦	667	砌砒礦砠礪硅碎硴碆硼	767	趾趺跏跚跖跌跛跋跪跫		
568	懣懶懺懴懿懽懼懾戀戈	668	碚碌碣碵碪碯磑磆磋磔	768	跟跣跼踈踉跿踝踞踐踟		
569	戉戍戌戔戛	669	碾碼磅磊磬	769	蹂踵踰踴蹊		
570	戞戡截戮戰戲戳扁扎	670	磧磚磽磴礇礒礑礙礬	770	蹇蹉蹌蹐蹈蹙蹤蹠踪		
571	扞扣扛扠扨扼抂抉找抒	671	礫祀祠祗祟祚祕祓祺祿	771	蹣蹕蹶蹲蹼躁躇躅躄躋		
572	抓抖拔抃抔拗拑抻拏拿	672	禊禝禧齋禪禮禳禹禺秉	772	躊躓躑躔躙躪躡躬躰軆		
573	拆擔拈拜拌拊拂拇抛拉	673	秕秧秬秡秣稈稍稘稙稠	773	躱躾軅軈軋軛軣軼軻軫		
574	挌拮拱挧挂挈拯拵捐挾	674	稟禀稱稻稾稷穃穗穉穡	774	軾輊輅輕輒輙輓輜輟輛		
575	捍搜捏掖掎掀掫捶掣掏	675	穢穩龝穰穹穽窈窗窕窘	775	輌輦輳輻輹轅轂輾轌轉		
576	掉掟掵捫捩掾揩揀揆揣	676	窖窩竈窰窶竅竄窿邃竇	776	轆轎轗轜轢轣轤辜辟辣		
577	揉插揶揄搖搴搆搓搦搶	677	竊竍竏竕竓站竚竝竡竢	777	辭辯辷迚迥迢迪迯邇迴		
578	攝搗搨搏摧摯摶摎攪撕	678	竦竭竰笂笏笊笆笳笘笙	778	逅迹迺逑逕逡逍逞逖逋		
579	撓撥撩撈撼	679	笞笵笨笶筐	779	逧逶逵逹迸		
580	據擒擅擇撻擘擂擱擧	680	筺笄筍笋筌筅筵筥筴	780	遏遐遑遒逎遉逾遖遘		
581	舉擠擡抬擣擯攬擶擴擲	681	筧筰筱筬筮箝箘箟箍箜	781	遞遨遯遶隨遲邂遽邁邀		
582	擺攀擽攘攜攅攤攣攫攴	682	箚箋箒箏筝箙篋篁篌篏	782	邊邉邏邨邯邱邵郢郤扈		
583	攵攷收攸畋效敖敕敍敘	683	箴篆篝篩簑簔篦篥籠簀	783	郛鄂鄒鄙鄲鄰酊酖酘酣		
584	敞敝敲數斂斃變斛斟斫	684	簇簓篳篷簗簍篶簣簧簪	784	酥酩酳酲醋醉醂醢醫醯		
585	斷旃旆旁旄旌旒旛旙无	685	簟簷簫簽籌籃籔籏籀籐	785	醪醵醴醺釀釁釉釋釐釖		
586	旡旱杲昊昃旻杳昵昶昴	686	籘籟籤籖籥籬籵粃粐粤	786	釟釡釛釼釵釶鈞釿鈔鈬		
587	昜晏晄晉晁晞晝晤晧晨	687	粭粢粫粡粨粳粲粱粮粹	787	鈕鈑鉞鉗鉅鉉鉤鉈銕鈿		
588	晟晢晰暃暈暎暉暄暘暝	688	粽糀糅糂糘糒糜糢鬻糯	788	鉋鉐銜銖銓銛鉚鋏銹銷		
589	曁暹曉暾暼	689	糲糴糶糺紆	789	鋩錏鋺鍄錮		
590	曄暸曖曚曠昿曦曩曰	690	紂紜紕紊絅絋紮紲紿	790	錙錢錚錣錺錵錻鍜鍠		
591	曵曷朏朖朞朦朧霸朮朿	691	紵絆絳絖絎絲絨絮絏絣	791	鍼鍮鍖鎰鎬鎭鎔鎹鏖鏗		
592	朶杁朸朷杆杞杠杙杣杤	692	經綉絛綏絽綛綺綮綣綵	792	鏨鏥鏘鏃鏝鏐鏈鏤鐚鐔		
593	枉杰枩杼杪枌枋枦枡枅	693	緇綽綫總綢綯緜綸綟綰	793	鐓鐃鐇鐐鐶鐫鐵鐡鐺鑁		
594	枷柯枴柬枳柩枸柤柞柝	694	緘緝緤緞緻緲緡縅縊縣	794	鑒鑄鑛鑠鑢鑞鑪鈩鑰鑵		
595	柢柮枹柎柆柧檜栞框栩	695	縡縒縱縟縉縋縢繆繦縻	795	鑷鑽鑚鑼鑾钁鑿閂閇閊		
596	桀桍栲桎梳栫桙档桷桿	696	縵縹繃縷縲縺繧繝繖繞	796	閔閖閘閙閠閨閧閭閼閻		
597	梟梏梭梔條梛梃檮梹桴	697	繙繚繹繪繩繼繻纃緕繽	797	閹閾闊濶闃闍闌闕闔闖		
598	梵梠梺椏梍桾椁棊椈棘	698	辮繿纈纉續纒纐纓纔纖	798	關闡闥闢阡阨阮阯陂陌		
599	椢椦棡椌棍	699	纎纛纜缸缺	799	陏陋陷陜陞		
600	棔棧棕椶椒椄棗棣椥	700	罅罌罍罎罐网罕罔罘	800	陝陟陦陲陬隍隘隕隗		
601	棹棠棯椨椪椚椣椡棆楹	701	罟罠罨罩罧罸羂羆羃羈	801	險隧隱隲隰隴隶隸隹雎		

仕様

外観・仕様は予告なしに変更することがあります。

■ファクシミリ部

項目	内容
形名	UX-D33CL／UX-D33CW 送受信兼用卓上型
使用回線	一般加入電話回線、NCC回線、 Fネット（16Hz対応のみ）
圧縮方式	MH・MR・MMR・独自圧縮
通信モード	G3・ECM　＊１
走査方式	密着イメージセンサー方式
走査線密度	主：8ドット／mm （普通字、小さな字、精細、写真） 副：3.85本／mm（普通字） 7.7本／mm（小さな字、写真） 15.4 本／ mm（精細）＊２
記録方式	熱転写記録方式
表示装置	バックライト付液晶ディスプレイ 漢字3行＋ピクト
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400 bit/s ：自動フォールバック
電送時間	約9秒　＊３
中間調伝送	有り（64階調）
記録紙サイズ	A4サイズ
最大記録有効幅	205mm
最大送信原稿幅	210mm
読み取り有効幅	205mm
受信メモリー	A4標準原稿 約52枚（普通字モード時）＊４

■コードレス部（子機）

項目	内容
充電完了時間	約10時間
使用可能時間（充電完了後）	待受時：約200時間　＊５ 通話時：最大約6時間　＊６
表示装置	液晶ディスプレイ 漢字3行＋ピクト
増設可能子機	JD-KS11,JD-KS15,JD-KS17, JD-KS18,JD-KS21,JD-KS25, JD-KS28

■電話部

	親機	子機
ダイヤル形式	押しボタン式パルスダイヤル ／押しボタン式トーンダイヤル	
選択信号種別	DP信号（10PPS／20PPS） ／PB信号（DTMF）	
呼び出し方式	トーンリンガー（着信音）呼び出し ／（音量切替式）	
電話帳の件数	電話帳：100人分 (32桁以内) ×1番号	電話帳：100人分 (24桁以内) ×1番号
再ダイヤルの記憶件数	再ダイヤル：20件	再ダイヤル：10件

■留守録部

項目	内容
オリジナル応答メッセージ	１件
用件録音時間	約15分（応答メッセージ1件、メモリー受信データ含む） 用件ごとに記録する日時スタンプは、別の専用メモリーを使っています。

■共通部

	親機	子機	充電器
寸法	約296(幅)× 約190(奥行)× 約88(高さ)mm 受話器、突起部、アンテナを除く 約296(幅)× 約256(奥行)× 約279(高さ)mm 記録紙トレイ伸長時　突起部、アンテナを除く	約49（幅）×約28（奥行）× 約176（高さ）mm	約93（幅）×約76（奥行）× 約27（高さ）mm
質量	約 2.3kg　受話器、インクリボンを含む	約145g（充電池含む）	約132g
電源	ＡＣ100Ｖ±10Ｖ　50／60Hz	DC3.6Ｖ、600mAh （ニッケル水素電池）＊７	入力：ＡＣ100Ｖ±10Ｖ 50／60Hz
消費電力（100VAC）	約0.6W（ディスプレイ非表示の待機時） 約90W（動作時最大）	約0.6W（待機時） 約0.9W（急速充電時）	
直流抵抗	182Ω	―	―
静電容量	1.0μF以下	―	―
使用環境	温度　5℃～35℃　　相対湿度　30%～85%RH		

＊１　本機で送受信できるのは、相手機も G3 規格のファクシミリに限られます。（カラーの送受信はできません）
＊２　ITU-T(国際規格) 準拠
＊３　A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質（8 × 3.85 本／ mm）で高速モード（14400 bit ／ s）、ECM モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送速度で、通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。
＊４　受信原稿によっては、１枚の受信でメモリーがいっぱいになる場合もあります。
＊５　待受時とは、充電完了後、子機を充電器に置かずに、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信音が鳴ったりすると待受時の使用可能時間は短くなります。
＊６　「電波サポート」を [設定] にした場合は、子機の連続通話時間が最大約4時間になります。また、[自動] にした場合は、最大約4～6時間になります。
＊７　充電池はリサイクル可能なニッケル水素電池です。使用済み電池につきましては、お買いあげの販売店までご持参いただき、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

登録／設定早見表

登録／設定項目一覧表（親機）

メニュー を押したあと、ダイヤルボタンで登録・設定の項目を選ぶことができます。
「選択項目」に**太字**で記載されている項目は、初期設定（工場出荷時の設定）です。

操作	機能名／機能の説明	選択項目	参照ページ
はじめの設定			
1あ 1あ	**日付・時刻** 日付と時刻を登録できます。	（日付・時刻を登録）	30
1あ 2か	**発信元番号** ファクスを送ったときに記録される発信元番号を登録できます。	**登録**/消去	31
1あ 3さ	**発信元名** ファクスを送ったときに記録される発信元名を登録できます。	**登録**/消去	31
1あ 4た	**回線種別選択** 電話回線の種別を設定できます。	プッシュ（トーン）/ **ダイヤル（20 PPS）**/ ダイヤル（10 PPS）/ 自動設定	20
1あ 5な	**液晶濃度調整** 液晶ディスプレイの濃度を調整できます。	7段階の濃度 初期設定は**4段階目**	74
1あ 6は 1あ	**携帯トクトク設定　→　携帯トクトクダイヤル** 携帯とくとくダイヤル機能の設定ができます。	NTTコミュニケーションズ/その他事業者/ **使用しない**	65
1あ 6は 2か	**携帯トクトク設定　→　IP電話利用** IP電話をご利用中、携帯電話への電話だけ自動的に一般回線で電話するように設定できます。	あり/**なし**	65
1あ 6は 3さ	**携帯トクトク設定　→　携帯番号帯登録** 携帯とくとくダイヤルの利用対象となる電話番号の頭4ケタを登録／消去できます。	（番号一覧を表示） **0801～0809/** **0901～0909**の 18件登録済み	66
1あ 6は 4た	**携帯トクトク設定　→　設定内容表示** 携帯とくとくダイヤルの設定内容を表示できます。	（設定を表示）	66
着信音と誰から			
2か 1あ	**親機着信音量** 親機の着信音の大きさを設定できます。	5／5段階～1／5段階/着信音量 切 初期設定は**3／5段階**	29
2か 2か	**親機着信音選択** 親機の着信音を設定できます。	**電話ベル音**/鳥の声/電子音/インベンション/ジュ・ト・ブ/シンフォニー40番/はにゅうの宿/メヌエット/セレナーデ	29
2か 3さ 1あ	**おやすみ設定　→　おやすみ** おやすみモードの設定／解除とタイマーの設定ができます。	**おやすみ解除**/ おやすみ開始/ タイマー設定	70
2か 3さ 2か	**おやすみ設定　→　選んで着信番号** おやすみモード設定中でも着信させる電話番号を登録できます。	（番号一覧を表示）	70
2か 3さ 3さ	**おやすみ設定　→　設定内容表示** おやすみモードの設定内容を表示できます。	（設定を表示）	70

2か 4た 1あ	**誰からコール設定 → 誰からコール** 着信があったとき、誰からの電話か音声でお知らせする機能の設定ができます。	**使用する**/使用しない	79
2か 4た 2か	**誰からコール設定 → 誰あてコール** 誰あてコールでお知らせする名前を登録できます。	**オトウサン/オカアサン/オニイサン/オネエサン/オジイサン/オバアサン/** 未登録3件	79
2か 5な 1あ	**鳴分け着信音 → 電話帳** 電話帳に登録している方からの着信音の設定ができます。	電話ベル音/鳥の声/電子音/インベンション/ジュ・ト・ブ/シンフォニー 40番/はにゅうの宿/メヌエット/セレナーデ/**なし**	82
2か 5な 2か	**鳴分け着信音 → 非通知** 非通知からの着信音の設定ができます。		
2か 5な 3さ	**鳴分け着信音 → 公衆電話** 公衆電話からの着信音の設定ができます。		
2か 5な 4た	**鳴分け着信音 → 表示圏外** 表示圏外からの着信音の設定ができます。		
2か 6は 1あ	**ダイヤルインの設定 → 番号登録** ダイヤルインに追加する番号を登録できます。	TEL1～TEL5/ファクス (選択して番号登録)	68
2か 6は 2か	**ダイヤルインの設定 → 番号消去** ダイヤルインに追加した番号を消去できます。	TEL1～TEL5/ファクス (選択して番号消去)	68
2か 6は 3さ	**ダイヤルインの設定 → ダイヤルイン機能** ダイヤルイン機能の設定ができます。	使用する/**使用しない**	68
2か 6は 4た	**ダイヤルインの設定 → ファクス時応答回数** ダイヤルインのファクス切替までの着信音の回数を設定できます。	**0**/2～6回	69
2か 6は 5な	**ダイヤルインの設定 → ダイヤルイン着信音** ダイヤルインで追加した番号の着信音の鳴り分けを設定します。	TEL2～TEL5/ファクス (選択して着信音設定)	69
2か 6は 6は	**ダイヤルインの設定 → 設定内容表示** ダイヤルインの設定内容を表示できます。	(設定を表示)	69
電話帳の設定			
3さ 1あ	**電話帳新規登録** 親機の電話帳に登録できます。	(電話帳を登録)	37
3さ 2か	**子機転送** 親機の電話帳の内容を子機の電話帳にコピーできます。	**全件転送**/1件毎転送	46
3さ 3さ	**音声電話帳** 電話帳を音声でお知らせする機能の設定ができます。	**使用する**/使用しない	39
留守番電話設定			
4た 1あ	**用件録音全消去** 録音している用件をすべて消去できます。	**消去しない**/消去する	48
4た 2か	**留守時応答回数** 留守モード時の着信音の回数を設定できます。	1～25回 初期設定は**4**回	51
4た 3さ	**応答メッセージ** 応答メッセージの種類を選択できます。	固定メッセージ1/ **固定メッセージ2**/ 自作メッセージ	50
4た 4た 1あ	**外出先での操作 → リモート暗証番号** リモート操作に必要な暗証番号を登録／消去できます。	**登録**/消去	50
4た 4た 2か	**外出先での操作 → トールセーバー** トールセーバーを使用する/使用しないの設定ができます。	**使用しない**/使用する	51

着信お断り設定			
5な 1あ	**非通知お断り** 「非通知お断り」の設定ができます。	**なし**/お断り	83
5な 2か	**公衆電話お断り** 「公衆電話お断り」の設定ができます。	**なし**/お断り	83
5な 3さ	**表示圏外お断り** 「表示圏外お断り」の設定ができます。	**なし**/お断り	83
5な 4た	**お断り番号登録** 「お断り番号」を登録できます。	(番号一覧を表示)	83
5な 5な	**チャイム後自動設定** 「チャイムでお断り」をしたあとに、自動的にお断りの設定をする／しないの設定ができます。	しない/**する**	35
5な 6は	**あんしんLED** 着信時に迷惑電話ボタンのランプを点灯または点滅する／しないの設定ができます。	**使用する**/使用しない	77
ファクスの受け方			
6は	**ファクスの受け方** ファクス自動受信をする／しないの設定と、自動受信をするときの着信音の回数を設定できます。	**自動受信しない**/ 自動受信する	61
メモリー残量の表示			
7ま	**メモリー残量の表示** ファクス受信や録音できるメモリーの残量を表示することができます。	(メモリー残量を表示)	58
各種全消去			
8や 1あ	**用件録音** 留守番電話などの録音データをすべて消去できます。	**消去しない**/消去する	—
8や 2か	**再ダイヤル** 再ダイヤルの電話番号をすべて消去できます。	**消去しない**/消去する	—
8や 3さ	**着信記録** 着信記録をすべて消去できます。	**消去しない**/消去する	—
8や 4た	**受信ファクス** メモリー受信したファクスデータをすべて消去できます。	**消去しない**/消去する	—
8や 5な	**お断り番号** 登録したお断り番号をすべて消去できます。	**消去しない**/消去する	—
8や 6は	**選んで着信番号** 選んで着信番号をすべて消去できます。	**消去しない**/消去する	—
8や 7ま	**電話帳** 登録した電話帳をすべて消去できます。	**消去しない**/消去する	—
印刷			
9ら 1あ	**メニュー設定リスト** 親機の登録設定の一覧を印刷できます。	**しない**/する	64
9ら 2か	**着信記録リスト** 着信記録の一覧を印刷できます。	**しない**/する	64
9ら 3さ	**電話帳リスト** 電話帳に登録されている相手先の一覧を印刷できます。	**しない**/する	64
9ら 4た	**お断り番号リスト** お断りに登録されている番号の一覧を印刷できます。	**しない**/する	64

原稿の排出			
0わ記号	**原稿の排出** セットしている原稿を排出できます。	（原稿を排出）	54

特別設定項目一覧表（親機）

メニュー を押し、# を4回続けて押したあと、ダイヤルボタンで登録・設定の項目を選ぶことができます。
「選択項目」に**太字**で記載されている項目は、初期設定（工場出荷時の設定）です。

操作	機能名／機能の説明	選択項目	参照ページ
留守番電話設定			
1あ 1あ	**メッセージ待ち時間** 応答メッセージが流れるまでの時間を設定できます。	1 秒/2 秒/**4 秒**/8 秒	104
1あ 2か	**発信音待ち時間** 応答メッセージが終わってから、「ピー」という録音開始音が流れるまでの時間を設定できます。	1 秒/2 秒/**4 秒**/8 秒	104
1あ 3さ	**お声拝聴** 留守録設定中の応答メッセージと、相手の方の録音中の声をスピーカーから出力する設定ができます。	**あり**/なし	104
1あ 4た	**留守録音時間** 留守録の録音時間を設定できます。	**30 秒**/1 分/2 分	104
1あ 5な	**戻って録音時間** 戻って録音の録音時間を設定できます。	1 分/3 分/**15 分**	73
ファクス関連の設定			
2か 1あ	**ファクス受信方法** ファクスの受信方法を設定できます。	**メモリー受信**/ 記録紙受信	104
2か 2か	**受信モード** お使いの状況に合わせて、ファクスの受信モードを設定できます。	ファクス優先/ ファクス専用/ **設定しない**	104
2か 3さ	**在宅時応答回数** 留守設定せずに自動でファクスを受けるときの着信音の回数を設定できます。	回数選択（1～25回）/ **無制限呼出**	105
2か 4た	**おまかせ受信** 相手の方がファクスを送信したときの音が聞こえると、自動でファクス受信に切り替える設定ができます。	**あり**/なし	105
2か 5な	**縮小受信** ファクスを印刷するときに、日時を印刷するために自動でファクスを縮小して印刷する設定ができます。	**あり**/なし	105
2か 6は	**発信音検出** ファクスを自動送信するときに、「ツー」という発信音を検出してから送信する設定ができます。	**あり**/なし	105

音関連の設定			
3さ 1あ	**親機送話音量** 親機の送話音量を変更できます。	小/**標準**/大	105
3さ 2か	**子機送話音量** 子機の送話音量を変更できます。	小/**標準**/大	105
3さ 3さ	**子機受話音量** 子機の受話音量を変更できます。	小/**標準**/大	105
3さ 4た	**子機受話音質** 子機の受話音質を変更できます。	低い/**標準**/高い	105
3さ 5な	**スピーカー音量** 親機のスピーカー音量を設定できます。	5／5段階〜1／5段階 初期設定は**3／5段階**	105
3さ 6は	**キータッチ音** キータッチ音のあり／なしを設定できます。	**あり**/なし	105
電話関連の設定			
4た 1あ	**ナンバー・ディスプレイ** ナンバー･ディスプレイを使用する／しないの設定ができます。	**使用する**/使用しない	76
4た 2か 1あ	**キャッチホン → キャッチホンディスプレイ** キャッチホン･ディスプレイを使用する／しないの設定ができます。	使用する/**使用しない**	75
4た 2か 2か	**キャッチホン → キャッチホン切替時間** キャッチホンの操作で電話が切れてしまうときなど、キャッチホンの切替時間を変更できます。	0.4秒/0.6秒/**0.8秒**	106
4た 3さ	**ラクラク番号登録** 着信した相手先の番号を、電話帳やお断り番号に登録できる機能のあり／なしを設定できます。	**使用する**/使用しない	84
4た 4た 1あ	**どこから設定 → どこからコール** どこからコールの設定ができます。	**使用する**/使用しない	80
4た 4た 2か	**どこから設定 → 地域番号帯登録** 地域番号の登録や消去ができます。	（番号一覧を表示）	80
4た 5な	**着信通知** 着信通知を使用する／使用しないを設定できます。	**使用する**/使用しない	71
4た 6は	**デカ文字着信** 着信時または発信時の文字の大きさを変更できます。	**使用する**/使用しない	73
回避チャンネル設定			
5な	**回避チャンネル設定** 通話品質の改善のために、回避するチャンネルを設定できます。	チャンネル1/ **チャンネル6**/ チャンネル11	106
時計機能			
6は 1あ	**時計バックアップ** 時計転送を使用する／しないの設定ができます。	**使用する**/使用しない	106
6は 2か	**子機へ送信** 親機の日時設定を子機へ送信（転送）できます。	（子機へ日時を送信）	106
6は 3さ	**子機から受信** 子機の日時設定を受信（転送）できます。	（子機から日時を受信）	106

ダイヤルライト			
7ま	**ダイヤルライト** 電話をかけるときなどにダイヤルボタンを点灯させる機能の設定ができます。	**使用する**/使用しない	73
電話帳以外クリア			
8や	**電話帳以外クリア** 電話帳を除くすべての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。	**しない**/する	103
デモ起動			
9ら	**デモ起動** 商品紹介用のデモの表示条件を設定できます。	しない/ する（回線連動）/ する（常に実行）	106

もくじ ご使用の前に 電話・電話帳 留守番 ファクス 印刷・コピー 便利な機能 ナンバー・ディスプレイ こまったときは ご参考に さくいん

機能項目一覧表（子機）

を押したあと、操作できる項目です。

機能名		機能の説明	参照ページ
留守番電話	用件再生	録音されている内容を再生できます。	48
	留守設定切替	留守番電話を設定できます。	47
	録音全消去	留守録メッセージをすべて消去できます。	48
電話帳	電話帳登録	子機の電話帳に登録できます。	38
	ワンタッチ登録	子機のワンタッチダイヤルに登録できます。	45
	電話帳全転送	電話帳を親機や別の子機に転送できます。	46
着信音量		着信音の大きさを変更できます。	29
着信音色		着信音の種類を変更できます。	29
着信鳴り分け		着信鳴り分け機能の設定ができます。	69、82
システム設定	日時登録	日付・時刻を登録できます。	30
	キータッチ音出力	ボタン操作音の設定ができます。	74
	クイック通話	クイック通話の設定ができます。	74
	使用者表示	子機の使用者名を登録できます。	31
	液晶濃度調整	ディスプレイのコントラストを調整できます。	74
	ダイヤルライト点灯	ダイヤルライトを点灯させるかどうかの設定ができます。	74
	電波サポート	電波サポートの設定ができます。	74
	登録初期化	登録・設定した内容をすべて工場出荷時に戻すことができます。	103
全消去	再ダイヤル	再ダイヤルをすべて消去できます。	34
	着信記録	着信記録をすべて消去できます。	82
	電話帳	電話帳をすべて消去できます。	38
	ワンタッチ	ワンタッチ登録をすべて消去できます。	45

リモート操作手順カード

外出先から録音メッセージを聞きたいとき（リモート操作 ☞50～51ページ）は、下記の手順カードを切り取ってお持ちになってお使いください。

停止中		
	録音内容を聞く	①#
	再生済みの録音を消す	⓪①#
	録音内容をすべて消す	⓪②#
	留守を設定／解除する	⑥#

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

●リモート操作には暗証番号を使います。
●リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。
（ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は、電話をかけてからトーン信号に切り替えます。）
●詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

SHARP

停止中		
	録音内容を聞く	①#
	再生済みの録音を消す	⓪①#
	録音内容をすべて消す	⓪②#
	留守を設定／解除する	⑥#

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

●リモート操作には暗証番号を使います。
●リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。
（ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は、電話をかけてからトーン信号に切り替えます。）
●詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

SHARP

本機の使用周波数に関わるご注意

切り取って、親機や充電器の近くに貼ってお使いください。

本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。

●電子レンジ、産業・科学・医療用機器など
●工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
●特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
●アマチュア無線局（免許を要する無線局）

・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
・万一、本機から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。

●その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。

〈いろいろなリモート操作をするには〉

1．電話をかける
2．応答メッセージが聞こえたら→#を押す。
3．応答メッセージが止まったら→○○○○（暗証番号）と#を押す。
4．1 # を押す。

新しい用件（ファクス本体の留守ボタンを押してまだ聞いていない用件）が再生されます。

再生中	再生中の用件を聞き直す	3 #
	1件前の用件を聞き直す	3 # 3 #
	次の用件を聞く	4 #
	再生を途中で止める	5 #
	早聞きや遅聞きをする（押すたびに「速い」→「遅い」→「普通」→…）	1 #

〈いろいろなリモート操作をするには〉

1．電話をかける
2．応答メッセージが聞こえたら→#を押す。
3．応答メッセージが止まったら→○○○○（暗証番号）と#を押す。
4．1 # を押す。

新しい用件（ファクス本体の留守ボタンを押してまだ聞いていない用件）が再生されます。

再生中	再生中の用件を聞き直す	3 #
	1件前の用件を聞き直す	3 # 3 #
	次の用件を聞く	4 #
	再生を途中で止める	5 #
	早聞きや遅聞きをする（押すたびに「速い」→「遅い」→「普通」→…）	1 #

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（☞126、127ページ）

● 保証期間は、お買いあげの日から１年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

● 当社は、デジタルコードレスファクシミリの補修用性能部品を製品の製造打切後、７年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

不明な点や修理に関するご相談は

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口（☞120ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

●「こまったときは」（☞85～101ページ）を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず差し込みプラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って当社が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料金（出張修理の場合）などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

愛情点検	長年ご使用のデジタルコードレスファクシミリの点検を！	
	このような症状はありませんか？	●電源コードが異常に熱い ●コゲくさい臭いがする ●電源コードに深いキズや変形がある ●その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、差し込みプラグをコンセントから抜き、必ずお買いあげの販売店にご依頼ください。なお、点検・修理に関する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについての「ご相談」ならびに「ご依頼」および、万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
お電話では、次の内容をお知らせください。
・「品名（デジタルコードレスファクシミリ）」、「形名（UX-D33CLまたはUX-D33CW）」
・必要に応じて、本機の使用環境をお尋ねします。（例：お使いの電話回線の回線種別、IP電話やひかり電話などをお使いかどうか、NTTのナンバー・ディスプレイをご契約されているかどうか）
ファクス送信される場合は、製品の品名、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。 ▶▶▶ パソコン シャープ　お問い合わせ 検索

http://www.sharp.co.jp/support/

使い方や修理のご相談

【お客様相談センター】

0120 - 663 - 700

携帯・PHS OK
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間
●月曜～土曜：9:00～18:00
●日曜・祝日：9:00～17:00
（年末年始を除く）

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

東日本相談室	〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
電話：043 - 351 - 1822	FAX：043 - 299 - 8280
西日本相談室	〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72
電話：06 - 6792 - 1583	FAX：06 - 6792 - 5993

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2010.6）

さくいん

【あ】

【か】

【さ】

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。 ▶▶▶ パソコン シャープ お問い合わせ 検索

http://www.sharp.co.jp/support/

こんなときは、取扱説明書で再度ご確認ください。

- お買いあげ後の接続や設定のしかた（☞15～21ページ）
- 電話がかからないときは（回線種別の設定 ☞20ページ）
- ナンバー・ディスプレイサービス、キャッチホン・ディスプレイサービスに関するお問い合わせ、お申し込み先
  NTT窓口 TEL：局番なしの 116 （通話料金無料）
- 電話帳に登録するときは（☞37～38ページ）
- 本機が正しく動かないなどお困りのときは、85～101ページをご覧ください。

取扱説明書をご確認いただいても解決しないときは、120 ページをご覧いただき、お客様相談センターへご連絡ください。

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
パーソナルソリューション事業推進本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品がエネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

Printed in Thailand
UX-D33CL/UX-D33CW 10F① TINSJ4725XHTZ